

第二十條 刪除

第二十二條 刪除

第二十三條ニ左ノ一項ヲ追加ス

前項ノ訂正事項ハ振出局所ニ於テ郵便ニ依リ之ヲ拂渡局所ニ通知スヘシ

但差出人ハ郵便切手ヲ以テ相當電報料ヲ納付シ其電報通知ヲ請求スルコトヲ得

第二十五條ニ左ノ一項ヲ追加ス

爲替證書ト報知書ト金額不符合ノ場合ニ於テハ受取人ハ其少額爲替金ノ假拂渡ヲ請求スルコトヲ得

第二十六條第二項左ノ通改正ス

受取人電報ヲ以テ前項ノ問合ヲ望ムトキハ郵便切手ヲ以テ其往復ニ要スル相當電報料ヲ前納スヘシ

第二十七條左ノ通改正ス

第二十七條 受取人爲替證書ノ金額ニ過不足アル爲替金ヲ受取ルトキハ證書裏面ニ其受領金額及事由ヲ記載シ記名調印スヘシ

第二十二條ニ左ノ一項ヲ追加ス

至急電報ヲ以テ前項ノ通報ヲ望ムトキハ手数料金四拾錢ヲ前納スヘシ

第二十三條左ノ通改正ス

第二十三條 拂渡局所ハ電信報知ニ依リ爲替證書ヲ調製シ受取人郵便區市内ニ住スルトキハ電報配達ノ例ニ依リ又同市外ニ住スルトキハ書留郵便ニ依リ之ヲ受取人ニ送付スヘシ若シ受取人所

在不明等ノ爲メ交付シ能ハサルトキハ之ヲ差出人ニ交付スヘシ

第三十四條左ノ通改正ス

第三十四條 差出人ハ郵便區市外ニ住スル受取人ノ受取ルヘキ前條爲替證書ノ別便送付ヲ請求スルコトヲ得

第三十五條 刪除

第三十六條 刪除

第三十七條爲替差出人ノ下ニ郵便又ハ電信ニ依リノ九字ヲ加ヘ且ツ左ノ但書ヲ追加ス

但在外局所在地相互間又ハ在外局所在地臺灣トノ間又ハ在外局所在地及臺灣ト内地トノ間ニハ電信渡濟通知ノ取扱ヲ爲サス

第三十八條ニ左ノ但書ヲ追加ス

但電信通知ノ場合ニ在リテハ本文ノ通知書ヲ發セス爲替證書ノ番號及「スム」ノ二字ヲ差出人ニ電報シ之ヲ以テ爲替金ヲ受取人ニ拂渡シタルコトヲ通知スヘシ

第三十九條中「一枚ニ付以下ヲ郵便ニ依ルモノハ金參錢電信ニ依ルモノハ金貳拾參錢トス」ト改ム

第四十條 刪除

第四十四條 刪除

第四十五條 刪除

〔參照〕

農商務省告示第二十號郵便爲替規則(明治十八年九月七日)抄録

第一條 郵便爲替ハ爲替差出人ヨリ拂込ミタル金員ニ對シ甲郵便局ニ於テ爲替證書ヲ交付シ乙郵便局ニ於テ其證書ニ對シ

為替金ヲ拂渡スモノトス
 第二條 爲替證書ニハ差出人受取人ノ氏名ヲ記載セシ其氏名宿所等ハ差出人ノ指示スル所ニ從ヒ甲振出局ヨリ乙拂渡局ニ
 報知スルモノトス
 第四條 爲替證書ハ逓信省ニ於テ發行シタル式紙ニ限ルヘシ其證書ノ離形左ノ如シ(離形略ス)
 電信ニ依テ發シタル爲替ノ證書ニハ前ニ示ス表中各區畫ノ外ニ「番號」振出局名「電報著日」ノ三畫又再渡爲替證書ニ
 ハ振出局名ノ一畫ヲ備フルモノトス
 第五條 爲替差出人又ハ爲替證書再渡ヲ請求スルモノハ爲替料及手数料ヲ前納スヘシ
 爲替證書再渡ヲ請求スル場合ニ在リテハ手数料ハ便宜原爲替證書金額ノ内ヨリ引去リ納ムルコトヲ得
 第八條 差出人ハ振出局ニ於テ其拂込金ニ對シテ受領證書ヲ交付スヘシ
 差出人ハ其受領證書ヲ相當ノ位置ニ差出人受取人ノ宿所氏名ヲ記載シテ之ヲ保存シ後日爲替金ノ返戻又ハ證書再渡ヲ請
 求スルトキノ證據トナスヘシ
 第九條 爲替受取人又ハ差出人死亡等ノ場合ニ於テハ其相續人等ヨリ事實ヲ證明シ證人ヲ立テ爲替金ノ拂渡ヲ請求スルコ
 トヲ得
 第十六條 上級ノ料紙ヲ用フヘキ願書請求書等ノ式紙ハ爲替ヲ取扱フ郵便局ニ於テ申受クヘシ
 第二十條 差出人旅行先又ハ一時寄留ノ場所ニ於テ爲替ヲ願出ルトキハ爲替願書ニ本籍住所ヲ記載シ尙其宿所ヲ附記スヘ
 第二十二條 代人ヲ以テ爲替ヲ願出ルトキ爲替報知書ニ其氏名ヲ記入セサルヲ以テ一般ノ例トス但其氏名ヲ報知スルコト
 ヲ望ムモノハ爲替願書ニ其旨ヲ附記セタル場合ハ此限ニテラス
 第二十三條 差出人爲替證書ヲ受取リタル後差出人受取人氏名宿所等ノ認メ方相違シタル事アルトキハ其振出局ニ訂正願
 書ヲ提出スヘシ
 第二十五條 爲替證書ノ金額ハ差出人ノ指定セル拂渡局ニ於テ其振出局ノ爲替報知書ニ照ラシ受取人ヲ尋問シタル後拂渡
 スモノトス
 第二十六條 第十三條第一項若クハ第二項ノ事故アリテ爲替金ノ拂渡ヲ停止スルトキハ拂渡局ニ於テ爲替證書表面ニ停止
 ノ事由及其日數ヲ記載シ其證書ヲ受取人ニ返付シ第十三條第一項ノ事故ニ係ル場合ハ振出局ニ其事故ヲ問合スヘシ
 受取人ハ停止ノ滿期ニ至リテ更ニ爲替金ヲ拂渡ヲ申出テ尙ホ規則ノ通手續ノ上爲替金ヲ受取ルヘシ
 第二十七條 若シ前條ノ場合ニ於テ力振出ヨリ同付セル更訂報知書ノ金額ニ過不及アリテ證書金額ノ誤ザルコ
 ト判明シタルトキハ其受取人ハ證書ノ表面ニ現實受取ルヘキ金額及其事故ヲ記載記名押印シ其金ヲ受取ルコトヲ得
 第三十二條 電信ニ依テ爲替ヲ發スルトキハ振出局ニ於テ差出人ノ拂込金ニ對シテ受領證書ヲ交付シ爲替願書ニ差出人ノ指
 定シタル郵便局ニ願書ノ添付ヲ電報スヘシ

第三十三條 拂渡局ハ電信報知ニ由リ爲替證書ヲ調製シ爲替ノ條件ヲ其受取人ニ通報スヘシ
 受取人ハ拂渡局ノ通報ニ依リ其通知書ヲ拂渡局吏員ニ差出シ爲替證書ヲ受取ルヘシ
 第三十四條 前條ノ通知ヲ發シタル日ヨリ七日以内ニ爲替證書ノ渡方ヲ請求セサルトキハ拂渡局ヨリ更ニ受取人ニ通報ス
 ヘシ
 其通報ノ日ヨリ尙七日以内ニ證書渡方ヲ請求セサルトキハ振出局ヲ經テ之ヲ其差出人ニ交付スヘシ
 第三十五條 拂渡局ヨリ前條ノ證書到達シタルトキハ振出局ニ於テ其旨ヲ差出人ニ通報スヘシ
 差出人ハ振出局吏員ニ前ニ受取シタル受領證書ヲ示シ振出局ノ通知書ヲ引換ヘ爲替證書ヲ受取ルヘシ
 第三十六條 前二條ノ順序ヲ經テハ再度電報ニ依リテ其爲替金ヲ受取ルコトヲ得ス故ニ差出人證書ヲ受取リタル後
 尙其爲替金ヲ受取人ノ受取ルコトヲ望ムトキハ其證書ヲ受取人ニ同送スヘシ若シ其爲替金ノ返戻ヲ要スルトキハ差出人
 ニ於テ第二章第二十四條ノ手續ヲナスヘシ
 第三十七條 爲替差出人其爲替金ノ渡濟通知ヲ要スルトキハ振出局ニ之ヲ請求スヘシ
 第三十八條 爲替金渡濟ノ通知ハ拂渡局ニ於テ爲替金ヲ拂渡ストキ通知書ニ受取人ノ押印ヲ取り即日之ヲ差出人ニ送付ス
 ルモノトス
 第三十九條 爲替金渡濟ノ通知料ハ爲替證書ニ一枚ニ付金貳圓トス
 第四十條 通知料ハ郵便切手ヲ以テ納ムヘシ其切手ハ爲替願書又ハ小爲替原券ニ貼付スヘシ
 但通知料ニ用ヒタル郵便切手ハ振出局ニ於テ消印シ納濟ノ限トス
 第四十四條 爲替金渡濟ノ通知ハ振出シタルトキハ其通知料ヲ還付スヘシ
 第四十五條 通知料還付ハ爲替振出ノ日ヨリ六箇月内ニ差出人ヨリ郵便爲替貯金管理所長ニ請求スヘシ此期限ヲ過クルト
 キハ之ヲ還付セズ
 明治三十三年三月 逓信省告示第四十一號ハ内外郵便爲替ノ爲替料ハ郵便切手ヲ以テ納ムシムルノ件 同二十七年八月十
 逓信省告示第六十號ハ至金電報ヲ以テ電信爲替ヲ振出ヲ望ム者爲替料ノ外増納スヘキ料額ノ件ナリ
 ○逓信省告示第八十五號
 來ル四月一日ヨリ郵便爲替ヲ取扱フ郵便電信局及郵便局ニ於テ渾テ電信爲替事務ヲ取扱ハシム
 但在外局相互間又ハ在外局ト在臺灣各局トノ間又ハ在外局及在臺灣各局ト内地各局トノ間ハ其
 取扱ヲ爲サス
 明治三十三年三月十五日
 逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第八十六號

明治二十年六月逓信省告示第十七號郵便小爲替規定中左ノ通改正シ來ル四月一日ヨリ施行ス
明治三十二年三月十五日 逓信大臣子爵芳川顯正

- 第三條以下各條中「局」ノ下ニ「所」ノ一字ヲ加フ
- 第三條中「郵便局ニ於テ」ノ下ニ「其受取人ヲ指定シアルモノハ該受取人ニ又其指定ナキモノハ證書持參人ニ」ノ三十三字ヲ加フ
- 第五條中「爲替差出人」ノ下ニ「豫メ受取人ヲ指定セントスルトキ」ノ十五字ヲ加フ
- 第六條中「又ハ」ノ下ニ「差出人ニ於テ指定シタル」ノ十一字ヲ加フ
- 第七條中「其證書ニ」ノ下「記名」トアルヲ「宿所氏名ヲ記載」ト改ム
- 第八條中「其證書ニ」ノ下「記名」トアルヲ「宿所氏名ヲ記載」ト改ム
- 第九條中「委任文」ノ下「ヲ記載シ記名」トアルヲ「及宿所氏名ヲ記載」ト改ム
- 第十一條中「又ハ」ノ下ニ「差出人ニ於テ指定シタル」ノ十一字ヲ加フ
- 第十四條ニ左ノ但書ヲ追加ス
但確實ナル保證人ヲ立ツルトキハ百二十日以内ト雖モ再度證書ヲ交付スヘシ
- 第十四條ノ次ニ左ノ一條ヲ追加ス
- 第十五條 本規定ニ明文ナキ事項ハ總テ郵便爲替細則ノ規定ニ依ル

【參照】

- 逓信省告示第十七號郵便小爲替規定(明治二十年六月二十五日)抄録
- 第三條 小爲替ハ差出人ノ指定シタル爲替ヲ取扱フ郵便局ニ於テ換渡スモノトス
- 第五條 爲替差出人ハ小爲替證書ニ數ケアル相當ノ區畫ニ受取人ノ宿所氏名ヲ記入シテ送ルヘシ其宿所氏名ヲ記入シ能ハ

ナルモノハ郵便局吏員ニ之ヲ請求スルヲ得

- 第六條 小爲替證書ニ記載ノ換渡局又ハ受取人ノ宿所氏名ヲ變換シ若クハ其宿所氏名ノ訂正ヲ要スルトキハ差出人ニ於テ爲替ヲ取扱フ郵便局ノ許可ヲ受クヘシ
但郵便局ノ許可ヲ請フトキハ受領證書ヲ以テ其差出人タルコトヲ證明スヘシ
- 第七條 爲替受取人爲替金ヲ受取ルトキハ其證書ニ記名調印スヘシ又郵便局ニ於テ證書ヲ選送シタル信書ノ封皮又ハ其受取人タルコトヲ證明スヘキ他ノ物件ヲ要スルトキハ之ヲ差出スヘシ
- 第八條 爲替差出人爲替金ノ返戻ヲ受クルトキハ其證書ニ記名調印シ且受領證書ヲ郵便局ニ納メ差出人タルコトヲ證明スヘシ
- 第九條 代人ヲ以テ爲替金ヲ受取ルモノハ其爲替證書ノ裏面ニ委任文ヲ記載シ記名調印シ且代人ハ爲替金受取方相當ノ手續ヲナスヘシ
- 第十一條 郵便局ノ許可ヲ受ケス換渡局又ハ受取人ノ宿所氏名ヲ變換シ若クハ其宿所氏名ヲ訂正シタルトキハ爲替金ヲ換渡サルモノトス
但第六條ニ依リ更ニ許可ヲ經タルモノハ此限ニアラス
- 第十四條 小爲替證書ヲ失ヒ再度證書ヲ請求シタルトキハ當務振出ノ日ヨリ百二十日ヲ經過スルニ非ラサレハ之ヲ交付セ

○逓信省告示第八十七號

武藏國東京市内ニ電話所ヲ増置シ本月十六日ヨリ電話通信ヲ開始ス其名稱及位置左ノ如シ
明治三十二年三月十五日 逓信大臣子爵芳川顯正

名	稱	位	置
三田電話所			青山電話所
西久保電話所			小石川電話所
麻布電話所			駒込電話所
			本所電話所
			東京郵便電信局青山支局内
			東京郵便電信局小石川支局内
			東京郵便電信局駒込支局内
			東京郵便電信局本所支局内

○逓信省告示第八十八號

島根縣下八束郡千酌村大字千酌沖ニ設置ノ水底電線浮標修繕竣工ニ依リ爰ニ設置シタル假浮標ヲ

撤去シ本位置ニ復ス

明治三十二年三月十五日

○遞信省告示第八十九號

本月二十一日ヨリ越前國坂井郡金津郵便局ヲ三等郵便電信局トシ金津郵便電信局ト改稱ス

明治三十二年三月十五日

○遞信省告示第九十號

本月二十日ヨリ北陸線高岡富山間運輸營業ヲ開始ス旅客賃金及哩程ハ左記ノ通

但開始ト同時ニ小荷物ノ配達ヲ取扱フ

明治三十二年三月十六日

遞信大臣子爵芳川顯正

高岡ヨリ小杉マテ

四哩五十二錢

小杉ヨリ富山マテ

六哩三十四錢

旅客賃金

小杉及富山ノ兩驛ト東海道並北陸線各驛ト相互間ニ至ル旅客賃金表

(但一等ハ三等ノ三倍トス)

小	富	杉
一等	100	150
二等	70	105
三等	40	55
四等	25	35
五等	15	22
六等	10	15
七等	5	8
八等	3	5
九等	2	3
十等	1	2

小	富	杉
一等	100	150
二等	70	105
三等	40	55
四等	25	35
五等	15	22
六等	10	15
七等	5	8
八等	3	5
九等	2	3
十等	1	2

山	水の中ノ郵便分室 延岡 鹿野 杉津 本庄 野波 鹿江 大土居 高井 藤岡 眞庄 金澤 徳島 大蔵寺 赤塚	
二等	三〇	三〇
三等	一六五	一〇
四等	一〇	一〇
五等	一〇	一〇
六等	一〇	一〇
七等	一〇	一〇
八等	一〇	一〇
九等	一〇	一〇
十等	一〇	一〇
十一等	一〇	一〇
十二等	一〇	一〇
十三等	一〇	一〇
十四等	一〇	一〇
十五等	一〇	一〇
十六等	一〇	一〇
十七等	一〇	一〇
十八等	一〇	一〇
十九等	一〇	一〇
二十等	一〇	一〇
二十一等	一〇	一〇
二十二等	一〇	一〇
二十三等	一〇	一〇
二十四等	一〇	一〇
二十五等	一〇	一〇

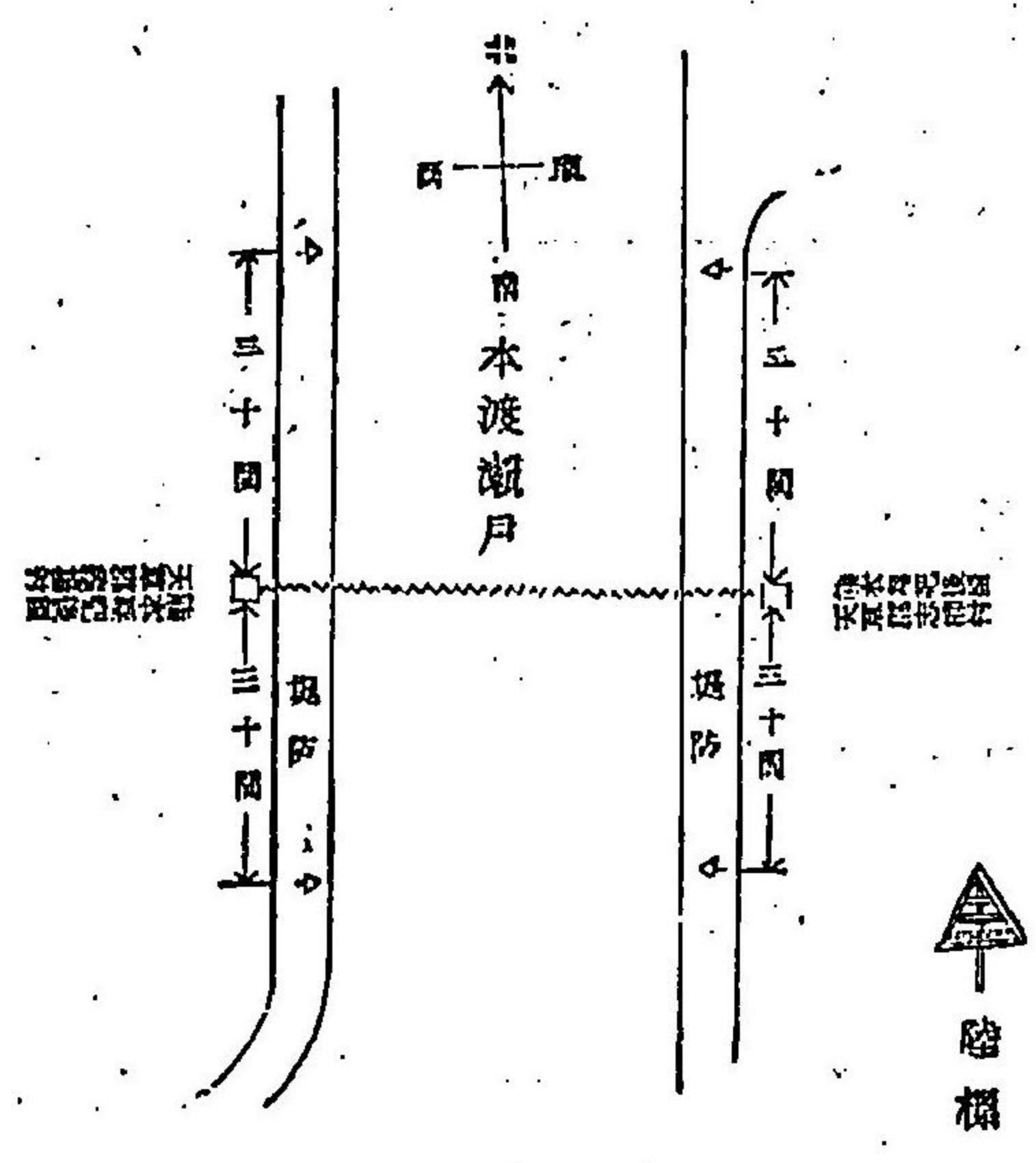
○逓信省告示第九十一號
本月二十一日ヨリ左ノ郵便受取所ヲ設置ス

明治三十二年三月十六日

- | | | | |
|---|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 播磨國姫路市國府寺町 播磨國神戶市並合 石狩國札幌郡下手稻村字輕川 石狩國空知郡帆内村 石狩國空知郡幾春別村 勝田國別所登別村 組伊國北牟婁郡桂城村大字島勝浦 | <ul style="list-style-type: none"> 延路國府寺郵便受取所 神戶並合郵便受取所 輕川郵便受取所 帆内郵便受取所 幾春別郵便受取所 登別郵便受取所 島勝浦郵便受取所 | <ul style="list-style-type: none"> 尾張國知多郡岡田村 岩代國信夫郡福島町大字福島字中町 羽前國米澤市仲間町 安藝國安佐郡三篠村大字楠木字横川 安藝國安藝郡吉浦村字川原石 出雲國松江郡庄原村大字下庄原 周防國玖珂郡麻里布村大字今津 | <ul style="list-style-type: none"> 岡田郵便受取所 福島中町郵便受取所 米澤仲間町郵便受取所 横川郵便受取所 川原石郵便受取所 庄原郵便受取所 今津郵便受取所 |
|---|--|---|---|

○逓信省告示第九十二號

熊本縣下肥後國天草郡志柿村ト同縣同國同郡龜場村トノ間ニ水底電線一條ヲ布設シ左圖ノ通線條ノ左右各三十間内ヲ該線路ト定ム
明治三十二年三月十八日
逓信大臣子爵芳川顯正



○逓信省告示第九十三號
東京郵便電信學校規則左ノ通改正シ來四月一日ヨリ實施ス
明治三十二年三月十八日
東京郵便電信學校規則
第一章 總則
第一條 本校ノ學科ハ分テ行政、技術ノ二科トシ行政科ニ於テハ郵便電信ノ監理、技術科ニ於テハ電信電話ニ關スル學藝技術ヲ教授ス
逓信大臣子爵芳川顯正
明治三十二年三月 告示 逓信省第九十三號 東京郵便電信學校規則 一八九

第二條 本校學生ハ卒業後五年間逓信部内ニ在官ノ義務アルモノトス

第三條 修業年限ハ行政科及技術科各二年トス

第四條 教務並ニ取締ニ關スル諸規則ハ別ニ本校長ノ定ムル所ニ依ル

第二章 學科

第五條 各科ノ學科科目ハ左ニ掲グルカ如シ

行政科

一 逓信法規

二 事業規畫法

三 法學通論

四 會計法規

五 行政法

六 經濟學

七 財政學

八 電氣通信

九 英語

十 佛語

十一 獨語

十二 統計學

十三 商業地理學

十四 和漢文

十五 兵式體操

技術科

一 電氣學

二 電信電話理論

三 電氣工學

四 電信電話建築法

五 電氣通信及電氣實踐

六 數學及力學

七 圖學

八 物理學

九 化學

十 英語

十一 第二外國語 佛語又ハ獨語

十二 工業經濟

十三 兵式體操

第六條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第七條 學年ヲ分テ夏冬ノ二學期トス夏學期ハ四月一日ヨリ十月二十日ニ至リ冬學期ハ十月二十一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル

第八條 休業期日ハ左ノ如シ

春期休業 自四月一日起至四月七日

夏期休業 自七月三十一日起至八月三十一日

冬期休業 自十二月二十五日起至翌年一月七日

學期試驗後 一週日

日曜日 大祭祝日

第九條 募集ハ毎年一回學年ノ終ニ於テシテ期日及人員ハ其都度官報及新聞紙ヲ以テ廣告スヘシ

但時宜ニ依リ臨時募集スルコトアルヘシ

第十條 入學試驗ハ學術及體格ノ二種トス

第十一條 入學ヲ許可スヘキモノハ左記各項ノ資格ヲ具フル者ニ限ル

一 年齢十八年以上二十五年以下ノ者

二 品行方正ナル者

三 入學試驗ニ合格ナル者

第十二條 尋常中學校ノ卒業證書ヲ有スル者ハ學術試驗ヲ要セス第一年級ニ入ルヲ許ス

第十三條 入學學術試驗科目ハ左ノ如シ

一 英語

二 和漢文

三 物理學

七 數學

四 化學

五 内外國地理

六 内外國歴史

第十四條 前條ノ試験評點數ハ各課目一百點ヲ以テ最高點トシ總平均六十點以上各科目五十點以上ヲ以テ合格トス

第十五條 入學試験合格者所定員ニ超ユルトキハ合格者ノ内ニ就キ別ニ定ムル所ノ試験ニヨリ選拔スルシ

第十六條 入學志願者ハ甲號書式ノ入學願書ニ學業履歷書ヲ添ヘ差出スヘシ

第十七條 入學試験ニ合格シタル者ハ速ニ身元保證人ヲ定メ乙號書式ノ誓約書ヲ差出シ入學ノ許可ヲ請フヘシ

第十八條 身元保證人ハ二名トシ土地又ハ家屋ヲ所有シ又ハ所得稅ヲ納付スルモノニシテ東京市内ニ住居スル者ニ限ル

前項身元保證人ノ資格ハ土地若クハ家屋ハ其所在地所得稅ハ其納稅地ノ市區町村長ノ證明ヲ受ケ其證明書ヲ前條ノ誓約書ニ添ヘ差出スヘシ

第十九條 身元保證人改姓名轉居改印及府外ヘ旅行スルトキハ其旨本校ニ届出ツヘシ

第二十條 身元保證人死去若クハ第十八條ノ資格ヲ喪失シタルトキ新ニ保證人ヲ定メ更ニ丙號書式ノ届書ヲ差出スヘシ

第二十一條 學生ニハ入學許可ノ月ヨリ在學中毎月學費トシテ金八圓ヲ貸與シ且授業料ヲ課セス被服書籍器具ハ之ヲ貸與ス但停學ヲ命セラレタル者ニハ其期間學費ヲ貸與セス

第二十二條 貸費ハ卒業ノ上毎月金五十錢以上ヲ償納スヘシ

但在學中若クハ在官中死亡シタルトキハ其全額若クハ未償還額ノ償納ヲ免除シ又退學ヲ許可シ若クハ退學ヲ命セラレタルトキハ其全額又辭職若クハ懲戒免官ノ場合ハ未償還額全部ヲ

其際一時ニ本人若クハ身元保證人ヲシテ償納セシム

第二十三條 二學年引續キ落シタル者ハ退學ヲ命スルコトアルヘシ

第二十四條 疾病及其他ノ事故ニ依リ一學期間引續出校セサル者ハ退學ヲ命スルコトアルヘシ

第五章 進級及卒業

第二十五條 學生ノ進級及卒業試験ニ關スル規則ハ本校長定ムル所ノ試験規程ニ依ル

第六章 褒賞及懲罰

第二十六條 一學期間試験ノ成績優等ニシテ平素品行方正ナル者ニハ褒賞ヲ授與スルコトアルヘシ

第二十七條 校則其他ノ命令規則ニ背戾シタル者又ハ品行不良ナル者ハ之ヲ懲罰ニ附ス其懲罰左ノ如シ

一 減點

二 停學

三 退學

第二十八條 減點及停學ハ情狀ニ依リ之ヲ併科スルコトアルヘシ

附則

第二十九條 本校ニ別ニ通信ノ一科ヲ置キ逓信部内電氣通信ニ従事スル者ヲシテ特殊ノ學藝ヲ練習セシム其規則ハ別ニ之ヲ定ム

甲號書式 (用紙差紙)

入學願書

某^姓御校何科志願ニ付御試験ノ上入學許可相成度履歷書相添此段相願候也

宿所何^郡何^町何^{番地}何^番又某^姓

原籍何^郡何^町何^{番地}何^番氏^名某^姓子^弟

年 月 日

東京郵便電信學校校長名宛

明治三十二年三月 告示 逓信省第九十三號 東京郵便電信學校規則

一九三

乙號書式 (用紙美濃紙)

誓約書

私儀御校入學御許可ノ上六御規則等堅ク相守リ修業勉勵可致ハ勿論卒業ノ上ハ五箇年間逓信部内ニ在官ノ義務ヲ遵守シ公務ニ精勤シ何レノ地方ヘ在勤被命候トモ決シテ異議申出問敷候若シ不此事故ニヨリ退官願出ルカ又ハ官ヨリ退官被申付候節ハ身元保証人連帶テ以テ御規則ノ通在學中ノ學費俄納其他一切ノ責ニ任ス可ク候仍テ身元保証人連帶誓約書如斯儀也

年月日

氏

名印

宿所東京市何區何町何番地住
原籍何縣何郡何村何番地

氏

名印

宿所東京市何區何町何番地住
原籍何縣何郡何村何番地

氏

名印

丙號書式 (用紙美濃紙)

東京郵便電信學校校長名宛

今般私保護人某國死去又ハ何レノ三符テハ更ニ前記某ヲ保護人ト相定メ續此後御届仕候也
年月日 某科學生 何 某印

何府縣何郡何村何番地
單士族平民(某子弟)

氏

名

生年月日

東京郵便電信學校校長名宛

私儀前書何某保護人ト相成候ニ付テハ同人學費金俄納其他一切ノ責任ハ御規則ノ通相引受可申候也
何府縣何郡何村何番地
保護人 氏 名印

○逓信省告示第九十四號

香川縣山田郡庵治村竹居及小豆郡土庄村木香沖ニ設置ノ水底電線浮標修繕竣工ニ依リ糞ニ設置シタル假浮標ヲ撤去シ本位置ニ復ス

明治三十二年三月二十日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第九十五號

明治三十年七月逓信省告示第七十三號各國適宜ニ規定スルヲ得ル事項中「第九」ヲ左ノ通改正シ本年四月一日ヨリ施行ス

明治三十二年三月二十日

逓信大臣子爵芳川顯正

第九 著信局ヨリ一里以外ハ別使ヲ以テ電報ヲ配達スルコトヲ得(目第五十九條第一節及目第六十條第一節)別使費ハ著信局ヨリ三里マテ金二十錢三里ヲ超ユルトキハ十八町以内毎ニ金六錢ヲ増シ受信人ヨリ之ヲ徴收ス但將船ヲ以テ配達スルトキハ金二十錢ヲ徴收ス

○逓信省告示第九十六號

本月一日ヨリ臺北縣臺北郵便電信局區内新庄郵便受取所ニ於テ郵便替郵便貯金事務ヲ取扱フ

明治三十二年三月二十二日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第九十七號

鐵道貨物運送補則等級表中露天外二品ノ貨率左ノ通改正シ來四月一日ヨリ實施ス

明治三十二年三月二十二日

逓信大臣子爵芳川顯正

一 寒天、武力空襲

級外品トシ五級貨金ノ二倍低價貨金モ亦五級ノ二倍トス

但貸切車ノトキハ三級品扱トス

一 石油空箱

五級トス但貸切車ノトキハ三級品扱トス

○逓信省告示第九十八號

自今郵便電信局、郵便局及郵便受取所ニ於テ收入印紙ノ賣下ヲ爲サシム

但在外郵便電信局、郵便局ヲ除ク

明治三十二年三月二十五日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第九十九號

本月二十七日ヨリ左ノ郵便受取所ヲ設置ス

明治三十二年三月二十五日

逓信大臣子爵芳川顯正

位	所	名
武藏國東京市日本橋區船物町	日本橋船物町郵便受取所	
武藏國東京市赤坂區青山北町六町	赤坂青山北町郵便受取所	
武藏國東京市神田區三階町三丁目	神田三階町郵便受取所	
武藏國東京市本所區本所相生町五丁目	本所二ノ橋通郵便受取所	

○逓信省告示第一百號

鐵道貨物運送補則第三十一條第四項及第五項ニ在ノ但書ヲ追加シ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

明治三十二年三月二十八日

逓信大臣子爵芳川顯正

但低價貨金貳圓ト定ム

○逓信省告示第一百一號

來四月一日ヨリ下野國宇都宮市宇都宮鐵道停車場電信取扱所ニ於テ左ノ通信取扱時限ニ從ヒ公衆ノ發送スル電報及留置ト爲ス著信電報ヲ取扱フ

但萬國電信條約書ニ依リ取扱ヘキ電報ハ之ヲ取扱ハス

明治三十二年三月二十八日

逓信大臣子爵芳川顯正

通信取扱時限 三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前七時ヨリ午後十時マテ

○逓信省告示第一百二號

來四月一日ヨリ伊勢國四日市四日市及同國鈴鹿郡龜山ノ兩鐵道停車場電信取扱所ニ於テ左ノ通信取扱時限ニ從ヒ公衆ノ發送スル電報及留置ト爲ス著信電報ヲ取扱フ

但萬國電信條約書ニ依リ取扱ヘキ電報及歐文電報ハ之ヲ取扱ハス

明治三十二年三月二十八日

逓信大臣子爵芳川顯正

通信取扱時限 三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前七時ヨリ午後十時マテ

○逓信省告示第一百三號

本年四月一日ヨリ長崎電話交換局ニ於テ電話交換ノ業務ヲ開始ス

明治三十二年三月二十八日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第一百四號

長崎電話交換局内ニ電話所ヲ置キ築町電話所ト稱シ本年四月一日ヨリ電話通信ヲ開始ス

明治三十二年三月二十八日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第一百五號

長崎電話交換局内ニ電話所ヲ置キ築町電話所ト稱シ本年四月一日ヨリ電話通信ヲ開始ス

明治三十二年三月二十八日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第五號

本月三十日ヨリ安房國安房郡千倉郵便局ヲ三等郵便電信局トシ千倉郵便電信局ト改稱ス

明治三十二年三月二十九日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第六號

來四月一日ヨリ播磨國舞子鐵道停車場電信取扱所ヲ垂水鐵道停車場電信取扱所ト改稱ス

明治三十二年三月二十九日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第七號

明治三十年六月逓信省告示第六十七號海外電報料金表第一表亞非利加地方ノ部中「マゾエ」及「タチ」ノ二項ヲ削除シ「英吉利南亞非利加會社所屬ノ電信局」ノ項ヲ左ノ通改正ス

明治三十二年三月二十九日

逓信大臣子爵芳川顯正

英吉利南亞非利加會社所屬ノ電信局(British South African Company's Stations)

51100 51900

南アフリカ(Southern Rhodesia)

51300 51700

英領中央亞非利加(British Central Africa)

51500 51900

ニアサランド(Nyasaland)

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第八號

明治二十九年十月逓信省告示第九十九號英國經由諸外國行小包郵便物料金表中左ノ通改正ス

明治三十二年三月二十九日

英領ギナウ(British Guiana)

地	小包	各筒	料金
英領ギナウ(British Guiana)	重量六十グラム	重量八十グラム	重量一百グラム
	10.8	12.6	14.4

○逓信省告示第九號

明治三十年十月逓信省告示第三百五十八號電話託電報發受局中左ノ通追加ス

明治三十二年三月二十九日

逓信大臣子爵芳川顯正

長崎 長崎郵便電信局

○逓信省告示第十號

萬國郵便條約施行細則第四十條第一項中左ノ通修正追加ス

明治三十二年三月二十九日

逓信大臣子爵芳川顯正

第五 亞爾是利ハ佛蘭西ノ一部ト看做シ「モナコ」侯國及「マロック」、上海、天津、漢口及芝罘(清

國)竝ニ「ザンシバル」ニ設置ノ佛蘭西郵便局ハ同國郵政廳ニ屬スルモノトス

第十四 「スピッツバートグ」ノ西部「アドヴァン、ベイ」ニ設置ノ那威郵便局ハ同國郵政廳ニ屬スル

モノトス

○逓信省告示第十一號

來四月一日ヨリ左記ノ各鐵道停車場電信取扱所ニ於テ別記ノ事項ニ依リ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス

但萬國電信條約書ニ依リ取扱フヘキ電報及歐文電報ハ之ヲ取扱ハス

明治三十二年三月二十九日

逓信大臣子爵芳川顯正

一 武藏國入間郡入間川

一 陸前國名取郡増田

一 土總國山武郡成東

一 磐城國石城郡磐梯

一 上總國山武郡大網

一 備中國淺口郡豐方

一 山城國綴喜郡玉水

一 安藝國豐田郡本郷

一 逓信取扱時限

入間川取扱所ハ午前七時ヨリ午後六時マテ
 成東、大網、鴨方、本郷ノ各取扱所ハ午前七時ヨリ午後八時マテ
 玉水、手宮ノ兩取扱所ハ三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ十一月
 一日ヨリ翌年二月末日マテ午前七時ヨリ午後十時マテ
 増田、綴ノ兩取扱所ハ午前七時ヨリ午後七時マテ
 牟禮取扱所ハ三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後八時マテ十一月一日ヨリ翌
 年二月末日マテ午前七時ヨリ午後八時マテ
 一 電報直配達區域

入間川取扱所ハ入間川町一圓
 成東、大網、牟禮ノ各取扱所ハ九町以内
 玉水、本郷ノ兩取扱所ハ十八町以内
 増田取扱所ハ増田町大字増田
 綴取扱所ハ五町以内
 鴨方取扱所ハ淺口郡六條淀村一圓及鴨方村一圓
 手宮取扱所ハ三町以内
 一 別使配達

入間川、成東、大網、玉水、増田、綴、牟禮ノ各取扱所ハ區域ヲ限ラス之ヲ取扱フ鴨方取扱所ハ
 淺口郡六條院村一圓及鴨方村一圓ニ限り之ヲ取扱フ
 ○ 遞信省告示第百十三號

來四月一日ヨリ後志國小樽郡住吉鐵道停車場電信取扱所ニ於テ左ノ通信取扱時限ニ從ヒ公衆ノ發
 送スル電報及留置ト爲ス著信電報ノ取扱ヲ開始ス
 但萬國電信條約書ニ依リ取扱フヘキ電報及歐文電報ハ之ヲ取扱ハス

明治三十三年三月二十九日

遞信大臣子爵芳川顯正

通信取扱時限

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午
 前七時ヨリ午後十時マテ

○ 遞信省告示第百十三號

波斯國ニ著スル電報ハ左ノ各局ニ宛ルモノヲ除クノ外波斯又ハ佛蘭西ノ普通語ヲ以テ書載スルヲ
 要スル旨萬國電信總局ヨリ通報シ來レリ

明治三十三年三月二十九日

遞信大臣子爵芳川顯正

アハラン (Tahran)	ボトニーン (Busine)	キルマンナキ (Kirmanschah)
クーフ (Koum)	メサード (Meshed)	ヘズ (Yezd)
カチヤン (Kachan)	カズヴィン (Kazvine)	アスターバド (Asterabad)
イスパハン (Ispahan)	ロフト (Roof)	
チラーズ (Chiraz)	タウリス (Tauris)	

○ 臺灣總督府告示第二十四號 (官報 三月四日)

明治三十一年六月告示第三十五號別冊臺灣發福州經過海外電報料金表中左ノ通改正ス

明治三十三年二月十六日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

第四表西印度地方ノ部中「キユーベ」項ヲ左ノ通改正ス

遞信省告示第百十三號
 臺灣總督府告示第二十四號

馬拉田斯阿蘇蘇線 停 港 業

面	西島陸地方 (West Indies)	チリ	ペルー	ボリビア	ブラジル	ポルトガル	フランス	イギリス	ドイツ	オランダ	スペイン	イタリア	中国	日本	朝鮮	南洋
西島陸地方	カブマン (Cebu)	マニラ (Manila)	セブ (Cebu)	ボリビア	ブラジル	ポルトガル	フランス	イギリス	ドイツ	オランダ	スペイン	イタリア	中国	日本	朝鮮	南洋

面	西島陸地方 (West Indies)	チリ	ペルー	ボリビア	ブラジル	ポルトガル	フランス	イギリス	ドイツ	オランダ	スペイン	イタリア	中国	日本	朝鮮	南洋
西島陸地方	カブマン (Cebu)	マニラ (Manila)	セブ (Cebu)	ボリビア	ブラジル	ポルトガル	フランス	イギリス	ドイツ	オランダ	スペイン	イタリア	中国	日本	朝鮮	南洋

臺灣總督府告示第二十五號 (官報 三月四日)
 臺灣西岸ノ極北端富基角燈臺ニ於テ壓窄空氣霧笛ヲ設置シ明治三十三年三月十五日ヨリ煙霧其他
 眞凍ナル天候ニハ每一分時ヲ隔テ之ヲ吹鳴ス其吹鳴時間ハ五秒ニシテ平穩ナル天候ニ於テハ其繼

同表未尾備考第四ノ左ノ通致ナス
 上ニ諸語毎ニ金四十二錢(一法〇五錢)ヲ加課ス
 四 第四表中西印度(チリ、ペルー、ボリビア、ブラジル、ポルトガル、フランス、イギリス、ドイツ、オランダ、スペイン、イタリア)ナル指定ヲ記入スルヲ要ス其料金ハ「キユーノ」ニ至ルモノハ「ブレラ
 「ハインチ線」ニ其他ノ「キユーノ」ニ至ルモノハ「ブレラ」ニ同シ

其地各地
 *此兩地ニ宛タル電報ハ「ブレラ」ノ「ハイチ」線ヲ經テ傳送スルモノヲ除クテ外十部ニ付金三圓〇八錢(一法五十三錢)及十部以
 上ニ諸語毎ニ金四十二錢(一法〇五錢)ヲ加課ス

明治三十三年三月 告示 臺灣總督府第二十六號 第二十七號 第二十八號
約四海里ニ達ス

二〇四

明治三十二年二月二十四日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第二十六號(官報三月十七日)

明治三十二年三月一日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第二十七號(官報三月十七日)

郵便爲替拂渡ノ際受取人ノ答辯報知書ト符合セサル場合ニ於テ受取人ノ請求ニ依リ往復電報料及電信ノ設ナキ地ニ係ルモノハ該電報受授ニ要スル郵便料ヲモ假納セシメ電報ヲ以テ振出局所ヘ照會往復スル手續ハ明治二十六年六月遞信省令第十一號ノ規定ニ依ル

明治二十九年九月告示第十五號ハ廢止ス

明治三十二年三月一日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

〔參照〕

明治二十九年九月三十日告示第十五號ハ郵便爲替事故電報取扱方ノ件ナリ

○臺灣總督府告示第二十八號(官報三月十七日)

汽船臺灣府號ヘ左ノ信號符字ヲ點附ス

明治三十二年三月七日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

信號符字	船籍證書番號	船	名	種類	船籍港	船主
K B C T	一三 一三	臺灣府號	Taiwanfugo	汽	安平	王雪農

○臺灣總督府告示第二十九號(官報三月二十四日)

明治三十一年八月告示第五十一號ヲ以テ流失ノ旨告示セシ臺北縣淡水港口ノ南側沙嘴ノ北界「ハーポール」浮標ハ明治三十二年三月四日ヨリ同港門洲ノ北側北門洲浮標ハ同年同月八日ヨリ左記ノ通碇置セリ

明治三十二年三月十四日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

一「ハーポール」浮標

鐵製圓錐形其頂三角錐形ニシテ赤色ニ塗リ水面上高サ一丈二尺五寸

一北門洲浮標

鐵製圓錐形其頂圓筒形ニシテ黑色ニ塗リ水面上高サ一丈二尺五寸

○臺灣總督府告示第三十號(官報三月二十四日)

明治三十二年四月一日ヨリ明治三十一年八月告示第五十五號ニ左ノ通追加ス

明治三十二年三月十六日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

名稱

位置

酒尾小學校
宜蘭小學校

酒尾
宜蘭

〔參照〕

明治三十一年八月三十日臺灣總督府告示第五十五號ハ同府小學校名稱位置ノ件ナリ

明治三十三年三月 告示 臺灣總督府第二十九號 第三十號

二〇五

○外務省告示第三號
在清國福州廈門帝國領事館分館ヲ廢シ更ニ同所ニ帝國領事館ヲ設置シ本月一日ヨリ開廳セリ
明治三十二年四月六日
外務大臣子爵青木周藏

○外務省告示第四號
北米合衆國ト西班牙國トノ媾和條約ハ本月十一日ヲ以テ批准交換セラレタル旨北米合衆國駐節帝國特命全權公使ヨリ通報アリタリ
明治三十二年四月十四日
外務大臣子爵青木周藏

○内務省告示第三十九號
一婦人畫但浴後著 一枚 東京市馬喰町三丁目四番地邊渡忠久發行
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス
明治三十二年四月一日
内務大臣侯爵西鄉從道

○内務省告示第四十號
一女泣一册 淺草區新谷町七番地菅川金太郎發行
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁シ且其ノ刻版及印本ヲ差押フヘキ旨達セリ
明治三十二年四月一日
内務大臣侯爵西鄉從道

○内務省告示第四十一號
傳染病研究所ヲ東京市芝區愛宕町二丁目十三番地ニ置キ明治三十二年四月一日ヨリ事務ヲ開始ス
明治三十二年四月一日
内務大臣侯爵西鄉從道

○内務省告示第四十二號
明治三十年法律第二十九號砂防法第二條ニ依リ砂防設備ヲ要スル土地左ノ通指定ス

明治三十二年四月 告示 外務省第三號 第四號 內務省第三十九號 第四十號 第四十一號 第四十二號

明治三十二年四月四日

内務大臣侯爵西郷從道

兵庫縣

郡名	町村	大字	名字	小字	名字	郡名	町村	大字	名字	小字	名字
武庫	真元	伊子	志武	藤山							
小林	西山										
川上	山										
砂見	山										
坪	山										
ヒヨドリ											
セシヤカケ											
ホンガ											
岩ノ											
金ノ											
西ノ											
千石											
ナダウラ											
スベリ											
千石											
千石											
丸ノ											
ホク											

内務大臣侯爵西郷從道

郡名 町村 大字 名字 小字 名字

津會 田島 田島 上川原

福井縣

郡名 町村 大字 名字 小字 名字

大野 上庄 佐開 利尾 松尾 屋田部 柳

○内務省告示第四十三號

明治三十年法律第二十九號砂防法第二條ニ依リ治水上砂防ノ爲メ一定ノ行爲ヲ禁止若ハ制限スヘキ土地左ノ通指定ス

明治三十二年四月四日

内務大臣侯爵西郷從道

郡名 町村 大字 名字 小字 名字

野洲 篠原 小堤 一ケ谷

郡名 町村 大字 名字 小字 名字

犬上 大瀬 富ノ尾 小森池

○内務省告示第四十四號

右出版物ノ第三號記載ノ事項出版法第二條ノ範圍外ニ涉ルモノト認ムルヲ以テ自今出版法ニ依リ

一 栃木新誌 栃木縣下都賀郡栃木町大字栃木三百〇四番地柴田留三郎發行

○内務省告示第四十四號

右出版物ノ第三號記載ノ事項出版法第二條ノ範圍外ニ涉ルモノト認ムルヲ以テ自今出版法ニ依リ

明治三十三年四月 告示 内務省第四十三號 第四十四號

二〇九

出版スルコトヲ差止ム

明治三十二年四月四日

○内務省告示第四十五號

古社寺保存法第四條ニ依リ左記ノ建造物ヲ以テ特別保護建造物ノ資格アルモノト定ム
明治三十二年四月五日

内務大臣 侯爵西郷從道

内務大臣 侯爵西郷從道

名 稱	構 造 形 式	所 在 地 名
南禪寺三門	五間三戸樓門、木瓦葺	京都府京都市上京區南禪寺町
慈仁寺方丈	單層、入母屋、木瓦葺	同下京區小松町
知恩院勢至堂	七間四方、單層、入母屋、木瓦葺	同林下町
靈巖寺五大堂	五間四面、單層、入母屋、木瓦葺	同宇治郡龍岡村
岩船寺三重塔	三間三層塔婆、木瓦葺	同相模郡常尾村
金胎寺多寶塔	三間二層塔婆、檜皮葺	同和歌山縣
圓覺寺舍利殿	五間四方、重層、屋根入母屋、上層茅葺、下層柿葺	同奈良縣磯城郡小阪村
東大寺轉寶門(舊寶門)	八脚門、木瓦葺	同奈良縣東大寺町
靈山寺三重塔	三間三層塔婆、初重棧瓦葺、二重柿葺、三重檜皮葺	同生駒郡高市町
法隆寺大講堂	九間四面、單層、屋根入母屋、木瓦葺	同法隆寺村
同鐘樓(舊鐘樓)	三間二面重層樓、屋根切妻、木瓦葺	同法隆寺村
同經藏(舊經藏)	三間二面重層樓、屋根木瓦葺	同法隆寺村

同 同 廊	本廊及支廊ヲ合セテ桁行八十五間、梁間一間、單層、屋根木瓦葺	同北生駒村
長福寺本堂	桁行五間、梁間三間、向拜一間、屋根入母屋、木瓦葺	同長福寺境內
當麻寺金堂	五間四面、單層、屋根入母屋、木瓦葺	同北葛城郡當麻村
同 講堂	七間四面、單層、屋根四法、木瓦葺	同當麻寺境內
石山寺多寶塔	二層塔婆、下層方三間、上層圓形、屋根檜皮葺	同滋賀縣滋賀郡石山村
延曆寺根本中堂(舊中堂)	桁行十一間、梁間六間、單層、屋根入母屋、銅板葺、同麻桁行四十一間、梁間二間、屋根柿葺	同坂本村
御上神社本殿	三間四方、單層、屋根入母屋、檜皮葺	同延曆寺境內
同 拜殿	三間四方、單層、屋根入母屋、檜皮葺	同野洲郡三上村
同 樓門	三間一戸樓門、屋根ナシ、屋根入母屋、檜皮葺	同御上神社境內
善水寺本堂(舊本堂)	桁行七間、梁間五間、單層、屋根入母屋、檜皮葺	同同甲賀郡岩根村
靜久夫須麻神社(舊本殿)	桁行五間、梁間四間、重層、向拜一間、屋根入母屋、軒唐破風、檜皮葺	同善水寺境內
大法寺三重塔(舊塔)	三間三層塔婆、屋根木瓦葺	同同東淺井郡竹生村
殿島神社本社	本殿、幣殿、拜殿、破殿、左右樂房、同端(以上檜皮葺)朝坐屋、能舞臺、階、能樂屋(以上柿葺)平舞臺、高成、左右内侍橋(檜皮葺)揚水橋、長橋、反橋ヨリ成ル	同長野縣小縣郡浦里村
同 大 島 居	四脚造	同殿島神社境內
同攝社客神社社殿	本殿、幣殿、拜殿、破殿ヨリ成ル屋根檜皮葺	同大島居境內
同大國神社本殿	桁行四間、梁間三間、單層、屋根切妻、檜皮葺	同同社境內
同天神社本殿	三間四方、桁行一間、單層、屋根入母屋、檜皮葺、渡廊付	同同社境內

〇内務省告示第四十七號

明治三十年法律第二十九號砂防法第二條ニ依リ治水上砂防ノ爲メ一定ノ行爲ヲ禁止若ハ制限スヘキ土地左ノ通指定ス

三重縣

雲母ヶ峯	間ヶ倉	蛭不老	宗利東嶺	宗利西嶺	江田小谷	湯ノ山	新道
加ノ谷	寺坂	廣橋	丸池	細切	蛭ノ谷	陸谷	金谷
石坂	茨野	力尾	谷奥	二俣	北谷	神造谷	藤ノ木
菖蒲谷	西畑谷	野ヶ倉	獅子峯	郷戸	東畑谷	前田	中畑谷
宿野	經塚	山分	射矢ノ谷	飛越	菅ヶ谷	鳩尾	奥ノ谷
稻荷山	北垣内	東谷	梅ヶ谷	城ノ下	城ノ谷	磯ヶ谷	八間
櫻村		御寶松	榎島ヶ谷	城ノ下	大友谷	番化谷	山神戸
		山上垣内	中尾	前坂			

明治三十三年四月十三日 三重縣

内務大臣 侯爵西郷從道

部名	市町村	大字名	字	名
三重縣	櫻村	大字名	字	
		衣笠	山上垣内	經塚
		大峽	大谷	奥ヶ野
		割谷	神田ヶ谷	鈴原
		新増坊	猪峽	坊主尾
		大井川ヶ	東馬谷	西芽元
		西ノ平	山畑	東別所
		前野	高岡	西別所
		智積	石長生谷	蠣川
		積谷	小淵谷	大谷
		積谷	龜沢ヶ	百ヶ
		積谷	小淵谷	狐谷
		積谷	池ノ奥	山畑
		積谷	池ノ奥	雨池

部名	市町村	大字名	字	名
三重縣	三野	大字名	字	
		衣笠	山上垣内	經塚
		大峽	大谷	奥ヶ野
		割谷	神田ヶ谷	鈴原
		新増坊	猪峽	坊主尾
		大井川ヶ	東馬谷	西芽元
		西ノ平	山畑	東別所
		前野	高岡	西別所
		智積	石長生谷	蠣川
		積谷	小淵谷	大谷
		積谷	龜沢ヶ	百ヶ
		積谷	池ノ奥	狐谷
		積谷	池ノ奥	山畑
		積谷	池ノ奥	雨池

○内務省告示第四十八號
 一觀相秘訣 一枚 東京市京橋區岡崎町二丁目六番地岡田庄兵衛發行
 右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁シ且其ノ刻版及印本ヲ差押フヘキ旨達セリ

○内務省告示第四十九號
 法相宗管長缺員中同宗僧正佐伯定胤ニ事務取扱ヲ命シ宗制寺法ニ依リ管長事務ヲ取扱ハシム
 明治三十二年四月十七日 内務大臣侯爵西鄉從道

○内務省告示第五十號
 郡市ノ區域ニ依ラサル警察署管轄區域表中宮城縣ノ次左ノ通追加ス
 明治三十二年四月二十日 内務大臣侯爵西鄉從道

○内務省告示第五十二號
 一房義民傳一冊 千葉縣上總國市原郡白鳥村大字折津十七番地平民秋葉啓三郎發行
 右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス
 明治三十二年四月二十四日 内務大臣侯爵西鄉從道

○内務省告示第五十三號
 明治三十二年第二回醫術開業試驗並藥劑師試驗舉行ノ地及期日左ノ通相定ム
 明治三十二年四月二十五日 内務大臣侯爵西鄉從道

○内務省告示第五十四號
 皇大神宮臨時御造營ニ係ル木造始祭式日時左ノ通り御治定相成リタリ
 明治三十二年四月 告示 内務省第五十一號 第五十二號 第五十三號 第五十四號

○内務省告示第五十一號
 醫術開業試驗附屬病院ヲ東京市麴町區永樂町一丁目二番地ニ置キ永樂病院ト稱ス
 明治三十二年四月二十一日 内務大臣侯爵西鄉從道

府縣	警察署	管轄區域
福島	北會津警察署	若松市
北會津郡		北會津郡

○内務省告示第五十四號
 東京府下東京市 十月二日 藥劑師試驗
 大阪府下大阪市 十一月六日 東京府下東京市 十二月一日
 熊本縣下熊本市 十月十日 大阪府下大阪市 十一月三十日
 熊本市ニ於テハ齒科試驗ヲ舉行セス

木造祭 四月二十九日午前八時
明治三十二年四月二十六日

内務大臣侯爵西郷從道

○大藏省告示第十六號

一 銀行紙幣六百五拾六萬九千八拾參圓
但合同銷却並ニ鎖店銀行引上ケ紙幣合高
右ハ明治三十年中當省ニ於テ廢棄ノ手續ヲ了シタルモノニシテ本年三月二十七日、二十八日、二十九日三十日ノ四日間印刷局構内ニ於テ燒棄セリ
明治三十二年四月一日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第十七號

神戸稅務管理局ヲ本月四日神戸市榮町一丁目番外二十一番屋敷へ移ス
明治三十二年四月六日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第十八號

一 五分金祿公債證書額面拾壹萬千五百圓
此買入價格證書額面百圓ニ付金九拾壹圓貳拾六錢
右明治二十九年法律第五號國債證券買入銷却法ニ據リ本年三月三十日買入銷却セリ其證書ノ種類及記號番號ハ左ノ如シ
明治三十二年四月十三日

大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第十九號

明治三十年大藏省告示第七十三號金庫位置及出納區域表中央金庫所屬淀橋支金庫及札幌本金庫

所屬月形支金庫ノ欄ヲ删除シ豐多摩郡ヲ中央金庫ノ出納區域ニ樺戸雨龍一郡ヲ岩見澤支金庫ノ出納區域ニ編入シ本年五月一日ヨリ施行ス
同告示中高松本金庫ノ出納區域ニ水田郡ヲ編入ス
同告示中臺北本金庫及其所屬支金庫ノ欄ヲ左ノ通改正ス
明治三十二年四月二十二日

大藏大臣伯爵松方正義

本金庫名	位	置	區	支金庫名	位	置	區
臺北	臺北縣臺北	府管内	臺灣總督府管内	新 竹	臺北縣新竹	臺北縣管内(新竹縣管内ヲ除ク)	臺北縣管内(新竹縣管内ヲ除ク)
臺 中	臺中縣臺中	臺中縣管内	臺中縣管内(北港辦務署管内ヲ除ク)	嘉 義	臺南縣嘉義	臺南縣管内(北港辦務署管内ヲ除ク)	臺南縣管内(北港辦務署管内ヲ除ク)
臺 南	臺南縣臺南	臺南縣管内	臺南縣管内(臺南縣管内ヲ除ク)	鳳 山	臺南縣鳳山	臺南縣管内(鳳山縣管内ヲ除ク)	臺南縣管内(鳳山縣管内ヲ除ク)
鳳 山	臺南縣鳳山	臺南縣管内	臺南縣管内(鳳山縣管内ヲ除ク)	阿 猴	臺南縣阿猴	臺南縣管内(阿猴辦務署管内)	臺南縣管内(阿猴辦務署管内)
				恒 春	臺南縣恒春	臺南縣管内(恒春辦務署管内)	臺南縣管内(恒春辦務署管内)
				東 港	臺南縣東港	臺南縣管内(東港辦務署管内)	臺南縣管内(東港辦務署管内)
				湖 州	臺南縣湖州	臺南縣管内(湖州辦務署管内)	臺南縣管内(湖州辦務署管内)

明治三十三年四月 告示 大藏省第二十一號 第三十三號

同	葉聯干天葉	二等以下	九等	二至五ル	八九以上	一〇未滿	三	原葉聯干天葉	五等以下	九等	二至五ル
同	葉聯干天葉	五等以下	十等	二至五ル	七七以上	八九未滿	同	葉聯干天葉	一等以下	八等	二至五ル
同	葉聯干天葉	四等以下	十等	二至五ル	六五以上	七七未滿	同	葉聯干天葉	一等以下	八等	二至五ル
同	葉聯干天葉	四等以下	九等	二至五ル	五六以上	六五未滿	同	葉聯干天葉	五等以下	九等	二至五ル
同	葉聯干天葉	四等以下	九等	二至五ル	四七以上	五六未滿	同	葉聯干天葉	四等以下	十等	二至五ル
同	葉聯干天葉	四等以下	十等	二至五ル	三八以上	四七未滿	同	葉聯干天葉	四等以下	九等	二至五ル
同	葉聯干天葉	四等以下	十等	二至五ル	二九以上	三八未滿	同	葉聯干天葉	一等以下	九等	二至五ル
同	葉聯干天葉	四等以下	十等	二至五ル	二九以上	二九未滿	同	葉聯干天葉	一等以下	九等	二至五ル
同	葉聯干天葉	四等以下	十等	二至五ル	一七以上	二九未滿	同	葉聯干天葉	四等以下	十等	二至五ル
同	葉聯干天葉	四等以下	十等	二至五ル		二九未滿	同	葉聯干天葉	四等以下	十等	二至五ル

○大藏省告示第二十一號
 專賣局出張所ニ於ケル事務取扱期節ハ其ノ都度專賣局長又ハ專賣支局長之ヲ公示ス

明治三十三年四月二十九日

大藏大臣 伯耆松方正義

○大藏省告示第二十二號

明治三十年大藏省告示第二十八號金銀地金精製及品位證明取扱順序第二條二項純銀一百匁ニ付金貳錢九厘ヲ金參錢六厘ニ同三項純銀一百匁ニ付金五錢九厘ヲ金七錢貳厘ニ改ム

明治三十三年四月二十九日

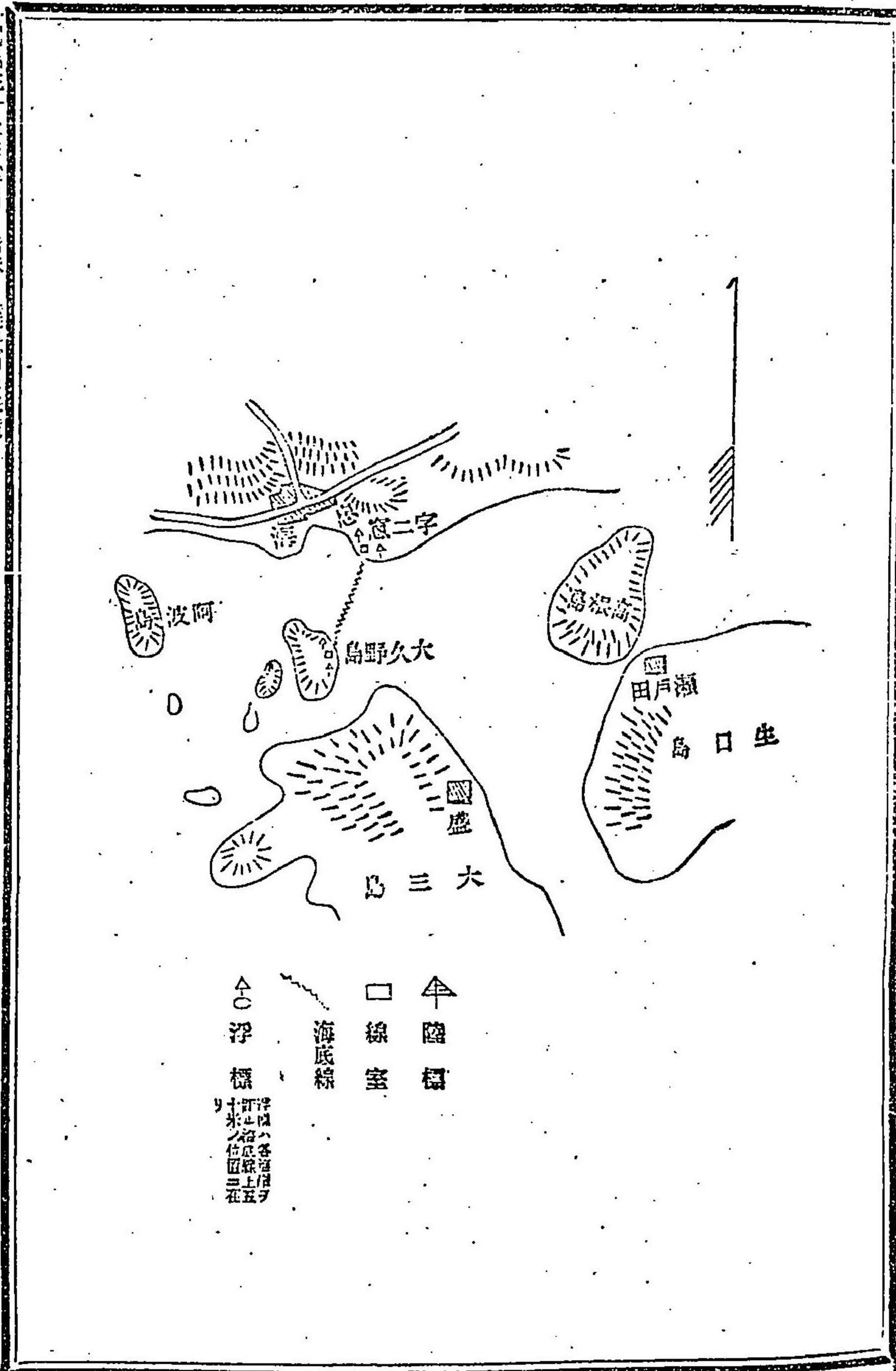
大藏大臣 伯耆松方正義

○陸軍省告示第三號

廣島縣安藝國豐田郡忠海町大久野島間ニ海底電信線一條ヲ敷設シ左圖線上ノ左右各三十間以內ヲ以テ該線路ト定ム

明治三十三年四月十五日

陸軍大臣 子爵桂 太郎



明治三十三年四月 告示 陸軍省第三號

二三三

○陸軍省告示第四號

明治二十七八年戰役中戰地ニ於テ疾病若クハ災害ニ罹リ又ハ出征事務ニ關シ死歿シタル左記乙號ノ人名特旨ヲ以テ戰死者同様に祀被 仰出候條來ル五月五日午後八時招魂式施行翌六日例大祭ノ際併セテ祭典施行ス

甲號

- 陸軍少尉 小栗 重敏 秋田縣士族
陸軍少尉 千乘 太夫馬 奈良縣士族
陸軍少尉 門脇 重敏 高知縣士族
陸軍少尉 岡本 實之助 大坂府平民
陸軍少尉 赤井 實藏 京都府平民
陸軍少尉 林 幸右衛門 山口縣平民
陸軍少尉 周作 新潟縣平民
陸軍少尉 櫻井 清作 宮城縣平民
陸軍少尉 木村 嘉一 山口縣平民
陸軍少尉 水田 四郎吉 東京府平民
陸軍少尉 大熊 勳八郎 三重縣平民
陸軍少尉 崎山 猪之助 三重縣平民
陸軍少尉 伊藤 菊松 高知縣平民
陸軍少尉 水澤 萬五郎 東京府平民
陸軍少尉 影山 平九郎 山口縣平民

乙號

- 陸軍大工兵二等卒 原澤 久太郎 群馬縣平民
陸軍大工兵二等卒 荏原 金三郎 東京府平民
陸軍大工兵二等卒 藤 千太郎 香川縣平民
陸軍大工兵二等卒 服部 虎松 三重縣平民
陸軍大工兵二等卒 早川 芳太郎 愛知縣平民
陸軍大工兵二等卒 飯田 松太郎 愛知縣平民
陸軍大工兵二等卒 森 彌吉 愛知縣平民
陸軍大工兵二等卒 安井 銀次郎 愛知縣平民
陸軍大工兵二等卒 舟橋 金松 愛知縣平民
陸軍大工兵二等卒 長谷川 作次郎 靜岡縣平民
陸軍大工兵二等卒 津田 捨吉 福井縣平民
陸軍大工兵二等卒 伊藤 喜之助 千葉縣平民
陸軍大工兵二等卒 越野 春太郎 東京府平民

- 陸軍一等軍吏 柳川 小五郎 佐賀縣士族
陸軍二等軍吏 藤本 新一 東京府士族
陸軍三等軍吏 江籠 正夫 京都府平民
陸軍少尉 藤田 武雄 愛媛縣平民
陸軍少尉 鈴木 米吉 德島縣平民
陸軍少尉 竹中 嘉造 京都府平民
陸軍少尉 古川 忠志 長崎縣平民
陸軍少尉 川崎 常吉 大阪府平民
陸軍少尉 大倉 與之進 三重縣平民
陸軍少尉 小川 鑄三 三重縣平民
陸軍少尉 山浦 長治郎 鳥取縣平民
陸軍少尉 吉田 鏡吉 東京府平民
陸軍少尉 妹尾 五藏 島根縣平民
陸軍少尉 友吉 新瀉縣平民
陸軍少尉 磯野 順吉 福岡縣平民
陸軍少尉 川中 亦吉 埼玉縣平民
陸軍少尉 安西 初太郎 福島縣士族
陸軍少尉 中山 六彌 福岡縣士族
陸軍少尉 宮崎 政吉 東京府平民
陸軍少尉 高木 飲太郎 東京府平民
陸軍少尉 鈴木 高木 東京府平民
陸軍少尉 鈴木 高木 東京府平民
陸軍少尉 鈴木 高木 東京府平民
陸軍少尉 鈴木 高木 東京府平民
陸軍少尉 鈴木 高木 東京府平民
陸軍少尉 鈴木 高木 東京府平民
陸軍少尉 鈴木 高木 東京府平民
陸軍少尉 鈴木 高木 東京府平民
陸軍少尉 鈴木 高木 東京府平民

○海軍省告示第九號

今般左記ノ場所ニ海岸望樓ヲ設置ス
但開始ノ時日等ハ追テ告示ス

明治三十二年四月五日

土佐國室戸崎

海軍大臣山本權兵衛

○海軍省告示第十號

明治三十二年召募ノ海軍機關學校生徒志願者學術試驗規格左ノ通定ム

明治三十二年四月十四日

海軍大臣山本權兵衛

一 海軍機關學校生徒志願者學術試驗科目

漢學	白文訓點(史類)	歷史	日本外國
作文	記事、論文、文書、文書	物理	物質性、熱、音、光、電氣、磁氣
英學	英文和譯、和文英譯、書取會	化學	無機
數學	算術、代數、平面幾何、平面三角	圖畫	幾何圖、自在畫
地理	日本並外國地理及地文	備考	試驗程度ハ中學全科卒業ノ學力ニ比準ス

二 官立道廳府縣立中學校ノ卒業證書及當該校長ノ學力善良品行端正ノ證明書ヲ有スル者若クハ
明治三十二年海軍省告示第九號ニ依リ海軍大臣ニ於テ官立道廳府縣立中學校ト同等以上ノ學
科程度ヲ具備スルモノト認定シタル公私立學校ノ卒業證書及當該校長若クハ校主ノ學力善良
品行端正ノ證明書ヲ有スル者ハ第一項記載ノ學術試驗科目ヲ試驗スルコトナク特別學科試驗
ノミヲ施行ス

特別學科試驗科目左ノ如シ

漢學	白文訓點(史類)	英學	英文和譯、和文英譯、書取會
作文	記事、論文、文書、文書	數學	算術、代數、平面幾何、平面三角

三 前項ノ校長若クハ校主ヨリ差出スヘキ學力品行證明書ハ卒業試驗成績表ヲ添ヘ當該校長若クハ校主ヨリ封印シテ直ニ海軍機關學校長ニ差出スヘシ其ノ書式左ノ如シ

道廳府縣華(士)族平民 氏 名

前右者何年何月入學何年何月卒業シタル者ニシテ在學中學力善良品行端正ニ付左記卒業試驗成績表相添ヘテ之ヲ證明ス

卒業試驗成績表 (同級生何人中ノ何番)

科目	倫 理		國 語		英 語		地 理		史 學		算 術		代 數		幾 何		物 理		化 學		博 物 學	
	全點	得點	全點	得點	全點	得點	全點	得點	全點	得點	全點	得點	全點	得點	全點	得點	全點	得點	全點	得點	全點	得點
年 月 日																						

何立某中學校長(何學校校長若クハ校主) 氏 名

○海軍省告示第十一號 海軍機關學校長氏名殿

佐世保鎮守府ニ於テ試驗ノ爲明治三十二年五月一日ヨリ六箇月間大村灣口向後崎附近ニ妨害物ヲ

明治三十二年四月 告示 海軍省第十一號

沈置スヘキニ付向後崎信號竿ノ北東微東之東約六百碼ノ距離ニ於テ海岸赤旗ヲ以テ示シタル百碼四方ニテ船舶ノ通航及漁業ヲ爲スヘカラス

明治三十二年四月二十五日

海軍大臣山本權兵衛

○海軍省告示第十二號
明治二十七八年戰役中戰地ニ於テ疾病若ハ災害ニ罹リ又ハ出征事務ニ關シ死歿シタル左記ノ人名今般特旨ヲ以テ靖國神社ヘ合祀被 仰出候條來ル五月五日午後八時招魂式施行翌六日例大祭ノ際併セテ祭典施行ス

明治三十二年四月二十八日

海軍大臣山本權兵衛

海軍大尉從七位勳六等功五級 山本 菊之進 山口縣士族
海軍大機關士從六位勳六等功五級 坂本 方吉 東京府平民
海軍少機關士正八位 中條 三郎 長野縣士族

海軍二等水兵 追 太郎 豐島縣平民
海軍三等水兵勳八等 佐々木 龍太郎 山口縣平民

○海軍省告示第十三號

海軍機關學校生徒六十名召募候ニ付出身志願ノ者ハ左ノ志願者心得ニ依リ本年十月十日限り同校長ニ出願スヘシ

左記ノ場所ニ檢査所ヲ設ケ東京ニ在テハ本年十一月六日ヨリ其ノ他ノ場所ニ在テハ十一月十日ヨリ開始ス

東京市 京都市 仙臺市 金澤市 廣島市 熊本市 松江市
明治三十二年四月二十九日 海軍大臣山本權兵衛

海軍機關學校生徒志願者心得

第一條 海軍機關學校生徒タランコトヲ志願スル者ハ本年十一月ニ於テ年滿十六年以上滿二十一年以下 明治十一年十二月ヨリ同ニシテ身體檢査及學術試驗ニ合格シタル者ヨリ其ノ成績順序ニ從ヒ所要ノ人員ヲ採用ス但シ試驗成績同點數ノ者アルトキハ年少者ヲ採用シ同年齡ナルトキ

ハ抽籤ニ依リ當籤者ヲ採用ス
第二條 左ノ諸項ノ一ニ該ル者ハ生徒ニ採用セズ

一 有妻ノ者

二 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者若ハ賭博犯ノ處分ヲ受ケタル者

三 復讐ヲ得サル家資分散者 破産者若ハ身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者若ハ其ノ相續人

第三條 生徒ハ入校ノ日ヨリ海軍兵籍ニ編入ス

第四條 生徒ニハ入校ノ日ヨリ手當金ヲ給シ被服其ノ他修學費用ニ充テシム

第五條 生徒ハ情願ヲ以テ退校スルコトヲ得ス

第六條 生徒ハ左ノ諸項ノ一ニ該ルトキハ退校セシム

一 機關官タルヘキ器量ニ乏キ者

二 品行不貞或ハ怠惰ニシテ訓戒ヲ加フルモ改悛セサル者

三 試驗ノ成績不良ニシテ卒業ノ見込ナキ者

四 傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ前途役務ニ堪ヘ難シト認ムル者

第七條 志願者ハ父兄親族其ノ他一家ヲ爲ス身元確實ナル者一名ヲ以テ保證人ト爲スヘシ

第八條 志願者ハ志願書第一號ニ誕辰證書第二號及履歷書第三號ヲ添ヘ地方長官 地ノ地方長官ノ

與書證印ヲ受ケ海軍機關學校長ニ差出スヘシ

第九條 志願者官立道廳府縣立中學校若ハ明治三十二年海軍省告示第三號ニ依リ海軍大臣ニ於テ

之ト同等以上ノ學科程度ヲ具備スルモノト認定シタル公私立學校ヲ卒業シタル者及身體檢査ノ

際マテニ卒業スヘキ者ナルトキハ志願書ヲ差出スト同時ニ當該校長若ハ校主ハ第四號書式ニ從

ヒ志願者ノ學力品行證明書ヲ祕封トシ直ニ海軍機關學校長ニ差出スヘシ

第十條 前條ノ志願者ヲ除ク他ノ志願者ニ在テハ志願書ヲ差出スト同時ニ教育ヲ擔任シタル學校ノ校長若ハ校主家庭教育ヲ受ケタハ第五號書式ニ從ヒ志願者ノ學力品行證明書ヲ祕封トシ直ニ海軍機關學校長ニ差出スヘシ

第十一條 志願者ハ前以テ地方醫師ノ身體検査ヲ受ケ置キ検査ニ出ルトキ身體検査證書第六號ヲ携帶スヘシ若シ之ヲ携帶セサルトキハ検査ヲ行ハス

第十二條 身體検査ニ合格セサルモノニハ學術試驗ヲ行ハス

第十三條 疾病、畸形其ノ他身長、體重、胸圍等ノ不足ニ依リ身體検査ニ適合セサル者ハ大略左ノ如シ

- 一 肺癆、咯血、腺病、癩、梅毒、癩病等ノ素質アル者
- 二 發作性ノ疾病アル者
 - 癲癇、胃滯、喘息、眩暈、心悸亢進、癡癲質斯性疼痛、偏頭痛等
- 三 狹窄症(鼻竇、食道、尿道、肛門等ノ狹小トナリタル症)アル者
- 四 內痔症(通利ノ際肛内ヨリ出血シ或ハ痔核ノ脱出スル症)アル者
- 五 宿痾舊創ニ由リ患フル所アル者
- 六 自己識得ノ疾患アル者
- 七 身長五尺一寸ニ達セサル者
- 八 體重十二貫ニ達セサル者
- 九 胸圍二尺五寸三分ニ達セサル者
- 十 胸廓擴張一寸八分ニ達セサル者
 - 但十七年以下ニシテ身長、體重、胸圍等些少ノ不足アルモ無病健全ニシテ發育ノ見込アル者ハ検査ノ上採用スルコトアルヘシ胸圍ハ尺度ヲ横乳線ト平行ニ圍繞シ呼吸ノ中間ヲ取リ測定ス

- 十一 發育 身長、體重、胸圍等ニ不足ナキモ其ノ他ノ發育不全ニシテ身體薄弱ノ者或ハ年齢不相應ニ身長ノミ發育シ身長ニ比スレハ體重輕ク頸長ク胸廓扁平癆瘵質ノ徵アル者其ノ他脂肪過多、癩瘦著シキ者
- 十二 皮膚 慢性皮膚病、腋臭、知覺麻痺、知覺過敏、内部ノ疾患ニ因テ施ス所ノ著シキ發泡打膿ノ痕跡、頭部面部ニ巨大ノ瘰癧形ヲ呈スル者其ノ他各部ノ瘰癧巨大ナラサルモ骨ニ密著シテ動搖セサル者、癩風、母斑面部ニアリテ著シク醜形ヲ呈スル者
- 十三 眼目 眼瞼ノ畸形、眼瞼下垂、險裡粗糙、睫毛亂生、淚管痙攣、斜視、角膜及虹彩諸病、視力二十尺ノ距離ニ於テ一般ニ人ノ視定スヘキ小體ヲ明視シ得サル者及識色ハ赤綠紫等ノ色ヲ識別スルコト能ハサル者
- 十四 耳 内、外聽道ノ疾病殊ニ鼓膜穿孔、耳漏、片耳若ハ兩耳耳聾或ハ低聲ヲ聽取シ難キ者
- 十五 鼻 鼻ノ畸形、鼻骨鼻軟骨ノ疾病、鼻茸、鼻竇狹窄或ハ閉塞アル者
- 十六 口咽 舌唇、齒齦、口蓋或ハ扁桃腺ノ著シキ疾病、畸形、齒牙不足若ハ不良ニシテ機能ニ障礙アル者
- 十七 手足 四肢ノ著シキ不同、内彎、外彎、扁平足或ハ筋力ノ薄弱、指趾ノ缺損或ハ畸形、下肢靜脈ノ著シク怒張スル者
- 十八 胸腹 胸腹ノ畸形、心悸亢進(著シキモノ)心肺ノ疾患、呼吸短促、慢性咳嗽、聲音嘶啞、肋膜炎、後ノ障害、腹部腫脹、腸胃腸輪ノ薄弱或ハ膨脹、内臟ノ諸疾患アル者
- 十九 脊梁 頸背、腰椎及骨盤ノ諸疾患アル者
- 二十 會陰 内痔、外痔(著シキモノ)痔瘻、コンヂロマタ、肛門瘻裂、脱肛等アル者

二十一 生殖器 舉凡諸病、著シキ精系靜脈怒張、片舉若ハ兩鬚ノ下降セサル者、痲疾、尿道狹窄、下疳、真包莖、小便失禁、尿道瘻等アル者

二十二 精神及言語 精神異狀、言語障礙或ハ啞吃等アル者

第十四條 學術試驗規格ハ左ノ如シ

漢學	白文訓點(史類)
作文	記事、論文、文片、姓名
英學	英文和譯、和文英譯、書取、會話、文法
數學	算術、代數、平面幾何、平面三角
地理	日本、校外國地理及地文
歷史	日本、外國
物理	物質性、熱、音、光、電氣、磁氣
化學	無機
圖畫	幾何圖、自在畫
備考	試驗程度ハ中學全科卒業ノ學力ニ比準ス

官立道廳府縣立中學校ノ卒業證書及當該校長ノ學力善良品行端正ノ證明書ヲ有スル者若ハ明治三十二年海軍省告示第三號ニ依リ海軍大臣ニ於テ官立道廳府縣立中學校ト同等以上ノ學科程度ヲ具備スルモノト認定シタル公私立學校ノ卒業證書及當該校長若ハ校主ノ學力善良品行端正ノ證明書ヲ有スル者ハ第一項記載ノ學術試驗科目ヲ試驗スルコトナク特別學科試驗ノミヲ施行ス共ノ科目ハ左ノ如シ

漢學	白文訓點(史類)
作文	記事、論文、文片、姓名
英學	英文和譯、和文英譯、書取、會話、文法
數學	算術、代數、平面幾何、平面三角

- 第十五條 學術試驗ニ於テ受験者ノ心得ヘキ簡條ハ左ノ如シ
- 一 試驗當日指定シタル時間マテニ試驗場ニ出頭セサル者ハ試驗ヲ受クルコトヲ得ス
 - 二 書類ハ一切携帯スルヲ禁ス但シ要用ノ筆、墨、硯、小刀、圖引具ハ之ヲ持參スルモノトス
 - 三 問題ハ會話ヲ除ク外總テ筆答トス
 - 四 問題ノ文意等ハ一切質問スルヲ禁ス
 - 五 答紙ニ塗抹多ク字畫等明瞭ナラス又數學ニ於テ運算解式ナク答ノミヲ記スルモノハ總テ無効トス
 - 六 答紙ハ必ス時限内ニ出スモノトス時限過クルノ後ニ出ストキハ之ヲ無効トス
 - 七 答紙ヲ出スマテ自席ヲ離ル、コトヲ許サス
 - 八 検査場ニ於テハ一切他人ト言語ヲ交フルヲ禁ス
- 第十六條 志願者ハ身體検査ノ際新ニ撮影 著帽ヲセル紙寫眞 裏面ニ族籍氏名一葉ヲ携帯シ試驗委員ニ差出スヘシ
- 第十七條 官立道廳府縣立中學校若ハ海軍大臣ニ於テ之ト同等以上ノ學科程度ヲ具備スルモノト認定シタル公私立學校ヲ卒業シタル志願者ニ在テハ學術試驗ノ際卒業證書ヲ携帯シ試驗委員ニ差出スヘシ
- 第十八條 志願者ハ洋服又ハ袴ヲ着用スヘシ

第十九條 志願者何等ノ事故アリト雖之カ爲メ時日ヲ延ハシ検査ヲ行フコトナシ
 第二十條 志願者検査地ヘノ往復立ニ滞在費等ハ一切自辨タルヘシ
 第二十一條 生徒ヲ命スルト否トハ本人願書ニ與書シタル府縣廳ヲ經テ保證人ニ達ス
 第二十二條 生徒ヲ命ズヘキ者ニハ本人現住地ヨリ機關學校マテノ里程ニ應シ相當ノ旅費ヲ給ス
 第一號書式 用紙美濃紙ニツ折一通
 海軍機關學校生徒願

海軍出身志願ニ付御検査ノ上機關學校生徒ニ御採用被下度御許可入校ノ上ハ御規則嚴重ニ相守可申ハ勿論拙者身上ノ儀ハ何事
 ニ限ラス身元保證人ニテ引受可申候依テ保證人連署此段奉願候也
 但東京(京都)(仙臺)(金澤)(廣島)(熊本)(松江)ニ於テ御検査相成度此段申添候也
 「事故アリテ受檢地ノ變換ヲ望ムトキハ其ノ旨機關學校長ニ届出ヘシ」
 年 月 日

某 儀
 月主(離子弟)
 氏 名印
 明治何年何月
 何年何箇月

保證人
 何府(縣)華(士)族平民
 何國何郡市(區)何町(村)何番地
 氏 名印

保證人
 何府(縣)華(士)族平民
 何國何郡市(區)何町(村)何番地
 氏 名印

海軍機關學校長氏名殿

前番相違無之候也

年 月 日

第二號書式 用紙美濃紙ニツ折一通

誕生證書

何府(縣)華(士)族平民

氏 名

誕生 何府(縣)何國何郡市(區)何町(村)ニ於テ何年何月何日生

年 月 日

保證人

氏 名印

保證人

氏 名印

前番保證候也

年 月 日

第三號書式 用紙美濃紙ニツ折一通

履歷書

何府(縣)華(士)族平民
 戸主或ハ何某男又ハ兄弟伯叔甥附籍

氏 名

一住所(國郡市區町村併地ヲ詳記シ寄留ノ者ハ寄留地ノ住所ヲモ詳記スヘシ)
 但履歷書進送ノ後現住地ヲ變更シタルトキハ新市區町村長ノ與書證明ヲ受ケ其ノ旨海軍機關學校長ニ届出ヘシ

- 一 生長ノ地名(同上)
 - 一 四父母姓名(養子ハ養實共ニ之ヲ記ス。亡ナルハ亡ト記シ父兄位勳アレハ存亡共ニ之ヲ記スヘシ)
 - 一 教育ヲ受ケタル學科年月校塾師名等
 - 一 職業技藝等
 - 一 官廳會社等ノ職務ニ從事シタル事
 - 一 海軍諸學校へ入校ノ有無
 - 一 賞罰
- 右之通相違無之候也
- 年 月 日

第四號書式 用紙美濃紙ニツ折一通
學力品行證明書

右者何年何月入學何年何月卒業シタル者ニシテ在學中學力善良品品行端正ニ付左記卒業試驗成績表相添へ之ヲ證明ス
卒業試驗成績表 (同級生何人中ノ何番)

得點	全點	科目		英 語	學 學	地 理	史 學	數 學	代 數	幾 何	三 角	物 理	化 學	圖 畫
		倫 理	國 文											

保 證 人 氏 名 印
保 證 人 氏 名 印

何府(縣)華(士)族平民 氏 名

年 月 日

第五號書式 用紙美濃紙ニツ折一通
海軍機關學校校長氏名殿
學力品行證明書

何立某中學校長(何學校校長者ハ校主) 氏 名 印

- 一 在學年月
 - 一 教授科目及其ノ程度
 - 一 各科試驗成績
 - 一 修學進歩上ノ意見
 - 一 品行
- 右證明候也
- 年 月 日

何府(縣)華(士)族平民 氏 名

何府(縣)何都市(區)何町(村)何番地 何學校校長(校主) 氏 名 印

第六號書式 用紙美濃紙ニツ折一通
海軍機關學校校長氏名殿
身體検査証

右詳細検査候處其ノ體格海軍機關學校生徒志願者心得第十三條ニ抵觸セサル者ト思考候也

何府(縣)華(士)族平民 氏 名

年月日

何府(縣)何郡市(區)何町(村)何番地
検査官 氏 名印

○司法省告示第十三號

島根縣石見國安濃郡長久村戸籍役場本年二月十六日火災ニ罹リ戸籍簿、身分登記簿、登記目録、後見人名簿其他役場ニ保存シタル書類焼失シタルニ付キ左ノ各號ニ該當スルモノハ本年七月十日マテニ更ニ同村戸籍吏ニ届出若クハ申請ヲ爲シ、身分ニ關スル證書ノ謄本ヲ差出シ又ハ報告、請求、送付等ヲ爲スヘシ

但届出若クハ申請ヲ爲シ又ハ身分ニ關スル證書ノ謄本ヲ差出スニ付キ詳細ノ手續ハ同村戸籍役場又ハ監督區裁判所ニ就キ承合スヘシ

第一 明治三十一年七月十六日ヨリ同三十二年二月十六日マテノ間ニ於テ同村戸籍吏ニ戸籍ニ關スル届出ヲ爲シタル者

第二 明治三十一年七月十六日ヨリ同三十二年二月十六日マテノ間ニ於テ同村戸籍吏ニ戸籍ニ關スル届書ノ謄本ヲ送付シタル者

第三 明治三十二年二月一日ヨリ同月十六日マテノ間ニ於テ同村戸籍吏ニ身分ニ關スル届書若クハ申請ヲ爲シ又ハ身分ニ關スル證書ノ謄本ヲ差出シタル者

第四 明治三十二年二月一日ヨリ同月十六日マテノ間ニ於テ同村戸籍吏ニ身分ニ關スル届書申請書ノ正本若クハ謄本ヲ送付シ、身分ニ關スル報告ヲ爲シ又ハ身分ニ關スル證書ノ謄本、身分ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ送付シタル者

第五 明治三十二年二月一日ヨリ同月十六日マテノ間ニ於テ同村戸籍吏ニ身分登記取消ノ請求ヲ爲シタル者

第六 明治二十年一月一日ヨリ同三十一年七月十五日マテノ間ニ於テ同村役場ニ後見人ニ關スル届出ヲ爲シタル者

前各號中第二號ノ戸籍ニ關スル届書ノ謄本及ヒ第四號ノ身分ニ關スル届書、申請書ノ正本又ハ謄本ハ監督區裁判所又ハ戸籍役場ニ保存セルモノニ就キ之ヲ謄寫シテ送付スヘシ第六號ノ届書ハ戸籍法施行前ノ後見人ニ關スル届出ノ例ニ依リ差出スヘシ

明治三十二年四月十四日

司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第十四號

島根縣石見國安濃郡長久村役場本年二月十六日火災ニ罹リ出入寄留簿焼失シタルニ付キ現ニ同村ニ寄留スル者又ハ同村ヨリ他へ出寄留中ノ者ハ本年七月十日マテニ明治十九年内務省令第十九號中寄留者届出方ニ關スル規定ニ依リ其出入寄留ヲ更ニ同村長ニ届出ツヘシ

明治三十二年四月十四日

司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第十五號

茨城縣常陸國行方郡秋津村戸籍役場本年二月九日火災ニ罹リ戸籍簿、身分登記簿、登記目録、後見人名簿其他役場ニ保存シタル書類焼失シタルニ付キ明治二十年一月一日ヨリ同三十一年七月十五日マテノ間ニ於テ同村役場ニ後見人ニ關スル届出ヲ爲シタル者ハ本年七月十五日マテニ戸籍法施行前ノ後見人ニ關スル届出ノ例ニ依リ更ニ其届出ヲ爲スヘシ

明治三十二年四月十四日

司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第十六號

茨城縣常陸國行方郡秋津村役場本年二月九日火災ニ罹リ出入寄留簿焼失シタルニ付キ現ニ同村ニ寄留スル者又ハ同村ヨリ他へ出寄留中ノ者ハ本年七月十五日マテニ明治十九年内務省令第十九號

中寄留者届出方ニ關スル規定ニ依リ其出入寄留ヲ更ニ同村長ニ届出ツヘ

○司法省告示第十七號 明治三十二年四月十四日

司法大臣清浦奎吾

福島地方裁判所管内田島區裁判所ノ定期裁判本年第一期ニ限リ來五月一日ヨリ開廷ス

○司法省告示第十八號 明治三十二年四月十五日

司法大臣清浦奎吾

長崎地方裁判所管内武生水區裁判所ノ裁判事務ハ同平戸區裁判所ニ於テ佐賀地方裁判所管内伊萬

里區裁判所ノ裁判事務ハ同武雄區裁判所ニ於テ福岡地方裁判所管内福岡區區裁判所ノ裁判事務ハ同久留米區裁判所ニ於テ同甘木區裁判所ノ裁判事務ハ同福岡區裁判所ニ於テ大分地方裁判所管内白杵區裁判所ノ裁判事務ハ同大分區裁判所ニ於テ熊本地方裁判所管内高瀬區裁判所ノ裁判事務ハ同熊本區裁判所ニ於テ鹿兒島地方裁判所管内知覽區裁判所ノ裁判事務ハ同鹿兒島區裁判所ニ於テ裁判所構成法第十三條ニ依リ之レヲ取扱フ

○司法省告示第十九號 明治三十二年四月十五日

司法大臣清浦奎吾

東京地方裁判所管内新島、八丈島、父島ノ三區裁判所本年六月十六日ヨリ開應ス

○司法省告示第二十號 明治三十二年四月二十日

司法大臣清浦奎吾

東京地方裁判所管内東京區裁判所大島出張所同新島區裁判所神津島、三宅島ノ兩出張所同父島區裁判所母島出張所本年六月十六日ヨリ開應ス

○司法省告示第二十一號 明治三十二年四月二十日

司法大臣清浦奎吾

東京地方裁判所管内八丈島區裁判所青ヶ島出張所ニ屬スル登記事務ハ其開應迄ハ八丈島區裁判所ニ於テ之レヲ取扱フ

○司法省告示第十七號 明治三十二年四月二十日

司法大臣清浦奎吾

右ハ明治二十二年法律第一號徵兵令第十三條ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ム

○文部省告示第十八號 明治三十二年四月一日

兵庫縣立兵庫縣農學校

右ハ明治二十六年勅令第百八十三號文官任用令第二條第三ニ依リ官立公立中學校ト同等以上ノモノト認ム

○文部省告示第十九號 明治三十二年四月一日

同 蠶業學校本科

右ハ明治二十二年法律第一號徵兵令第十三條ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ム

○文部省告示第二十號 明治三十二年四月一日

兵庫縣立兵庫縣農學校

右ハ明治二十二年法律第一號徵兵令第十三條ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ム

○文部省告示第二十一號 明治三十二年四月一日

同 蠶業學校本科

右ハ明治二十二年法律第一號徵兵令第十三條ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ム

○文部省告示第二十二號 明治三十二年四月一日

福井縣立福井縣農學校本科

右ハ明治二十二年法律第一號徵兵令第十三條ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ム

○文部省告示第二十三號 明治三十二年四月一日

福井縣立福井縣農學校本科

右ハ明治二十六年勅令第八十三號文官任用令第二條第三ニ依リ官立公立中學校ト同等以上ノモノト認ム

○文部省告示第二十一號
明治三十三年四月一日

文部大臣伯耆樺山資紀

右ハ明治二十二年法律第一號徵兵令第十三條ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ム

○文部省告示第二十二號
明治三十三年四月一日

文部大臣伯耆樺山資紀

右ハ明治二十六年勅令第八十三號文官任用令第二條第三ニ依リ官立公立中學校ト同等以上ノモノト認ム

明治三十三年四月一日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第二十三號

德島縣美馬郡脇町ニ設置ノ德島縣中學校第一分校ヲ德島縣脇町中學校同縣那賀郡富岡村ニ設置ノ德島縣中學校第二分校ヲ德島縣富岡中學校トシ本月ヨリ開校ノ件及德島縣中學校ヲ本月ヨリ德島縣德島中學校ト改稱ノ件認可セリ

明治三十三年四月一日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第二十四號

千葉縣中學校ヲ本月ヨリ千葉縣千葉中學校ト改稱ノ件認可セリ

明治三十三年四月一日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第二十五號

愛媛縣新居郡西條町ニ設置ノ愛媛縣中學校東洋分校ヲ愛媛縣西條中學校同縣北宇和郡丸穂村ニ設置ノ同縣中學校南豫分校ヲ愛媛縣宇和島中學校トシ本月ヨリ開校ノ件及愛媛縣中學校ヲ本月ヨリ愛媛縣松山中學校ト改稱ノ件認可セリ

明治三十三年四月一日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第二十六號

奈良縣高市郡今井町ニ設置ノ奈良縣中學校畷傍分校ヲ奈良縣畷傍中學校トシ本月ヨリ開校ノ件及奈良縣中學校ヲ奈良縣郡山中學校ト奈良縣中學校五條分校ヲ奈良縣郡山中學校五條分校ト何レモ本月ヨリ改稱ノ件認可セリ

明治三十三年四月一日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第二十七號

鳥取縣中學校ヲ本月ヨリ鳥取縣第一中學校ト改稱ノ件認可セリ

明治三十三年四月一日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第二十八號

實業學校教員養成規程第四條ニ依リ明治三十三年年度農業教員養成所ニ於テ學資ヲ補給スヘキ學生生徒及募集スヘキ生徒ノ員數左ノ通相定ム

明治三十三年四月五日

文部大臣伯耆樺山資紀

一東京帝國大學農科大學學生及生徒
一養成所ニ募集スヘキ生徒

七名
三十名

○文部省告示第二十九號

茨城縣下鹿島郡鉾田町ニ警報信號標ヲ設立シ本年四月二十日ヨリ實施シタキ旨鹿島郡農會長ヨリ願出タルニ付同縣知事ニ於テ之ヲ許可セリ

明治三十三年四月六日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第三十號

新潟縣師範學校ヲ新潟縣第一師範學校ト改稱シ新潟縣第二師範學校ヲ同縣頸城郡高城村ニ設置シ四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十三年四月七日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第三十一號

愛知縣師範學校ヲ愛知縣第一師範學校ト改稱シ愛知縣第二師範學校ヲ同縣額田郡岡崎町ニ設置シ四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治三十三年四月七日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第三十二號

本年文部省告示第八號ヲ以テ秋田縣下由利郡本庄町ニ建設ノ警報信號標柱破損セシニ付修繕出來迄信號標ノ揚卸ヲ中止スル旨告示セシ處今般修繕出來セリ

明治三十三年四月八日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第三十三號

京都府中學校分校ヲ京都府紀伊郡上鳥羽村ニ設置シ明治三十三年三月迄京都市新町假教室ニ於テ開校ノ件認可セリ

明治三十三年四月八日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第三十四號

右ハ明治二十二年法律第一號徵兵令第十三條ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ム

明治三十三年四月八日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第三十五號

宮崎縣ニ於テ宮崎縣高等女學校ヲ群馬縣ニ於テ群馬縣高等女學校ヲ本年四月ヨリ設置ノ件認可セリ

明治三十三年四月十一日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第三十六號

岐阜縣ニ於テ大野郡高山町大字空町字古城跡山上ニ警報信號標ヲ設立シ本年五月一日ヨリ實施ス

明治三十三年四月十三日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第三十七號

栃木縣中學校ヲ本月ヨリ栃木縣第一中學校ト改稱ノ件認可セリ

明治三十三年四月十三日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第三十八號

和歌山縣管下東牟婁郡新宮町ニ建設ノ警報信號標柱曾テ同町火災ノ際類焼セシ處今般再築出來セリ

明治三十三年四月十三日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第三十九號

右ハ明治二十二年法律第一號徵兵令第十三條ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ム

明治三十三年四月十三日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第四十號

右ハ明治三十三年勅令第六十一號文官任用令第三條第三ニ依リ官立公立中學校ト同等以上ノモノト認ム

明治三十三年四月十三日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第四十一號

長崎縣中學校ヲ本月ヨリ長崎縣長崎中學校ト改稱ノ件認可セリ

明治三十三年四月 告示

文部大臣伯耆樺山資紀

明治三十二年四月十三日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第四十二號
德島縣德島市德島町舊城山上ニ建設ノ警報信號標柱修繕ニ付本年四月一日ヨリ同二十日迄信號標ノ揚卸ヲ中止ス

文部大臣伯耆樺山資紀

明治三十二年四月十三日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第四十三號
京都府中學校ヲ京都第一中學校ト改稱ノ件認可セリ

明治三十二年四月十七日

文部大臣伯耆樺山資紀

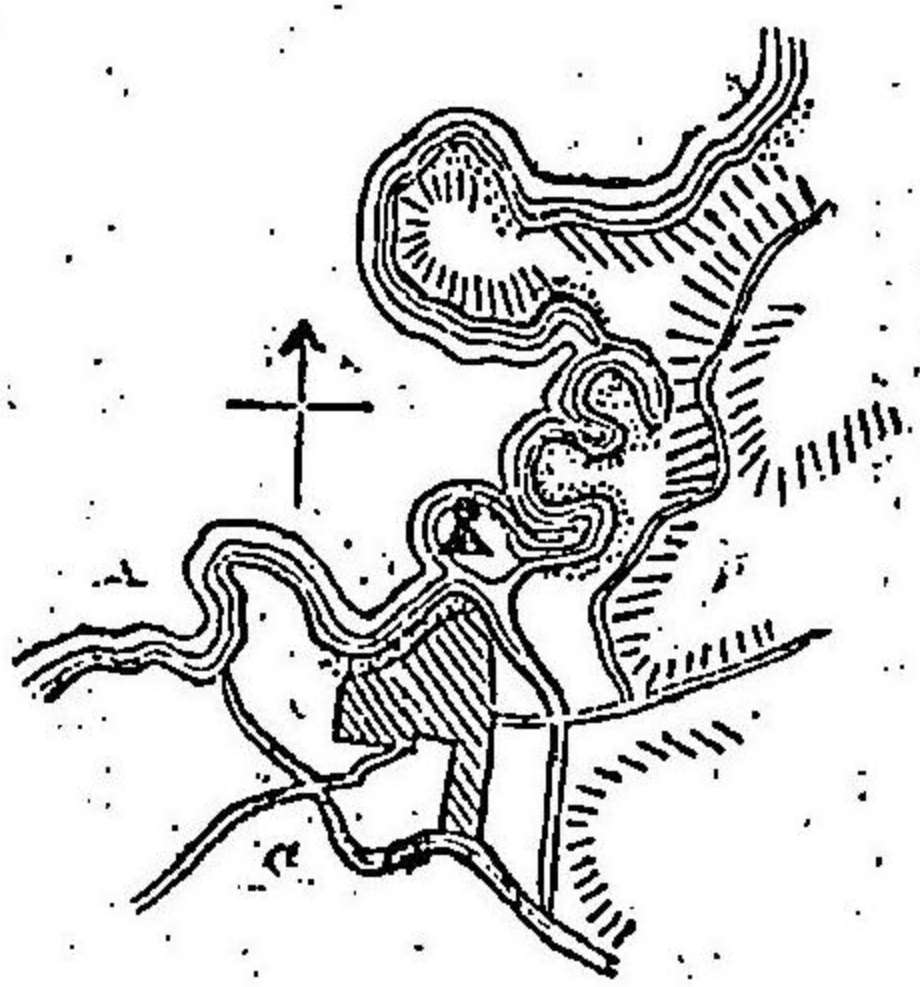
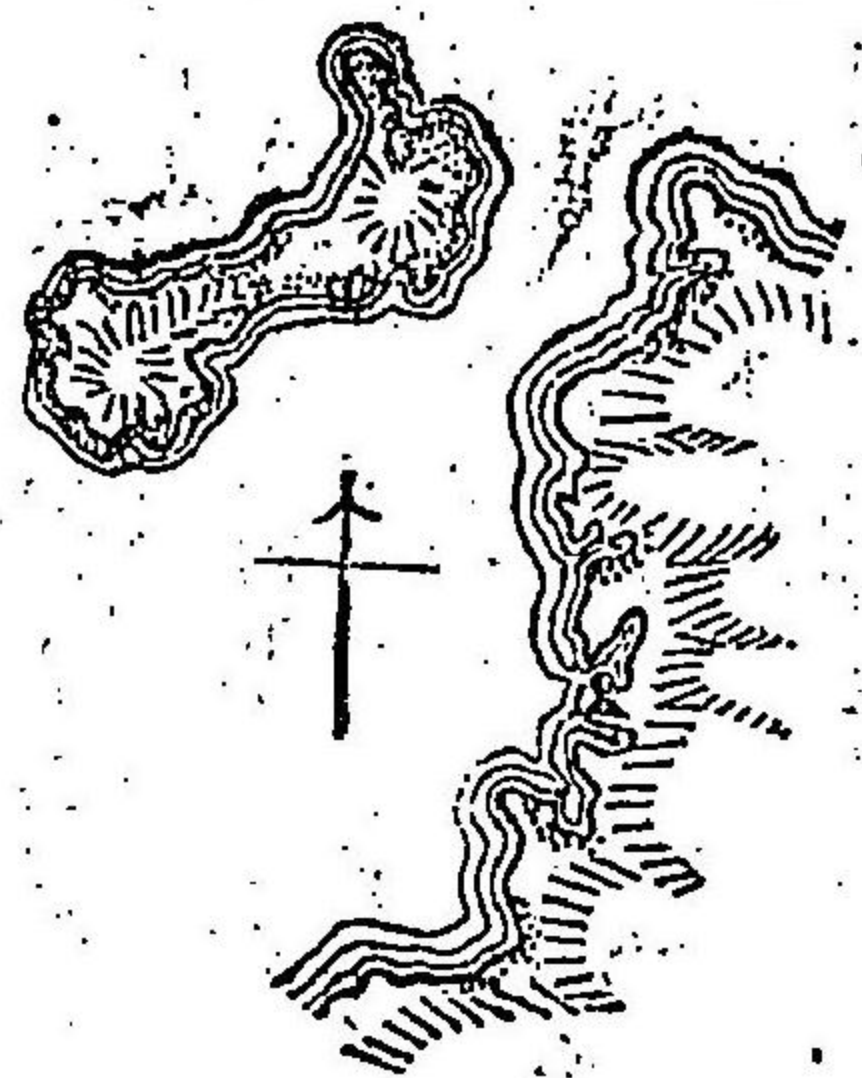
○文部省告示第四十四號
山口縣ニ於テ長門國豐浦郡神田下村特牛港及同國阿武郡椿郷東分村鶴江臺即チ左ノ圖中ニ警報信號標ヲ設立シ本年五月一日ヨリ實施ス

明治三十二年四月二十日

文部大臣伯耆樺山資紀

山口縣長門國豐浦郡神田下村特牛港

山口縣長門國阿武郡椿郷東分村鶴江臺



○文部省告示第四十五號
高知縣師範學校ヲ同縣土佐郡小高坂村ニ德島縣師範學校ヲ同縣德島市大字常三島村ニ移轉セリ

明治三十二年四月二十日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第四十六號
宮城縣仙臺市職工學校ヲ本月ヨリ仙臺市工業學校ト改稱ノ件認可セリ

明治三十二年四月二十日

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第四十七號

秋田縣立秋田縣農學校本科

右ハ明治二十二年法律第一號徵兵令第十三條ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ム

文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第四十八號

秋田縣立秋田縣農學校本科

右ハ明治三十二年勅令第六十一號文官任用令第三條第三ニ依リ官立公立中學校ト同等以上ノモノト認ム

文部大臣伯耆樺山資紀

明治三十二年四月二十日

群馬縣佐波郡伊勢崎織物同業組合立伊勢崎染織學校本科

○文部省告示第四十九號

文部大臣伯耆樺山資紀

右ハ明治二十二年法律第一號徵兵令第十三條ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ム

○文部省告示第五十號
山口縣中學校ヲ本月ヨリ山口縣山口中學校ト改稱ノ件認可セリ

明治三十二年四月 告示 文部省第四十五號 第四十六號 第四十七號 第四十八號 第四十九號 第五十號 二四九

明治三十二年四月二十一日

○文部省告示第五十一號

山口縣農學校ヲ本月ヨリ山口縣農業學校ト改稱ノ件認可セリ

明治三十二年四月二十一日

○文部省告示第五十二號

福岡縣久留米中學明善校ヲ本月ヨリ福岡縣中學明善校ト改稱ノ件認可セリ

明治三十二年四月二十二日

○文部省告示第五十三號

和歌山縣ニ於テ東牟婁郡太地村即チ左ノ圖中ニ警報信號標ヲ設立シ本年五月一日ヨリ實施ス

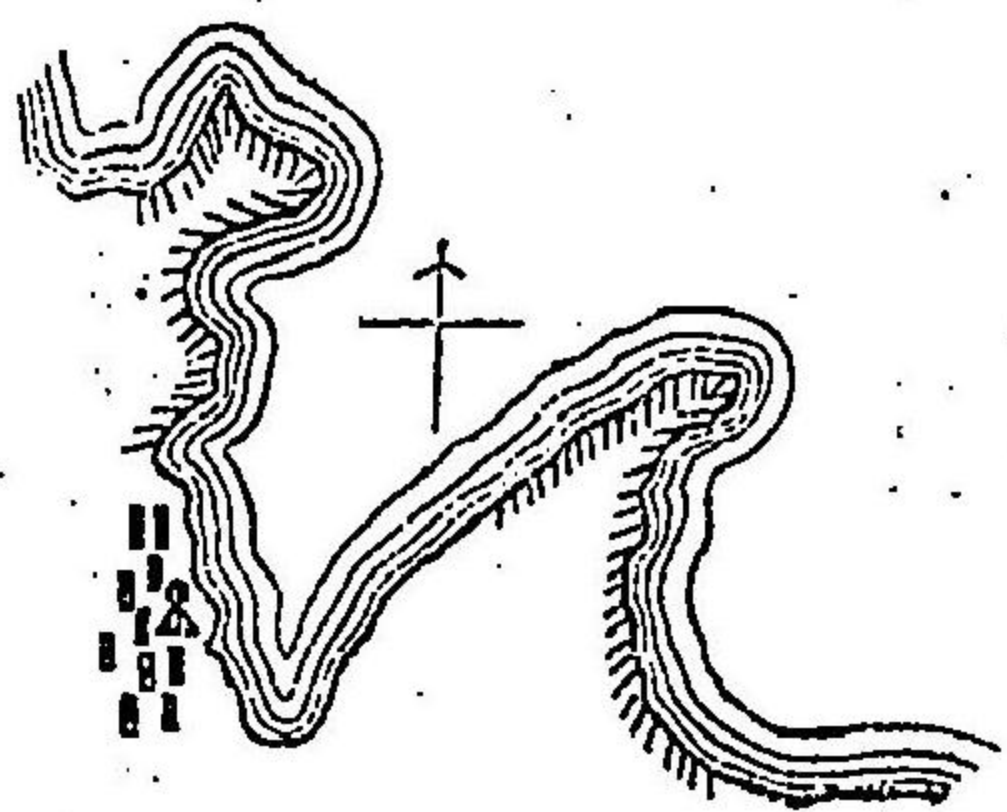
明治三十二年四月二十七日

文部大臣伯耆樺山資紀

文部大臣伯耆樺山資紀

文部大臣伯耆樺山資紀

文部大臣伯耆樺山資紀



○文部省告示第五十四號

靜岡縣磐田郡見付町外四十箇町村學校組合立中遠簡易農學校ノ組織ヲ本月ヨリ變更シテ甲種農業學校ト爲シ靜岡縣中遠農學校ト改稱ノ件認可セリ

明治三十二年四月二十八日

○文部省告示第五十五號

靜岡縣磐田郡見付町外四十箇町村學校組合立靜岡縣中遠農學校本科

明治三十二年四月二十八日

○文部省告示第五十六號

右ハ徵兵令第十三條及文官任用令第三條第三ニ依リ認定ス

明治三十二年四月二十九日

○文部省告示第五十七號

本年文部省告示第四十四號ヲ以テ山口縣ニ於テ長門國豐浦郡神田下村特牛港ニ警報信號標ヲ設立シ本年五月一日ヨリ實施スル旨告示セシ處右ハ一月延期シ六月一日ヨリ實施ス

明治三十二年四月二十九日

○文部省告示第五十八號

本年九月十一日ヨリ第三高等學校ニ於テ大學豫科第三部ノ授業ヲ開始ス

明治三十二年四月二十九日

○文部省告示第五十九號

本年九月十一日ヨリ第三高等學校ニ於テ大學豫科第三部ノ授業ヲ開始ス

明治三十二年四月二十九日

○文部省告示第六十號

本年九月十一日ヨリ第三高等學校ニ於テ大學豫科第三部ノ授業ヲ開始ス

明治三十二年四月二十九日

○文部省告示第六十一號

本年九月十一日ヨリ第三高等學校ニ於テ大學豫科第三部ノ授業ヲ開始ス

明治三十二年四月二十九日

○文部省告示第六十二號

本年九月十一日ヨリ第三高等學校ニ於テ大學豫科第三部ノ授業ヲ開始ス

明治三十二年四月二十九日

○文部省告示第六十三號

本年九月十一日ヨリ第三高等學校ニ於テ大學豫科第三部ノ授業ヲ開始ス

明治三十二年四月二十九日

○文部省告示第六十四號

本年九月十一日ヨリ第三高等學校ニ於テ大學豫科第三部ノ授業ヲ開始ス

明治三十二年四月二十九日

○文部省告示第六十五號

本年九月十一日ヨリ第三高等學校ニ於テ大學豫科第三部ノ授業ヲ開始ス

明治三十二年四月二十九日

○農商務省告示第二十五號
森林法第十六條ニ據リ左ノ通保安林ヲ解除ス

明治三十二年四月一日

農商務大臣曾禰荒助

長崎縣北松浦郡平戸村字八幡馬場
國有保安林段別四段六畝十八歩ノ内
一段別二畝十歩

○農商務省告示第二十六號
森林法第十六條ニ據リ左ノ通保安林ヲ解除ス

明治三十二年四月一日

農商務大臣曾禰荒助

日向國西諸縣郡高原村大字浦牟田字狹野
國有保安林
一段別六町九畝三歩

○農商務省告示第二十七號
香港ニ於テ牛疫發生セシニ付同港ヨリ又ハ同港ヲ經テ牛羊及其皮骨類ヲ輸入スル船舶ニ對シ明治
二十九年法律第六十號獸疫豫防法第十五條ニ依リ明治三十二年四月四日ヨリ左ノ三港ニ於テ検査
ヲ實施ス

明治三十二年四月四日
神奈川縣下 横濱 兵庫縣下 神戸 長崎縣下 長崎
○農商務省告示第二十八號
宮崎縣日向國宮崎郡北諸縣郡東諸縣郡南那珂郡及鹿兒島縣大隅國嚙啖郡ハ明治三十二年四月五
日迄ニ鑛業ヲ許可シタル區域及同日迄ニ鑛業ヲ出願シタル區域ヲ除キ明治三十二年四月六日ヨリ

農商務大臣曾禰荒助

製鐵所所屬石炭鑛探鑛區域トス但明治三十二年四月五日迄ニ與ヘタル鑛業ノ許可ヲ消滅シタルト
キ及同日迄ニ提出シタル鑛業ノ出願又ハ其許可ヲ消滅シタルトキハ其區域ハ直ニ探鑛區域ニ屬ス
ルモノトス

明治三十二年四月六日

農商務大臣曾禰荒助

○農商務省告示第二十九號
森林法第十六條ニ據リ左記ノ通保安林ニ編入ス

明治三十二年四月十八日

農商務大臣曾禰荒助

日向國東臼杵郡富高村大字日知屋字幡浦五千五百五十二番

東臼杵郡富高村大字日知屋總代

原野段別百町歩ノ内

所有者 坂本 助五郎

一段別五十六町四段二畝十六歩

同郡伊形村大字赤水 日高 榮三郎

一段別二千五百五十三番原野

同 同郡富高村大字日知屋 三輪 實藏

一段別二町一段一畝七歩

同上 同 黒木 廣吉

一段別五段二十七歩

同上 同 黒木 廣吉

一段別二段四畝二十歩

同上 同 江川 庄七

一段別五千五百四番山林

同郡富高村 同 黒木 儀助

一段別六段一畝歩

同上 同 同上 八

一段別五千五百五番山林

同上 同 同上 八

一段別四段八畝十八歩

同上 同 同上 八

一段別一段六畝五歩

同上 同 同上 八

一段別五千五百八番山林

同上 同 同上 八

一段別二段八畝二十步
同上細島町字細島ヶ崎千二十三番山林
一段別一町二段一畝二十四步
同上千二十九番山林
一段別二段一畝十四步
同上千三十四番原野
一段別四段五畝七步

同 同
同郡細島町 同
同上 同
同上 同
同上 同
同上 同

○農商務省告示第三十號
森林法第十六條ニ依リ左記ノ通保安林ニ編入ス

明治三十二年四月二十日

農商務大臣曾禰荒助

羽前國東田川郡立谷澤村大字立谷澤
字本澤赤澤、東山國有林ノ内
一段別二千九百十七町八段步
同國同郡大泉村大字大鳥
字深谷現、枿形檜原國有林ノ内
一段別二万二千八百三十七町四段三畝十步
羽後國飽海郡觀音寺村大字常禪寺字澤ノ内國有林ノ内
一段別二十四町七段一畝二十步

○農商務省告示第三十一號
明治三十年法律第十二號種牡馬検査法第九條ニ因リ當分ノ内左ノ島嶼ニ限リ同法ヲ施行セス

明治三十二年四月二十日

農商務大臣曾禰荒助

同縣熊毛郡ノ内屋久島並口永良部島

○農商務省告示第三十二號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ通保安林ヲ解除ス

明治三十二年四月二十一日

農商務大臣曾禰荒助

相模國中郡國府村國府本郷字祇園塚九三五六番九三五番ニ號九三三五番ハ號ノ二九三五番ハ號ノ二保安林
一段別二段三畝十步ノ内
一段別四步
御料地

○農商務省告示第三十三號

鑛業特許證様式明治三十二年五月一日以降左ノ離形ノ通改正ス

明治三十二年四月二十六日

農商務大臣曾禰荒助

離形(第一面ノ輪廓形狀ヲ略ス、ハ)ヲ附スルモノハ記載ノ例ヲ示スモ、
ノナリ第二面及第三面ハ賣買讓與書入等ヲ記載スル位置ナリ)

注意

- 一 農商務大臣採掘ノ特許ヲ與フルトキハ鑛業特許證ヲ下付スヘシ特許證ニハ特許ノ鑛區圖ヲ添附ス
- 一 採掘權ヲ賣買讓與スルトキハ所轄鑛山監督署ヲ經由シテ農商務大臣ニ出願シ鑛業特許證ノ書換ヲ受クルニ非サレハ法律上其ノ效ナキモノトス
- 一 採掘權ノ書入ハ所轄鑛山監督署ノ登録ヲ受クルニ非サレハ法律上其ノ效ナキモノトス
- 一 鑛業特許證ヲ毀損若ハ亡失シタルトキハ事由ヲ具シ所轄鑛山監督署ヲ經由シテ其ノ再下付ヲ農商務大臣ニ出願スヘシ

一 礦業人礦業シタルトキハ礦業特許證ヲ返納スヘシ

第七 第一面

第 號 礦業特許證

何 續山

何 府 國郡村地内

何 府 族籍

何 某

前記名之者ニ對シ第 續續區圖ノ區域ニ於テ 續ノ採掘ヲ特許ス

明治 年月日 農商務大臣

氏 名 印

九寸二分

折リ目

第二面 二尺七寸

第三面 三分

九寸二分

折リ目

○逓信省告示第百十四號
西印度ハイチ島ジャクメルニ宛ツル電報ニ關シ遅延ノ責ニ任セサル旨萬國電信總理局ヨリ通報シ
來レリ

明治三十二年四月一日
○逓信省告示第百十五號
本月十六日ヨリ左ノ郵便局ヲ設置ス
逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十二年四月六日
○逓信省告示第百十六號
石狩國雨龍郡龍村
局名 北見國紋別郡沙留村
附屬郵便局 沙留郵便局

本月十五日限リ左ノ郵便局ヲ廢止ス
明治三十二年四月六日
○逓信省告示第百十七號
山城國京都市内ニ電話所ヲ増置シ本月十一日ヨリ電話通信ヲ開始ス其名稱及位置左ノ如シ

明治三十二年四月七日
○逓信省告示第百十八號
本月十一日ヨリ陸中國西磐井郡花泉及同國稗貫郡石島谷ノ兩鐵道停車場電信取扱所ニ於テ左項ニ
依リ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス
但萬國電信條約書ニ依リ取扱フヘキ電報及歐文電報ハ之ヲ取扱ハス
逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十二年四月八日
○逓信省告示第百十九號
本月十日ヨリ安房國安房郡和田村郵便受取所ヲ和田町郵便受取所ト改稱ス
逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十二年四月十日
○逓信省告示第百二十號
本月十六日限リ根室國花咲郡花咲電信取扱所ヲ閉鎖ス
逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十二年四月十一日
○逓信省告示第百二十一號
自今本邦ニ於テハ萬國聯合郵便爲替事務約定ニ依リ在土耳其國「コンスタンチノール」獨逸郵便
局振出ニ係ル郵便爲替ノ拂渡ヲ爲スヘシ
土耳其國「コンスタンチノール」及清國上海ニ對シテハ獨逸爲替ノ振出ヲ爲スコトヲ得ス
逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十二年四月十一日
○逓信省告示第百二十二號
自今内國郵便爲替ヲ取扱フ在外本邦郵便電信局郵便局(在韓國仁川本邦郵便)ニ於テ獨逸爲替ノ受
拂業務ヲ取扱ハシム
但在清國上海本邦郵便局ニ於テハ其拂渡業務ヲ取扱ハス
逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十二年四月十一日
○逓信省告示第百二十三號
自今内國郵便爲替ヲ取扱フ在外本邦郵便電信局郵便局(在韓國仁川本邦郵便)ニ於テ獨逸爲替ノ受
拂業務ヲ取扱ハシム
但在清國上海本邦郵便局ニ於テハ其拂渡業務ヲ取扱ハス
逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十二年四月十一日
○逓信省告示第百二十四號
自今内國郵便爲替ヲ取扱フ在外本邦郵便電信局郵便局(在韓國仁川本邦郵便)ニ於テ獨逸爲替ノ受
拂業務ヲ取扱ハシム
但在清國上海本邦郵便局ニ於テハ其拂渡業務ヲ取扱ハス
逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十二年四月十一日
○逓信省告示第百二十五號
自今内國郵便爲替ヲ取扱フ在外本邦郵便電信局郵便局(在韓國仁川本邦郵便)ニ於テ獨逸爲替ノ受
拂業務ヲ取扱ハシム
但在清國上海本邦郵便局ニ於テハ其拂渡業務ヲ取扱ハス
逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十二年四月十一日
○逓信省告示第百二十六號
自今内國郵便爲替ヲ取扱フ在外本邦郵便電信局郵便局(在韓國仁川本邦郵便)ニ於テ獨逸爲替ノ受
拂業務ヲ取扱ハシム
但在清國上海本邦郵便局ニ於テハ其拂渡業務ヲ取扱ハス
逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十二年四月十一日
○逓信省告示第百二十七號
自今内國郵便爲替ヲ取扱フ在外本邦郵便電信局郵便局(在韓國仁川本邦郵便)ニ於テ獨逸爲替ノ受
拂業務ヲ取扱ハシム
但在清國上海本邦郵便局ニ於テハ其拂渡業務ヲ取扱ハス
逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十二年四月十一日
○逓信省告示第百二十八號
自今内國郵便爲替ヲ取扱フ在外本邦郵便電信局郵便局(在韓國仁川本邦郵便)ニ於テ獨逸爲替ノ受
拂業務ヲ取扱ハシム
但在清國上海本邦郵便局ニ於テハ其拂渡業務ヲ取扱ハス
逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十二年四月十一日
○逓信省告示第百二十九號
自今内國郵便爲替ヲ取扱フ在外本邦郵便電信局郵便局(在韓國仁川本邦郵便)ニ於テ獨逸爲替ノ受
拂業務ヲ取扱ハシム
但在清國上海本邦郵便局ニ於テハ其拂渡業務ヲ取扱ハス
逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十二年四月十一日
○逓信省告示第百三十號
自今内國郵便爲替ヲ取扱フ在外本邦郵便電信局郵便局(在韓國仁川本邦郵便)ニ於テ獨逸爲替ノ受
拂業務ヲ取扱ハシム
但在清國上海本邦郵便局ニ於テハ其拂渡業務ヲ取扱ハス
逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十二年四月十一日
○逓信省告示第百三十一號
自今内國郵便爲替ヲ取扱フ在外本邦郵便電信局郵便局(在韓國仁川本邦郵便)ニ於テ獨逸爲替ノ受
拂業務ヲ取扱ハシム
但在清國上海本邦郵便局ニ於テハ其拂渡業務ヲ取扱ハス
逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十二年四月十一日
○逓信省告示第百三十二號
自今内國郵便爲替ヲ取扱フ在外本邦郵便電信局郵便局(在韓國仁川本邦郵便)ニ於テ獨逸爲替ノ受
拂業務ヲ取扱ハシム
但在清國上海本邦郵便局ニ於テハ其拂渡業務ヲ取扱ハス
逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十二年四月十一日
○逓信省告示第百三十三號
自今内國郵便爲替ヲ取扱フ在外本邦郵便電信局郵便局(在韓國仁川本邦郵便)ニ於テ獨逸爲替ノ受
拂業務ヲ取扱ハシム
但在清國上海本邦郵便局ニ於テハ其拂渡業務ヲ取扱ハス
逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十二年四月十一日
○逓信省告示第百三十四號
自今内國郵便爲替ヲ取扱フ在外本邦郵便電信局郵便局(在韓國仁川本邦郵便)ニ於テ獨逸爲替ノ受
拂業務ヲ取扱ハシム
但在清國上海本邦郵便局ニ於テハ其拂渡業務ヲ取扱ハス
逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十二年四月十一日
○逓信省告示第百三十五號
自今内國郵便爲替ヲ取扱フ在外本邦郵便電信局郵便局(在韓國仁川本邦郵便)ニ於テ獨逸爲替ノ受
拂業務ヲ取扱ハシム
但在清國上海本邦郵便局ニ於テハ其拂渡業務ヲ取扱ハス
逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十二年四月十一日
○逓信省告示第百三十六號
自今内國郵便爲替ヲ取扱フ在外本邦郵便電信局郵便局(在韓國仁川本邦郵便)ニ於テ獨逸爲替ノ受
拂業務ヲ取扱ハシム
但在清國上海本邦郵便局ニ於テハ其拂渡業務ヲ取扱ハス
逓信大臣子爵芳川顯正

明治三十二年四月十一日
○逓信省告示第百三十七號
自今内國郵便爲替ヲ取扱フ在外本邦郵便電信局郵便局(在韓國仁川本邦郵便)ニ於テ獨逸爲替ノ受
拂業務ヲ取扱ハシム
但在清國上海本邦郵便局ニ於テハ其拂渡業務ヲ取扱ハス
逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第百二十三號
本月十六日ヨリ駿河國靜岡市靜岡追手町郵便受取所ヲ同國同市本通一丁目ニ移轉シ靜岡本通郵便受取所ト改稱ス

明治三十二年四月十一日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第百二十四號
本月十六日ヨリ左記ノ各鐵道停車場電信取扱所ニ於テ別記ノ事項ニ依リ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス

明治三十二年四月十一日

逓信大臣子爵芳川顯正

但萬國電信條約書ニ依リ取扱フヘキ電報及歐文電報ハ之ヲ取扱ハス

- 一 武藏國橋本郡程ヶ谷
- 一 相模國鎌倉郡大船
- 一 相模國足柄上郡山北

一通信取扱時限

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前七時ヨリ午後十時マテ

一 電報直配達區域

程ヶ谷山北ノ兩取扱所ハ九町以内
大船取扱所ハ三町以内

一 各取扱所ニ於テ別使配達ヲ取扱フ

○逓信省告示第百二十五號

郵便爲替振出及拂渡ニ關シ爲替差出人受取人ノ注意及郵便貯金預入等ニ關シ貯金預ケ人ノ注意ハ直接關係者ノ利益トナルノミナラス取扱上ノ敏捷ヲ助クルニ依リ成ルヘク左記心得書ノ趣旨ヲ守ルヘシ

明治三十二年四月十四日
郵便爲替及郵便貯金ニ關スル心得

逓信大臣子爵芳川顯正

爲替ノ部

一 爲替願書ニ記載スル差出人受取人ノ宿所氏名及金額ハ誤謬ナキヲ期シ且ツ努メテ明瞭ニ記載スルコトヲ要ス

爲替ハ願書ニ依リテ證書ノ裏面ヲ確メ尙ホ受取人ノ正否ヲ判別スルノ用ニ供スルモノナレバ其記載方ニ不明瞭ノ虞アルカハハ誤謬アルトキハ該爲替金ノ拂渡遲延シ受取人ノ迷惑ヲ惹起スヘキヲ以テ最モ注意ヲ要ス

一 通常爲替及電信爲替ヲ差出ストキハ爲替料相當ノ郵便切手ヲ購入シ必ス之ヲ願書ニ添ヘ差出ス

爲替ヲ取組ム者ハ爲替取扱局所前ニ揭示アル爲替料額表ニ依リ爲替金高ニ應ジ爲替料ニ相當スル郵便切手ヲ購入シ之ヲ願書ニ添ヘ差出スヘシ切手ヲ願書ニ貼付スヘカラス

一 三圓以下ノ金額ハ小爲替ト爲シ取組ヲ便宜トス

通常爲替ヲ取組ムニハ爲替願書ヲ要シ尙ホ又小爲替ニ比シ多額ノ爲替料ヲ要スルノミナラス爲替金受取方ニ付テモ手数多キヲ以テ斯ル少額ノ金額ハ小爲替トシテ取組ムヲ便宜トス

一 小爲替證書金額直下ニ取扱主任ノ認印ナキトキハ拂渡局所ニ於テ之レカ拂渡ヲ爲ササルニ依リ差出人證書ノ交付ヲ受ケタルトキハ即時ニ認印ノ有無ヲ檢シ若シ捺捺強ナルトキハ之レカ捺捺ヲ求ムヘシ

一 小爲替受取人ヲ指定スルト否トハ差出人ノ隨意ナリ

小爲替證書ノ受取人ヲ指定スルト否トハ差出人ノ隨意ナルモ之レカ指定ヲ爲サントスルトキハ誤謬ナキ證書相當額ニ其宿所氏名ヲ記載スヘシ若シ一字ニテモ誤記シタルトキハ之ヲ訂正シ當該證書ト共ニ受領證書ヲ爲替取扱局所ニ差出シ其許可ヲ受ケタル後之ヲ送付スヘシ

一 小爲替差出人ハ受取人指定ノ變更若クハ取消又ハ拂渡局所ノ變更ヲ請求スルコトヲ得

小爲替差出人ノ都合ニ依リ其指定シタル受取人ノ變更ヲ要シ又ハ該指定ヲ取消サントスルトキハ又ハ拂渡局所ノ變更ヲ要スル

トキハ當該證書ト共ニ受領證書ヲ爲替取扱局所ニ差出シ之レカ訂正ノ許可ヲ受ケタル後之ヲ送付スヘシ
一 電信爲替受取人郵便區ノ市外ニ住スルトキ差出人ニ於テ該爲替證書ノ至急送達ヲ望ムトキハ別
使送達ヲ請求スヘシ

電信爲替受取人郵便區ノ市内ニ住スルトキハ郵便配達時間ニ拘ハラズ直ニ證書ヲ送達スルモ市外ニ住スルトキハ普通郵便配
達ノ際共ニ配達ヲ爲スモノナルニ依リ緊急ヲ要スルモノナルトキハ振出ノ際證書ノ別使送達ヲ請求スルヲ可トス其料金ハ十
八町毎ニ六錢ノ割合ヲ以テ爲替受取人ヨリ徴收スルモノトス

一 爲替金ノ拂渡ヲ請求スルトキハ必ス其爲替證書ニ記名調印(小爲替ニアリテハ密)ノ上差出スヘ
シ

爲替金ヲ受取ラントスルトキハ先ヅ以テ爲替證書相當ノ部ニ記名調印シ然ル後拂渡ヲ要求スヘシ尤モ小爲替ニ限り宿所ヲモ
明記スヘシ尚ホ調査上必要ノ場合モアルヘキニ付該爲替證書封入ノ封皮ハ可成携帶スルヲ便宜トス

一 爲替金ハ可成速ニ受取ルヲ可トス

通常爲替證書ノ有効期限ハ振出ノ日ヨリ百二十日又小爲替證書ハ振出ノ日ヨリ六十日ナルニ依リ爲替金ハ右ノ期限内ニ受取
ルヘシ若シ該期限ヲ過クルトキハ證書ヲ書換テ請求スルニアラサレハ拂渡ヲ受ケ得サルニ依リ注意スヘシ尤モ臺灣又ハ小笠
原島ト其以外ノ地トノ間ニ取組ム小爲替證書ノ有効期限ハ振出ノ日ヨリ九十日ナリ

一 通常爲替證書金額報知書金額ト不符合ノ場合ニ於テハ少額爲替金ノ假拂渡ヲ受クルコトヲ得

通常爲替證書ト報知書ト金額不符合ノ場合ニ於テハ一應振出局所ニ正當金額ヲ問ヒ合セタル上拂渡ヲ爲ス儀ナルモ右ノ場合
ニ於テ少額拂則チ證書又ハ報知書ニ記載アル金額ノ少キ方ニ依リテ拂渡ヲ請求スルヲ得ルニ依リ右ノ方法ニ依ルヲ便宜ト
ス然シテ若シ不足拂トナリタルコト判明シタルトキハ拂渡局所ニ於テ直ニ不足金額ノ追拂ヲ爲スヘシ

一 代人ニテ爲替金ヲ受取ルトキハ本人ハ委任ノ手續ヲ爲シ代人ハ證書相當ノ部(代人タルノ肩書
ヲ付シ記名調印スル)ヲ要ス

代人ニテ爲替金ヲ受取ルトキハ證書裏面ニ委任ノ證明ヲ爲スカ又ハ代人肩書若クハ委任狀ヲ用フルコト各受取人ノ任意ナル
モ證書裏面ニ委任ノ文言ヲ記載スルヲ最モ便宜ノ方法ナリトス其記載方ハ左ノ如ク書スルヲ可トス
本證書ノ金額受取方ヲ何ノ某ニ委任致候
(小爲替ハ宿所ヲ記載スヘシ)
本人氏 名印

一 學校兵營工場等ニ於テハ取締ノ爲メ爲替拂渡上ニ關シ拂渡局所ニ特別取扱方ノ請求ヲ爲スヲ可
トス

學校兵營工場等ノ如キ當時多人聚集セル場所ニ於テハ爲替金ヲ取取セラルコトナシトセズ故ニ之ヲ豫防スル爲メ證明者
ヲ定メ其印鑑ヲ拂渡局所ニ差出シ置キ學校等ニ在宿セル者ニ振宛テタル爲替ハ其證書裏面ニ押捺シタル印章ト先ニ差出シ置
キタル印鑑ト照合シ然ル後正當手續ノ上拂渡ヲ爲スヘキコトヲ請求シ其許可ヲ受クルヲ可トス

一 常時多數ノ爲替金ヲ受取ル者ハ特別簡易ノ取扱方ヲ拂渡局所ニ請求スルヲ可トス

常時多數ノ爲替金ヲ受取ル者ハ豫シメ拂渡局所ニ該局所ノ満足スル證人ヲ立テ若シ過拂誤拂ヲ生シタルトキハ直ニ該金額ヲ
返納スヘキ旨ノ保證書及本人ノ印鑑ヲ差出シ其許可ヲ得ルトキハ尋問等ヲ受クルコトナラ直ニ其拂渡ヲ受ケ得ラルルニ依リ
之レカ請求ヲ爲スヲ便宜トス

一 亡失ノ爲メ再度小爲替證書ヲ請求スルトキハ正確ナル保證人ヲ立テ特別發行方ヲ請求スルヲ可
トス

小爲替證書ヲ亡失シ之レカ再度證書ヲ請求スルトキハ振出ノ日ヨリ百二十日ヲ經過セサレハ再度證書ヲ發行セサルモ取扱局
所ノ満足スル保證人ヲ立テ特別發行方ヲ請求スルトキハ百二十日以内ト雖モ之カ發行ヲ爲スニ依リ再度證書請求ノ際併テ之
ヲ請求スルヲ可トス

貯金ノ部

一 貯金預入申込書ニハ印鑑ヲ鮮明ニ押捺スルヲ要ス

預入申込書ハ後日拂戻等ノ場合ニ於テ印鑑照合ノ用ニ供スルモノニシテ貯金ニ關シテハ最モ必要ナル書類ナレハ該印鑑ハ極
メテ鮮明ニ押捺ヲ要ス

一 貯金通帳ニハ必ス預入申込書ニ押捺シタル印章ヲ直ニ押捺シ置クヘシ

貯金通帳ヲ受領シタルトキハ直ニ當該通帳印鑑ノ欄ニ預入申込書ニ押捺シタル印章ヲ押捺スヘシ若シ押捺ヲ洩ストキハ他日
何レノ印章ヲ押捺シタルヤ不判明ノ場合ヲ生シ爲メニ拂戻等ノ際支障ヲ來スニ付注意ヲ要ス

一 改印・轉居・改氏名等ヲ爲シタルトキハ直ニ其届出ヲ爲シ同時ニ通帳相當ノ欄ニ改押又ハ訂正ヲ
加フヘシ

改印、轉居ヲ爲シタルトキハ直ニ貯金取扱局所ニ於テ該局書式紙ヲ申受ケ相替手續ノ上之ヲ該取扱局所又ハ郵便爲替貯金管理所又ハ同支所ニ差出スヘシ尤モ該紙紙ヲ用井サルトキ若クハ改氏名ヲ爲シタルトキハ適宜ノ料紙ニ認メ前同様ノ手續ヲ爲スヘシ若シ改印等ヲ爲スモ其届出ヲ爲ササルトキハ拂戻ヲ請求スルモ印章相違又ハ宿所相違等ノ爲メ直ニ貯金ノ拂戻ヲ受ケ得ラレサルニ依リ注意ヲ要ス

一貯金預ケ人同居者ナルトキハ必ス其同居者主ノ氏名ヲ肩書ニ爲シ置クヲ要ス

一月ヲ稱ヘサル者ハ同居者主ノ氏名ヲ肩書ニ爲シ置カサルトキハ貯金登記簿通知書又ハ貯金拂戻證書等封入ノ郵便物配達上郵ナカラサル手續ヲ要スルノミナラス時ニ或ハ不明ノ爲メ該郵便物ノ配達ヲ了スル能ハサルニ至ルヲ以テ必ス記載ヲ要ス

一改印、轉居居其他貯金ニ關シ差出ス書面ニハ必ス其通帳ノ記號番號ヲ明記スヘシ

貯金ニ關スル帳簿等ハ悉ク通帳ノ記號番號ヲ以テ整理シアルニ依リ記號番號記載ナキトキハ之ヲ處理スル能ハサルヲ以テ該書面ヲ返戻スルニ至ルヘキニ依リ貯金ニ關シ差出ス書面ニハ必ス所持ノ通帳ノ記號番號ヲ明記スヘシ

○逓信省告示第百二十六號
本月二十一日ヨリ筑前國鞍手郡植木鐵道停車場電信取扱所ニ於テ左項ニ依リ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス

但萬國電信條約書ニ依リ取扱フヘキ電報及歐文電報ハ之ヲ取扱ハス
明治三十三年四月十四日 逓信大臣子爵芳川顯正

一通信取扱時限

三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ午前七時ヨリ午後十時マテ

一電報直配達區域

取扱所ヨリ十八町以内

○逓信省告示第百二十七號
登簿噸數百二十七噸七七

一西洋形帆船大德丸 右ハ愛媛縣西宇和郡川之石村六百四十七番戸布井峰松所有ニシテ同入外八名乗組明治三十一年十二月二十日志摩國の矢港出帆後同三十日暴風ノ爲メ乗組員一同本船ヲ見捨テ上陸シ遂ニ踪跡ヲ失

ヒタル官届出タルニ依リ其所在發見候モノハ速ニ管轄廳ヘ申出ツヘシ
明治三十三年四月十九日 逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第百二十八號
石川縣下加賀國石川郡下金石町立下金石燈竿ハ大野燈竿ト改稱ス
明治三十三年四月十九日 逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第百二十九號
來五月一日ヨリ左ノ郵便局及郵便受取所ニ於テ郵便貯金事務ヲ開始ス
明治三十三年四月二十日 逓信大臣子爵芳川顯正

- | | | | |
|--------------|--------------|----------|----------|
| 武藏國入間郡入間川郵便局 | 石見國津和野郡野野郵便局 | 播磨國姫路市姫路 | 岩代國信夫郡福島 |
| 紀伊國東牟婁郡西川郵便局 | 周防國玖波郡宇佐郵便局 | 國府寺郵便受取所 | 中町郵便受取所 |
| 相模國高座郡座間郵便局 | 信濃國南安郡梓郵便局 | 攝津國神戶市神戶 | 羽前國米澤市米澤 |
| 備前國小田郡北木島郵便局 | 陸奥國二月郡中山郵便局 | 石川國北條郡北條 | 仲間町郵便受取所 |
| 肥前國東彼杵郡松原郵便局 | 羽後國雄勝郡田子内郵便局 | 川野郵便受取所 | 陸前國刈田郡青 |
| 十勝國十勝郡浦幌郵便局 | 伊豫國越智郡下弓削郵便局 | 石川國空知郡空知 | 根野郵便受取所 |
| 十勝國十勝郡岩手郵便局 | 薩摩國出水郡大川内郵便局 | 石川國空知郡空知 | 安藝國沼田郡橫 |
| 石狩國上川郡美瑛郵便局 | 本橋郡物部町郵便受取所 | 石川國空知郡空知 | 川野郵便受取所 |
| 越後國刈羽郡荒瀬郵便局 | 武藏國東京市日本橋區日 | 石川國空知郡空知 | 出雲國松江郡庄 |
| 越後國刈羽郡荒瀬郵便局 | 武藏國東京市赤坂區赤 | 石川國空知郡空知 | 原野郵便受取所 |
| 筑前國遠賀郡折尾郵便局 | 武藏國東京市神田區神 | 石川國空知郡空知 | 周防國玖波郡今 |
| 筑前國三浦郡城島郵便局 | 武藏國東京市神田區神 | 石川國空知郡空知 | 津野郵便受取所 |
| 岩代國安積郡日和田郵便局 | 武藏國東京市本所區本 | 石川國空知郡空知 | 安藝國安藝郡川 |
| 羽前國西村山郡志津郵便局 | 所ニノ橋通郵便受取所 | 石川國空知郡空知 | 原野郵便受取所 |

○逓信省告示第百三十號
本年三 逓信省告示第六十號官設鐵道旅客賃金別冊ノ内程ケ谷以西ノ各驛ヨリ横濱驛ニ至ル賃金ハ總テ神奈川驛ト同額ニ又神奈川程ケ谷外四十三驛間ニ於ケル賃金ヲ左表ノ通更正シ來五月十一日ヨリ施行ス

第五表

一 韓國發本邦經由ノ海外電報一語料
一 韓國釜山ヨリ發スル電報料

著 地

上海

上海 電報一語料ニ付電報料金二十五錢ヲ加課ス

福州

福州 船積(船積及止電報)ハ二語ニ付電報料金五十錢ヲ加課ス

厦門

厦門 船積

香港

香港 船積

亞細亞露西亞

第一部

ボクハラ

歐羅巴露西亞及甲加索

歐羅巴(露西亞)

但アルジェリア、タンジエル、トリポリ、チニニスヲ包含ス

歐羅巴經過ノ各地

亞細亞(露西亞、露西亞、露西亞)

大洋洲

亞非利加(露西亞、露西亞)

清國內地

二 韓國内 及 露西亞内 川ニ於テ發著スル電報料ハ一語毎ニ金十錢トス

烏拉口阿斯

德線經過

一 〇 八 〇 〇

一 〇 八 〇 〇

一 〇 八 〇 〇

一 〇 八 〇 〇

一 〇 八 〇 〇

一 〇 八 〇 〇

一 〇 八 〇 〇

一 〇 八 〇 〇

一 〇 八 〇 〇

一 〇 八 〇 〇

一 〇 八 〇 〇

一 〇 八 〇 〇

一 〇 八 〇 〇

一 〇 八 〇 〇

一 〇 八 〇 〇

一 〇 八 〇 〇

一 〇 八 〇 〇

一 〇 八 〇 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

一 〇 九 八 〇

三 仁川又ハ京城ヨリ歐羅巴及歐羅巴經過ノ各地ニ發著スル電報ハ釜山ヨリ發スル電報料ト同額ヲ課シ歐羅巴露西亞及甲加索(露西亞)ヨリ發著スル電報ハ釜山ヨリ發スル電報料ノ外一語毎ニ金十錢ヲ加課ス	四 韓國ヨリ發シ清國福州ヲ經過シテ臺灣ニ著スル電報ハ一語毎ニ福州マテノ料金ニ福州臺灣間ノ料金二十四錢ヲ加課ス	〇 遞信省告示第百三十六號 一 日本形帆船千鳥丸 三百二十九石積 右ハ和歌山縣東牟婁郡新宮町七千五百八番地宮前伊六所有ニシテ高島德松外四名乗組明治三十二年二月十五日東京出帆紀伊國新宮港へ航行中踪跡ヲ失ヒタル旨届出タルニ依リ其所在發見候モノハ速ニ管轄廳へ申出ツヘシ 明治三十二年四月二十六日 遞信大臣子爵芳川顯正	〇 遞信省告示第百三十七號 明治三十年月 遞信省告示第百六十七號海外電報料金表中左ノ通追加改正ス 明治三十二年四月二十七日 遞信大臣子爵芳川顯正
---	--	---	---

第一表亞非利加地方ノ部中「フォンテスヴィラ」ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ追加ス	第二表亞非利加地方ノ部中「キニーバ」ノ項及同表南亞米利加地方ノ部中「ブラジル」ノイキニドル」ノ二項ヲ左ノ通改正ス
キニーバ (Cuba)	五.一三〇〇
バハマ (Bahia Honda)	五.一三〇〇
バタナ (Batavano)	五.一三〇〇
ベネチカ (Benical)	五.一三〇〇
カバナ (Cabanas)	五.一三〇〇
カルデナス (Cardenas)	五.一三〇〇
カンチマ (Cancun)	五.一三〇〇
グアナバト (Guantanamo)	五.一三〇〇
グアナフ (Guantanamo)	五.一三〇〇

ポニーロック(Piedras)	五・一六〇〇
サン・ニコラス(San Nicolas)	五・一六〇〇
プエルトリコ(Puerto Principe)	五・一六〇〇
バヤム(Bayamo)	五・一六〇〇
其他各地	
ブラジル(Brazil)	五・一六〇〇
ペルナンブコ(Pernambuco)	五・一六〇〇
パラ(Para)	五・一六〇〇
ブレベス(Breves)	五・一六〇〇
カメタ(Cameta)	五・一六〇〇
シャベス(Chaves)	五・一六〇〇
グルンパ(Gurupa)	五・一六〇〇
マカパ(Macapa)	五・一六〇〇
モンテアレグレ(Monte Alegre)	五・一六〇〇
モスクエイロ(Mosqueiro)	五・一六〇〇
ピンheiros(Pinheiros)	五・一六〇〇
サンタレム(Santarém)	五・一六〇〇
ソール(Souré)	五・一六〇〇
アレメンガ(Alemquer)	五・一六〇〇
イタロアチア(Itacorian)	五・一六〇〇
マナオス(Manaos)	五・一六〇〇
オリダス(Olidas)	五・一六〇〇
パリンチンク(Parinhas)	五・一六〇〇
其他各地	
イキキョウ(Exador)	五・一六〇〇
グアヤキニ(Guayaquil)	五・一六〇〇
其他各地	
○逓信省告示第百二十八號	

來五月一日ヨリ赤間關電話交換局ニ於テ電話交換ノ業務ヲ開始ス
 明治三十三年四月二十九日

逓信大臣子爵芳川顯正

○臺灣總督府告示第三十一號(官報 四月四日)
 明治三十一年六月告示第三十五號別冊臺灣發福州經過海外電報料金表第四表中左ノ通改正ス
 西印度地方ノ部「キューバ」項中左ノ通改正ス
 明治三十三年二月十七日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

キューバ(Cuba)	五・一六〇〇
ハバナ(Havana)	五・一六〇〇
サンティアゴ(Santiago)	五・一六〇〇
カサス(Casilda)	五・一六〇〇
トナシ(Trinidad)	五・一六〇〇
ジュネロ(Juare)	五・一六〇〇
サンタクルス(Santa Cruz del sur)	五・一六〇〇
同部中「ボネアロ」(Bonairo)ノ項中左ノ通改正ス	
ボネアロ(Bonairo)	五・一六〇〇
同部中「ボネアロ」(Bonairo)ノ項中左ノ通改正ス	
ボネアロ(Bonairo)	五・一六〇〇
ペルナンブコ(Pernambuco)	五・一六〇〇
パラ(Para)	五・一六〇〇
ブレベス(Breves)	五・一六〇〇
カメタ(Cameta)	五・一六〇〇
シャベス(Chaves)	五・一六〇〇
グルンパ(Gurupa)	五・一六〇〇
マカパ(Macapa)	五・一六〇〇
モンテアレグレ(Monte Alegre)	五・一六〇〇
モスクエイロ(Mosqueiro)	五・一六〇〇
ピンheiros(Pinheiros)	五・一六〇〇
サンタレム(Santarém)	五・一六〇〇
ソール(Souré)	五・一六〇〇

アレクサンデル (Alemaner)
イタコアチヤラ (Iaconthara)
マナオス (Manos)
オヒノク (Ohiok)
ハリンチン (Parthins)

IRAGOO KAKOO IIRAGHO KAKOO IIRAGHO KAKOO IIRAGHO KAKOO
IRAGOO KAKOO IIRAGHO KAKOO IIRAGHO KAKOO IIRAGHO KAKOO

○臺灣總督府告示第三十二號 (官報 四月四日)
明治三十二年四月一日ヨリ臺中縣大肚下堡塗葛堀ニ三等郵便電信局ヲ設置シ塗葛堀郵便電信局ト稱シ同日ヨリ郵便爲替貯金及小包郵便ノ事務ヲ併セ取扱ハシム但當分ノ内電信事務ヲ取扱ハス

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第三十三號 (官報 四月八日)
明治三十二年三月三十一日限左ノ郵便受取所ヲ廢止ス

臺灣總督男爵兒玉源太郎

臺北縣	士林郵便受取所	南投郵便受取所	潮州庄郵便受取所
同	新庄郵便受取所	集集郵便受取所	萬丹郵便受取所
同	北埔郵便受取所	大湖郵便受取所	楓港郵便受取所
同	頭份郵便受取所	員林郵便受取所	店仔口郵便受取所
同	頭份郵便受取所	關帝廟郵便受取所	羅東郵便受取所
同	新埔郵便受取所	噶吧嘰郵便受取所	花蓮港郵便受取所
同	坪林尾郵便受取所	打貓郵便受取所	小池角郵便受取所
同	瑞芳郵便受取所	阿猴郵便受取所	
同	礁仔頭郵便受取所	阿里港郵便受取所	
臺中縣	同	同	澎湖廳

○臺灣總督府告示第三十四號 (官報 四月八日)
明治三十二年四月一日ヨリ左ノ郵便電信局出張所ヲ設ケ小包郵便物ノ集配ヲ併セ取扱ハシム

明治三十二年三月二十八日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

本局名	出張所名	位置	
臺北郵便電信局	士林出張所	林士街	苗粟郵便電信局
同	新庄出張所	新庄街	北斗郵便電信局
同	新埔出張所	新埔街	嘉義郵便電信局
同	頭份出張所	頭份街	臺南郵便電信局
同	南庄出張所	南庄街	同
同	北埔出張所	北埔街	鳳山郵便電信局
同	坪林尾出張所	坪林尾	同
同	瑞芳出張所	瑞芳店	同
同	羅東出張所	羅東街	同
同	南投出張所	南投街	同
同	礁仔頭出張所	礁仔頭	同
同	集集出張所	集集街	同

○臺灣總督府告示第三十五號 (官報 四月八日)

明治三十二年四月一日ヨリ左ノ各郵便電信局出張所ニ於テ郵便爲替及郵便貯金ノ事務ヲ取扱ハシム但從前郵便受取所ニ於テ取扱タル爲替貯金ノ事務ハ郵便電信局出張所ニ於テ繼續取扱ヒ且郵便受取所ニ宛タル爲替貯金ノ未拂金ハ郵便電信局出張所ニ於テ其拂渡ヲ取扱フ

士林出張所	頭份出張所	大湖出張所	瑞芳出張所
新庄出張所	南庄出張所	員林出張所	羅東出張所
新埔出張所	南投出張所	打貓出張所	花蓮港出張所

○臺灣總督府告示第三十六號 (官報 四月八日)
明治三十二年四月一日ヨリ臺北縣蘇厝新起街二丁目ニ郵便受取所ヲ設置シ臺北新起街郵便受取所ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第三十七號(官報 四月十三日)

明治三十一年八月告示第六十號ヲ以テ流轉ノ旨告示セシ臺北縣淡水港口門洲ノ南湖南門洲浮標ハ
明治三十二年三月二十八日ヨリ鐵製圓錐形其頭三角錐形ニシテ赤色ニ塗リ水面上高サ一丈二尺五
寸ノ浮標ヲ舊位置ヘ破置セリ

臺灣總督男爵兒玉源太郎

明治三十二年四月一日

○臺灣總督府告示第三十八號(官報 四月十三日)

明治三十二年三月三十一日限左ノ各郵便電信局ニ於ケル非常通信ノ取扱ヲ廢止ス

臺灣總督男爵兒玉源太郎

臺中縣 臺中郵便電信局	同	鹿港郵便電信局	同	林圯埔郵便電信局	同	北港郵便電信局
苗栗縣 苗栗郵便電信局	同	埔里社郵便電信局	同	後埔郵便電信局	同	
大甲縣 大甲郵便電信局	同	北斗郵便電信局	同	東勢角郵便電信局	同	
彰化縣 彰化郵便電信局	同	斗六郵便電信局	同	葫蘆墩郵便電信局	同	

○臺灣總督府告示第三十九號(官報 四月二十四日)

臺灣總督府師範學校名稱位置ノ通相定ム

臺灣總督男爵兒玉源太郎

臺北師範學校	臺北	臺中師範學校	臺中	臺南師範學校	臺南
--------	----	--------	----	--------	----

○行政裁判所告示第一號

行政訴訟豫納金手續左ノ通改正ス

豫納金手續
第一條 行政訴訟ヲ爲ス者又ハ參加人トナル者ハ書類送達等ノ費用ニ充ツルタメ金貳圓ヲ豫納ス

第二條 證人鑑定人ヲ喚問スルトキ又ハ臨時特別ナル費用ヲ要スルトキハ更ニ豫納金ヲ爲スヘシ
其金額ハ其都度之ヲ定ム

第三條 訴訟費用確定決定ノ申請ヲ爲ス者ハ書類送達等ノ費用ニ充ツルタメ金壹圓ヲ豫納スヘシ

第四條 前三條ノ豫納金ニシテ不足ナルトキハ更ニ追納ヲ爲スヘシ
其金額ハ其都度之ヲ定ム

第五條 豫納金ハ現金又ハ郵便爲替券ヲ以テ之ヲ行政裁判所ニ納付スヘシ
但拂渡局ハ東京郵便電信局麹町支局宛タルヘシ

第六條 豫納金ノ殘額アルトキハ事件終局ノ後之ヲ還付ス

明治三十二年四月一日 行政裁判所長官松岡康毅

○臨時博覽會事務局告示第十四號

千九百年巴里萬國大博覽會出品部類變更ノ旨佛國博覽會事務局ヨリ通牒シ來リタルヲ以テ左ノ通
公示ス

明治三十二年四月二十日 臨時博覽會總裁曾禰亮助

佛蘭西共和國商工郵便電信大臣ハ千九百年萬國博覽會總裁ノ申請ニ基キ本博覽會總則ニ關スル千
八百九十四年八月四日付告示第十四條ニ據リ布達スルコト左ノ如シ

第一條 蔬菜及ヒ果實促成栽培法竝ニ其生產物標本ノ一項ヲ第四十七類ヨリ分離シ蔬菜促成栽培
法竝ニ其生產物標本ヲ第四十四類中ニ果實促成栽培法竝ニ其生產物標本ヲ第四十五類中ニ記入
ス

第二條

總裁ハ本布達施行ノ責ニ任ス

巴里千八百九十九年一月十四日

巴里同年一月十日申請

ポール、テロンプル

總裁 ア、ピカール

書記官長 アンリー、シャルドン

○臨時博覽會事務局告示第十五號
千九百年巴里萬國大博覽會出品部類變更ノ旨佛國博覽會事務局ヨリ通牒シ來リタルヲ以テ左ノ通
公示ス

明治三十二年四月二十日

臨時博覽會總裁會輔荒助

佛蘭西共和國商工郵便電信大臣ハ千九百年萬國博覽會總裁ノ申請ニ基キ本博覽會總則ニ關スル千
八百九十四年八月四日付布告第十四條ニ據リ布達スルコト左ノ如シ

第一條 燒酎漬果實ノ一項ハ之ヲ第五十九類(砂糖及白糖果類、醬料及ヒ刺衝物)ヨリ第六十一類
(糖汁類及ヒ刺衝物)ニ移シ該類ノ末尾ニ記入ス

第二條 總裁ハ本布達施行ノ責ニ任ス
巴里千八百九十九年一月二十四日

巴里同年一月十七日申請

ポール、テロンプル

總裁 ア、ピカール

書記官長 アンリー、シャルドン

○外務省告示第五號

清國福建省三都澳ハ本月八日ヨリ外國貿易ノ爲メ開港セラレタル旨公報ニ接シタル由本月十日福
州駐在帝國領事館事務代理豐島書記生ヨリ電報アリタリ

明治三十二年五月十二日

外務大臣子爵青木周藏

○外務省告示第六號

在韓國釜山帝國領事館馬山浦分館本月二十三日開廳セリ

明治三十二年五月二十四日

外務大臣子爵青木周藏

○外務省告示第七號

在韓國木浦帝國領事館群山分館本月二十六日開廳セリ

明治三十二年五月三十一日

外務大臣子爵青木周藏

○內務省告示第五十五號

一 文 靜岡縣小笠原郡山口村葛川四十四番地兼岩市太郎發行

右出版物ハ第二卷第四號記載ノ事項出版法第一條ノ範圍外ニ涉ルモノト認ムルヲ以テ自今出版法
ニ據リ出版スルコトヲ差止ム

明治三十二年五月八日

內務大臣侯爵西郷從道

○內務省告示第五十六號

一 社會悔過論 一册 京都市上京區岡崎町百九十八番戶植島幹發行

右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁シ且其ノ刻版及印本ヲ差押
フヘキ旨達セリ

明治三十二年五月十日

內務大臣侯爵西郷從道

○内務省告示第五十七號

一 當世娘持多し 一枚 東京市下谷區竹町十二番地渡邊源太郎發行
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁シ且ツ其ノ刻版及印本ヲ差押スヘキ旨達セリ

明治三十二年五月十二日

内務大臣 侯爵西郷從道

○内務省告示第五十八號

明治三十年法律第二十九號砂防法第一條ニ依リ砂防設備ヲ要スル土地左ノ通指定ス
長野縣

郵名	村名	大字名	字	地名	郡名	村名	大字名	字
上水内	三輪	上松	地蔵	上水内	上水内	北郷	三ツ出	西
同	淺川	御去光寺	鶴澤	同	同	同	同	同
同	同	同	五十返	同	同	同	同	同
同	同	同	入領田	同	同	同	同	同
同	同	同	藥師山東道深	同	同	同	同	同
同	同	同	象ヶ峰	同	同	同	同	同

○内務省告示第五十九號

明治三十二年内務省令第十七號及第十八號第一條末項ノ人口ハ明治三十一年内務省告示第九十二號ニ依ルノ外島嶼ノ人口ハ左ノ通
明治三十二年五月二十日

東京府 小笠原島	二五〇四九	島根縣 隱岐	三六〇一五
東京府 小笠原島	二五〇四九	島根縣 隱岐	三六〇一五
東京府 小笠原島	二五〇四九	島根縣 隱岐	三六〇一五
東京府 小笠原島	二五〇四九	島根縣 隱岐	三六〇一五

〔參照〕

明治三十一年九月十日 内務省告示第九十二號 同三十年十二月三十一日 市町村現在人口調ノ件ナリ

○内務省告示第六十號

死體解剖ハ自今傳染病研究所及永樂病院ニ於テモ可開届ニ付右望ノ者ハ兩所ノ中へ願出ヘシ
明治三十二年五月二十二日

内務大臣 侯爵西郷從道

○内務省告示第六十一號

天龍川筋左岸靜岡縣磐田郡二俣町右岸同縣同郡同町以下海ニ至ル迄ヲ公共ノ利害ニ重大ノ關係アル河川ト認定シ該川ニ就キ明治二十三年四月一日ヨリ明治二十九年法律第七十一號河川法ヲ施行ス
明治三十二年五月二十五日

内務大臣 侯爵西郷從道

○大藏省告示第二十三號

本年五月一日以降專賣局直轄區域内ニ屬スル葉煙草ノ收納保管賣渡及營業免許ニ關シ諸願届申請等ハ東京府東京市淺草區南元町專賣局作業課ニ差出スヘシ
明治三十二年五月一日

大藏大臣 伯爵松方正義

○大藏省告示第二十四號

第一回發行
一無記名軍事公債證書額面百圓券付刷利札
以號 四五七四八番
一枚

但明治三十年十二月渡分

右福井縣足羽郡下文珠村大字半田十五番地中川角右衛門所有ノ處明治三十年十二月二十六日燒失

第二回發行

一 軍事公債證書額面五百圓券付屬利札 一枚

減號 壹六八壹番

但明治三十年十二月渡分

右埼玉縣入間郡高階村大字砂新田一番地小峰半平所有ノ處明治三十年十二月二十八日燒失

第三回發行

一 軍事公債證書額面五拾圓券付屬利札 一枚

減號 六四參九九番

但明治二十九年十二月渡分

右宮城縣宮城郡原町苦竹二百二十三番地真山金三郎所有ノ處明治三十年二月二十一日燒失
以上利札消滅ノ趣ヲ以テ利子仕拂請求ニ付整理公債條例第二十條ニ據リ利子ヲ交付セリ但消滅シタル利札ハ無効トス

明治三十二年五月四日

大藏大臣伯耆松方正義

○大藏省告示第二十五號

第一回發行

一 無記名軍事公債證書額面五拾圓券 此證書一枚

減號 四〇參參貳番

但明治三十年十二月渡以降り利札附屬

右愛知縣三河國幡豆郡川崎村大字東淺井十三番戶杉浦藤三郎所有ノ處明治三十年八月十二日燒失
第三回發行
一 無記名軍事公債證書額面參百五拾圓 此證書七枚

内

五拾圓券 減號 壹九五四〇番

但明治三十年六月渡以降り利札附屬

右福岡縣三井郡味坂村大字赤川二百六十四番地白水庄太郎所有ノ處明治三十年二月二十六日燒失

五拾圓券 減號 五壹九七番

但明治三十年十二月渡以降り利札附屬

右廣島縣加茂郡廣村三百二十番邸平本三助所有ノ處明治三十年六月二十五日燒失

五拾圓券 減號 四五參五壹番

但同上

右山形縣山形市香澄町四百五十六番地菅原文四郎所有ノ處明治三十年六月二十日燒失

五拾圓券 減號 壹五八貳四番

但同上

右石川縣石川郡松任町字八ッ矢町三十一番地増田太四郎所有ノ處明治三十一年五月五日燒失

五拾圓券 減號 參〇六〇九番

但明治三十一年六月渡以降り利札附屬

右北海道札幌區大通西九丁目一番地瀨戶武夫所有ノ處明治三十一年三月十三日燒失

五拾圓券 減號 壹五四壹〇番

但同上

右靜岡縣磐田郡於保村下大之郷三十二番地松浦太平所有ノ處明治三十一年二月十四日燒失

以上消滅ノ趣ヲ以テ代リ證書請求ニ付整理公債條例第二十條ニ據リ之ヲ交付セリ但消滅シタル證書ハ無効トス

明治三十二年五月八日

大藏大臣伯耆松方正義

○大藏省告示第二十六號
第二回發行

一無記名軍事公債證書額面五拾圓券

此證書一枚

但明治二十九年六月渡以降利札附屬

右邊手縣下閉伊郡小本村大字小本故工藤長左衛門跡相續人工藤キヲ所有ノ處明治二十九年六月十五日海嘯ノ爲メ消滅セシ趣ヲ以テ代リ證書請求ニ付整理公債條例第二十條ニ據リ代リ證書ヲ交付セリ但消滅シタル證書ハ無効トス

明治三十二年五月九日

大藏大臣伯耆松方正義

○大藏省告示第二十七號
橫濱稅務管理局ヲ本月五日橫濱專賣支局廳舎内へ移ス

明治三十二年五月九日

大藏大臣伯耆松方正義

○大藏省告示第二十八號
來ル六月四日佐賀本金庫所屬藤木支金庫ヲ三養基郡藤木村大字藤ノ木ニ移ス

明治三十二年五月十八日

大藏大臣伯耆松方正義

○大藏省告示第二十九號
東京稅務管理局ヲ本月二十八日東京市麹町區大手町一丁目三番地へ移ス

明治三十二年五月十九日

大藏大臣伯耆松方正義

○大藏省告示第三十號
一五分金祿公債證書額面六拾壹萬八千貳百七拾圓

此買入價格證書額面百圓ニ付金九拾參圓五拾六錢

一五分付海軍公債證書額面四拾貳萬六千圓

此買入價格證書額面百圓ニ付金九拾五圓八拾四錢
右明治二十九年法律第五號國債證券買入銷却法ニ依リ本年四月二十九日買入銷却セリ其證書ノ種類及記番號ハ左ノ如シ

明治三十二年五月二十五日

大藏大臣伯耆松方正義

○大藏省告示第三十一號
二十二年發行

(證書ノ種類及記番號略ス)

一記名整理公債證書額面百圓券付屬利札

三枚

但明治四十年六月渡同四十五年六月渡同四十九年十二月渡ノ三期分

右ハ愛知縣名古屋市金澤町八十六番戶淺川久右衛門所有ノ處所藏中鼠ノ爲メニ害セラレ消滅シタル趣ヲ以テ代リ利札請求ニ付整理公債條例第二十條ニ依リ之ヲ交付セリ但消滅シタル利札ハ無効トス

明治三十二年五月三十日

大藏大臣伯耆松方正義

○陸軍省告示第五號

明治三十二年ニ於テ召募スヘキ陸軍軍醫學校生徒ノ人員ハ軍醫志願者三十名トス志願ノ者ハ明治二十九年勅令第九十四號陸軍軍醫學校條例及同年陸軍省令第二十六號陸軍召募規則ニ據リ出願スヘシ但召募規則第五條並第六十九條乃至第七十三條ニ規定シタル事項ハ今同特ニ左ノ通變更ス

明治三十二年五月一日

陸軍大臣子爵桂 太郎

一 生徒ノ入學期日ハ八月一日トス

二 學科試験ハ志願者現住地ノ所管師團軍醫部ニ於テ七月五日ヨリ之ヲ行フ

三 召募規則第七十條ノ書類差出期日ハ六月十日第七十一條及第七十二條ノ書類送付期日ハ六月二十日トス但願書ニ添付スヘキ醫術開業免狀寫ハ醫師免許規則第三條及第四條ノ醫學校卒業證書寫若クハ醫術開業後期試験及第證書寫ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

四 師團軍醫部長ハ學科試験前志願者ヲ召集シ軍醫ヲシテ身體検査ヲ爲サシメ其ノ合格者ニ就キ學科試験ヲ行ヒ其ノ答案及願書其ノ他ノ書類ヲ取纏メ軍醫學校長ニ送付スヘシ

○海軍省告示第十四號

從來海軍造船廠ニ於テハ民間ニ於ケル船渠其他ノ施設猶未タ十分ナラザリシ爲メ一時ノ便ヲ計リ其依托ニ應シ海軍ニ屬セサル船舶ノ修理等ヲ施行シ來リタルモ現今ニ在テハ民間ニ於ケル船渠並ニ造船工場等ノ設備整頓シタルモノ尠ナカラス最早其必要ヲ認メサルニ至レリ依テ自今海軍造船廠ニ於テハ帝國海軍艦船ニアラサル船舶ノ入渠修理等ヲ施行セス但シ海難其他一時危急ノ場合又ハ民間ニ於テ施行シ難キ理由アルモノハ此限ニアラス

明治三十二年五月十一日

海軍大臣山本權兵衛

○海軍省告示第十五號

佐世保水雷團ニ於テ四季演習施行ノ爲メ本月十七日ヨリ三日間大村灣口ノ中央ニ繫維セル標船ノ北西向後崎ニ至ル海中ヘ危險物沈置スヘキニ付該區域内船舶ノ通航及漁業ヲ爲スヘカラス標船ハ晝間赤旗一旒夜間赤燈一箇ヲ以テ之ヲ標示ス

明治三十二年五月十五日

海軍大臣山本權兵衛

○海軍省告示第十六號

海軍少主計候補生四十二名採用ス明治三十二年七月ニ於テ年齡滿二十年以上滿二十八年未滿四月九日ヨリ同十二年ニシテ出身志願ノ者ハ明治三十年九月勅令第三百十四號海軍高等武官補充條例治明八月マテニ出生 三十二年勅令第百八十四號參照 及明治三十二年四月海軍省令第十一號海軍少主計候補生採用試験規則ニ依リ明治三十二年六月二十日迄ニ海軍省經理局長ニ出願スヘシ

明治三十二年五月十七日

海軍大臣山本權兵衛

○司法省告示第二十二號

大阪市西區戸籍役場本年三月十九日火災ニ罹リ戸籍簿 西長堀北通一丁目乃至五丁目、松島町一丁目通一丁目乃至三丁目、身分登記簿、後見人名簿其他役場ニ保存シタル書類焼失シタルニ付左ノ各號ニ該當スルモノハ本年七月三十一日マテニ更ニ同區戸籍吏ニ届出若クハ申請ヲ爲シ、身分ニ關スル證書ノ謄本ヲ差出シ又ハ報告請求、送付等ヲ爲スヘシ

但届出若クハ申請ヲ爲シ又ハ身分ニ關スル證書ノ謄本ヲ差出スニ付キ詳細ノ手續ハ同區戸籍役場又ハ監督區裁判所ニ就キ承合スヘシ

第一 明治三十一年七月十六日ヨリ同年十一月三十日マテノ間ニ於テ同區戸籍吏ニ本籍地變更ノ届出ヲ爲シタル者ヨリ同區戸籍簿ノ焼失セサル西長堀北通外五

第二 明治三十一年七月十六日ヨリ同三十二年三月十九日マテノ間ニ於テ同區戸籍吏ニ轉籍届ヲ爲シ居ノ謄本ヲ送付シタル者

第三 明治三十二年一月一日ヨリ同年三月十九日マテノ間ニ於テ同區戸籍吏ニ轉籍届ヲ爲シタル者 戸籍簿ノ焼失セサル西長堀北通

第四 明治三十二年一月一日ヨリ同年三月十九日マテノ間ニ於テ同區戸籍吏ニ身分ニ關スル届出若クハ申請ヲ爲シ又ハ身分ニ關スル證書ノ謄本ヲ差出シタル者

第五 明治三十二年一月一日ヨリ同年三月十九日マテノ間ニ於テ同區戸籍吏ニ身分ニ關スル届書、申請書ノ正本若クハ謄本ヲ送付シ、身分ニ關スル報告ヲ爲シ又ハ身分ニ關スル證書ノ謄本、身分ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ送付シタル者

第六 明治三十二年一月一日ヨリ同年三月十九日マテノ間ニ於テ同區戸籍吏ニ身分登記取消ノ請求ヲ爲シタル者

第七 明治三十二年三月一日ヨリ同三十一年七月十五日マテノ間ニ於テ同役所ニ後見人ニ關ス

ル届出ヲ爲シタル者

前各號中第二號ノ轉籍届ノ副本及ヒ第五號ノ身分ニ關スル届書、申請書ノ正本又ハ副本ハ監督區裁判所又ハ戶籍役場ニ保存セルモノニ就キ之ヲ謄寫シテ送付スヘシ第七號ノ届書ハ戶籍法施行前ノ後見人ニ關スル届出ノ例ニ依リ差出スヘシ

明治三十二年五月五日

司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第二十三號

大阪市西區役所本年三月十九日火災ニ罹リ左ニ掲ケタル各町ノ寄留簿燒失シタルニ付キ現ニ右各町ニ寄留スル者又ハ同町ヨリ他ニ出寄留中ノ者ハ本年七月三十一日マテニ明治十九年内務省令第十九號中寄留者届出方ニ關スル規定ニ依リ其出入寄留ヲ更ニ同區長ニ届出ツヘシ

明治三十二年五月五日

司法大臣清浦奎吾

- 一他府縣又ハ他郡市區へ出寄留簿及ヒ他府縣又ハ他郡市區ヨリ同居入寄留簿
 - 土佐堀通一圓 土佐堀裏町 江戸堀上通一圓 同上北通一圓 江戸堀南通一圓
 - 同上上通一圓 京町堀上通一圓 京町堀通一圓 鞆北通一圓 同上上通一圓
 - 同上中通一圓 同上上下通一圓 鞆南通一圓 阿波堀通一圓 阿波座上通一圓
 - 阿波堀裏町 阿波座中通一圓 至阿波座四番町 阿波座下通一圓 立賣堀北通一圓
 - 立賣堀裏町 薩摩堀東ノ町 同上西ノ町 同上南ノ町 薩摩堀北ノ町
 - 薩摩堀裏町 江ノ子島上町 同上東町 江ノ子島西町 立賣堀南通一圓
 - 新町北通一圓 新町通一圓 新町南通一圓 裏新町 西長堀北通一圓
 - 西長堀南通一圓 北堀江上通一圓 北堀江裏通一圓 北堀江下通一圓 北堀江通一圓
 - 至北堀江三番町 南堀江通一圓 南堀江上通一圓 南堀江下通一圓 西道頓堀通一圓
 - 幸町通一圓 至南堀江三番町 松島町一圓 仲ノ町一圓 高砂町一圓

一他府縣ヨリ全戸入寄留簿

- 十 返 町 花 園 町 至木田三番町 木田町通一圓 梅 木 町
- 一他府縣ヨリ全戸入寄留簿
 - 江戸堀下通一圓 京町堀上通一圓 京町堀通一圓 鞆北通一圓 鞆上通一圓
 - 同上中通一圓 同上上下通一圓 同上南通一圓 至阿波座四番町 北堀江上通一圓
 - 北堀江裏通一圓 南堀江通一圓 南堀江上通一圓 同上上下通一圓 幸町通一圓
 - 至南堀江三番町 松島町一圓 仲ノ町一圓 高砂町一圓 十 返 町
 - 花 園 町 至木田三番町 梅 木 町

○司法省告示第二十四號

山梨縣甲斐國南巨摩郡西山村戶籍役場本年三月十四日火災ニ罹リ戶籍簿及ヒ身分登記簿其他役場ニ保存シタル書類燒失シタリ

明治三十二年五月二十日

司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第二十五號

東京地方裁判所管内新島區裁判所神津島出張所當分ノ内閣廳セス但同出張所ニ屬スル登記事務ハ新島區裁判所ニ於テ之ヲ取扱フ

明治三十二年五月二十五日

司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第二十六號

千葉地方裁判所管内佐原區裁判所ニ於テ本年六月十日ヨリ刑事事務ヲモ取扱フ

明治三十二年五月二十七日

司法大臣清浦奎吾

○文部省告示第五十九號

師範學校中學校高等女學校教員檢定本試驗日時割左ノ通相定候條受験者ハ各其試驗開始ノ前日マテニ文部省へ出頭シテ指揮ヲ受クヘシ

豫備試驗合格者氏名等ハ官報ヲ以テ廣告スヘキニ付右廣告中ニ氏名ナキ者ハ不合格ト心得ヘシ

文部大臣伯耆權山資紀

明治三十二年五月一日

明治三十二年五月一日 師範學校中學校高等女學校教員檢定本試驗日時割表

五月十七日	倫修	筆記	三時間	午前八時ヨリ同十一時マテ
五月十七日	算術(算術代)	筆記	五時間	午前八時ヨリ同十一時マテ 午後一時ヨリ同三時マテ
五月十八日	普通體操	實地教授	四時間	午前八時ヨリ同十二時マテ
五月十八日	萬國史(東洋史)	書取譯	四時間	午前八時ヨリ
五月十八日	英語	書取譯	四時間	午前八時ヨリ
五月十八日	佛語	書取譯	四時間	午前八時ヨリ
五月十八日	普通體操	實地教授	四時間	午前七時ヨリ
五月十八日	手工業	實地教授	四時間	午前八時ヨリ

五月十九日	歷史(日本史)	實地教授	二時間半	午前八時ヨリ同十時三十分マテ
五月二十日	兵式體操	實地教授	三時間	午前七時ヨリ、雨天ナレハ實地ハ臨時日時ヲ定ム 午後一時ヨリ同四時マテ
五月二十日	英語	口頭教授	三時間	午前八時ヨリ
五月二十日	物産	口頭教授	三時間	午後一時ヨリ同四時マテ
五月二十日	兵式體操	實地教授	三時間	午前八時ヨリ
五月二十日	簿記	筆記	四時間	午前七時ヨリ、雨天ナレハ實地ハ臨時日時ヲ定ム 午前八時ヨリ同十一時マテ
五月二十二日	倫修	筆記	三時間	午前九時ヨリ
五月二十二日	國語	口頭教授	三時間	午前八時ヨリ同十一時マテ
五月二十二日	地誌	口頭教授	三時間	午後一時ヨリ同四時マテ
五月二十三日	裁縫	實地教授	七時間	午前八時ヨリ午後四時マテ
五月二十三日	算術(算術代)	筆記	四時間	午前八時ヨリ
五月二十三日	毛筆及用器畫	筆記	四時間	午前八時ヨリ同十二時マテ

五月二十四日	裁縫	實地教授法	四七時間	午前八時ヨリ午後四時マテ 午後一時ヨリ午後十二時マテ 雨天ナレハ臨時日時ヲ定ム
五月二十五日	農業	實地教授法	二時間	午前八時ヨリ午後二時マテ
五月二十六日	地文	實地教授法	二時間	午前八時ヨリ
五月二十七日	算術(算術代數)	教授法	二三時間	午前八時ヨリ 午後一時ヨリ同三時マテ
五月二十八日	算術(算術代數)	教授法	二三時間	午前八時ヨリ 午後一時ヨリ同三時マテ
五月二十九日	算術(算術代數)	教授法	二三時間	午前八時ヨリ 午後一時ヨリ同三時マテ
五月三十日	算術(算術代數)	教授法	二三時間	午前八時ヨリ 午後一時ヨリ同三時マテ
五月三十一日	算術(算術代數)	教授法	二三時間	午前八時ヨリ 午後一時ヨリ同三時マテ
六月一日	算術(算術代數)	教授法	二三時間	午前八時ヨリ 午後一時ヨリ同三時マテ
六月二日	算術(算術代數)	教授法	二三時間	午前八時ヨリ 午後一時ヨリ同三時マテ

五月二十九日	唱歌	口頭	二三時間	午前七時ヨリ
五月三十日	唱歌	口頭	二三時間	午前八時ヨリ
五月三十一日	唱歌	口頭	二三時間	午前八時ヨリ
六月一日	唱歌	口頭	二三時間	午前八時ヨリ
六月二日	唱歌	口頭	二三時間	午前八時ヨリ
五月二十九日	毛筆及用器	新色寫生	二時間	午前八時ヨリ同十一時マテ 午後一時ヨリ同三時マテ
五月三十日	毛筆及用器	新色寫生	二時間	午前八時ヨリ
五月三十一日	毛筆及用器	新色寫生	二時間	午前八時ヨリ
六月一日	毛筆及用器	新色寫生	二時間	午前八時ヨリ
六月二日	毛筆及用器	新色寫生	二時間	午前八時ヨリ
五月二十九日	地誌	示物教授法	四時間	午前八時ヨリ
五月三十日	地誌	示物教授法	四時間	午前八時ヨリ
五月三十一日	地誌	示物教授法	四時間	午前八時ヨリ
六月一日	地誌	示物教授法	四時間	午前八時ヨリ
六月二日	地誌	示物教授法	四時間	午前八時ヨリ
五月二十九日	漢文	教授法	三時間	午前七時ヨリ同十時マテ
五月三十日	漢文	教授法	三時間	午前七時ヨリ同十時マテ
五月三十一日	漢文	教授法	三時間	午前七時ヨリ同十時マテ
六月一日	漢文	教授法	三時間	午前七時ヨリ同十時マテ
六月二日	漢文	教授法	三時間	午前七時ヨリ同十時マテ
五月二十九日	植物	實物教授法	三時間	午前八時ヨリ同十一時マテ
五月三十日	植物	實物教授法	三時間	午前八時ヨリ
五月三十一日	植物	實物教授法	三時間	午前八時ヨリ
六月一日	植物	實物教授法	三時間	午前八時ヨリ
六月二日	植物	實物教授法	三時間	午前八時ヨリ
五月二十九日	習字	楷行草假名	三時間	午前八時ヨリ
五月三十日	習字	楷行草假名	三時間	午前八時ヨリ
五月三十一日	習字	楷行草假名	三時間	午前八時ヨリ
六月一日	習字	楷行草假名	三時間	午前八時ヨリ
六月二日	習字	楷行草假名	三時間	午前八時ヨリ

六月三日

數學(幾何)	設問	午前八時ヨリ
動植物	設問	午前八時ヨリ 同十一時マテ
數學(算分)	設問	午後一時ヨリ 同十二時マテ
六月五日	設問	午前八時ヨリ

○文部省告示第六十號

東京美術學校學科彫刻科中ニ塑造科ヲ加ヘ本年九月ヨリ授業ヲ開始ス

明治三十二年五月一日

文部大臣伯爵樺山資紀

○文部省告示第六十一號

右ハ徵兵令第十三條及文官任用令第三條第三ニ依リ認定ス

明治三十二年五月二日

高知縣立高知縣農學校本科
文部大臣伯爵樺山資紀

○文部省告示第六十二號

石川縣鹿島郡七尾町立簡易商業學校ヲ本月ヨリ七尾商業學校ト改稱ノ件認可セリ

明治三十二年五月四日

文部大臣伯爵樺山資紀

○文部省告示第六十三號

本年文部省告示第二十八號農業教員養成所ニ於テ募集スヘキ生徒數三十名トアルヲ四十四名ト改

明治三十二年五月六日

文部大臣伯爵樺山資紀

○文部省告示第六十四號

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

明治三十二年五月八日

石川縣立石川縣農學校補習科
工業學校專攻科
文部大臣伯爵樺山資紀

○文部省告示第六十五號

實業學校教員養成規程第四條ニ依リ商業教員養成ノ爲明治三十二年度ニ於テ學資ヲ補給スヘキ生徒及募集スヘキ生徒ノ員數左ノ通相定ム

明治三十二年五月八日

文部大臣伯爵樺山資紀

一 高等商業學校生徒

五 名

一 商業教員養成所ニ募集スヘキ生徒

二十五 名

○文部省告示第六十六號

栃木縣ニ於ケル私立中學作新館ヲ私立下野中學校ト改稱ノ件認可セリ

明治三十二年五月八日

文部大臣伯爵樺山資紀

○文部省告示第六十七號

右ハ徵兵令第十三條及文官任用令第三條第三ニ依リ認定ス

明治三十二年五月九日

群馬縣山田郡桐生町立桐生織物學校 專攻科
文部大臣伯爵樺山資紀

○文部省告示第六十八號

右ハ文官任用令第三條第三ニ依リ認定ス

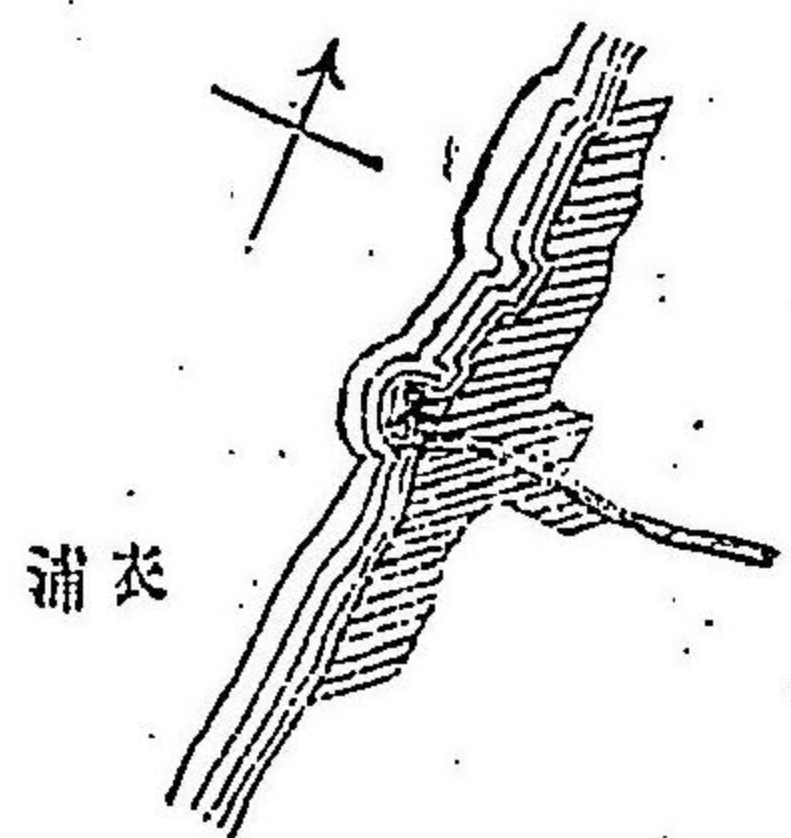
明治三十二年五月九日

官立札幌農學校農藝科
文部大臣伯爵樺山資紀

○文部省告示第六十九號
愛知縣ニ於テ三河國碧海郡大濱町 印チ左ノ圖中ニ警報信號標ヲ設立シ本年四月二十六日ヨリ實施セリ

明治三十二年五月十日

文部大臣伯耆樺山資紀



○文部省告示第七十號

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

明治三十二年五月十五日

○文部省告示第七十一號

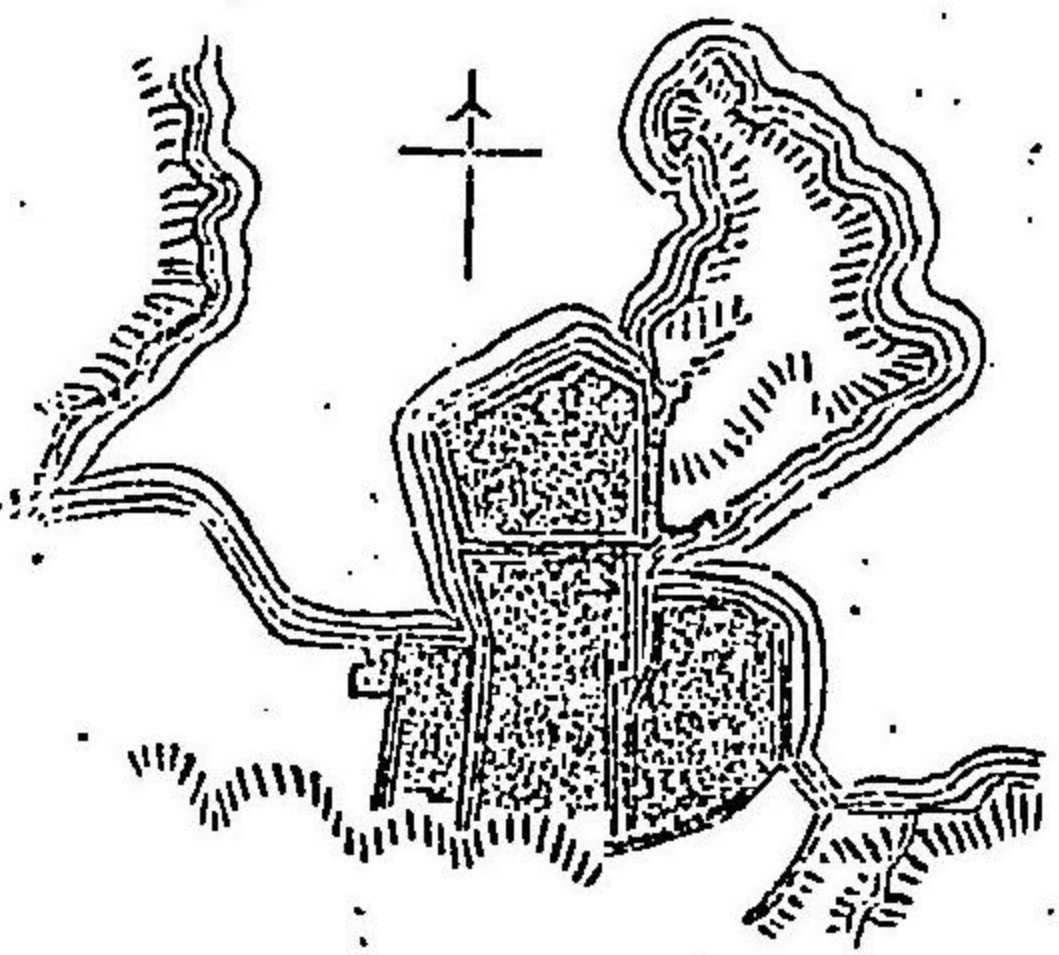
埼玉縣ニ於テ北足立郡浦和町西端埼玉縣廳門前ニ警報信號標ヲ設立シ本年六月十五日ヨリ實施ス

明治三十二年五月十八日

○文部省告示第七十二號

愛媛縣管下新居郡多喜濱村海岸 印チ左ノ圖中ニ警報信號標ヲ設立シ本年六月三日ヨリ實施シタキ

旨同村東濱産鹽株式會社社長西原壘三郎ヨリ願出テタルニ付同縣知事ニ於テ之ヲ許可セリ
明治三十二年五月十九日
文部大臣伯耆樺山資紀



○文部省告示第七十三號

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

明治三十二年五月二十二日

○文部省告示第七十四號

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

明治三十二年五月二十二日

山口縣大島郡立大島海員學校 航海學部
文部大臣伯耆樺山資紀

○文部省告示第七十五號
實業學校教員養成規程第四條ニ依リ明治三十二年度ニ於テ工業教員養成所ニ募集スヘキ生徒ノ員數ヲ十七名ト定ム

文部大臣伯耆樺山資紀

明治三十三年五月二十六日

○文部省告示第七十六號
師範學校中學校高等女學校教員免許規則(明治二十九年文部省令第十二號同三十一年同省令第二十一號同省令第三十一號同省令第三十二號)ニ依リ本年十一月ヨリ豫備試験ヲ施行シ來明治三十三年二月ヨリ本試験ヲ施行スヘキニ付受験者ハ本年七月三十一日マテニ願書ヲ地方廳ニ差出シ地方廳ハ同八月三十一日マテニ當省ニ差出スヘシ但試験施行期日等ハ更ニ告示スヘシ

文部大臣伯耆樺山資紀

明治三十三年五月二十六日

〔參照〕

明治二十九年(二十二年)文部省令第十二號ハ師範學校、中學校、高等女學校教員免許規則、同三十年(二十七年)同省令第十四號、同三十一年(三十四年)同省令第二十一號ハ同規則中改正ノ件ナリ

○文部省告示第七十七號

茨城縣簡易農學校ノ組織ヲ本月ヨリ變更シテ甲種農業學校ト爲シ茨城縣農學校ト改稱ノ件認可セリ

文部大臣伯耆樺山資紀

明治三十三年五月二十七日

○文部省告示第七十八號

東京府東京市麴町區ニ私立日比谷中學校設置ノ件認可セリ

文部大臣伯耆樺山資紀

明治三十三年五月二十九日

○農商務省告示第三十四號

林野整理局巖手支局ハ巖手大林區署内ニ同東京支局ハ東京大林區署内ニ同長野支局ハ長野大林區署内ニ於テ本月一日ヨリ開廳ス

農商務大臣曾禰荒助

明治三十三年五月三日

○農商務省告示第三十五號

林野整理局大阪支局ハ本月一日大阪大林區署内ニ同福島支局ハ本月二日福島大林區署内ニ同岡山支局ハ本月三日岡山大林區署内ニ於テ開廳ス

農商務大臣曾禰荒助

明治三十三年五月五日

○農商務省告示第三十六號

林野整理局鹿兒島支局ハ本月一日鹿兒島大林區署内ニ同秋田支局ハ本月五日秋田大林區署内ニ同青森支局ハ本月十日青森大林區署内ニ同石川支局ハ同日石川大林區署内ニ於テ開廳ス

農商務大臣曾禰荒助

明治三十三年五月九日

○農商務省告示第三十七號

林野整理局宮城支局ハ本月八日宮城大林區署内ニ同熊本支局ハ本月九日熊本大林區署内ニ同廣島支局ハ本月十日廣島大林區署内ニ於テ開廳ス

農商務大臣曾禰荒助

明治三十三年五月十日

○農商務省告示第三十八號

林野整理局愛媛支局ハ本月五日愛媛大林區署内ニ同高知支局ハ本月八日高知大林區署内ニ同福岡支局ハ本月十日福岡大林區署内ニ於テ開廳ス

農商務大臣曾禰荒助

明治三十三年五月十三日

○農商務省告示第三十九號
森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治三十三年五月十八日

農商務大臣曾禰荒助

上野國勢多郡黒保根村大字上神梅村字小垂六百七十六番ノ一
保安林段別三段二畝二十五歩ノ内

所有者 野村 儀三郎

一段別二畝一步
同國同郡同村同大字同字六百七十六番ノ二
保安林段別三段二畝十六歩ノ内

所有者 磯田 林作

一段別一畝二十四歩

○農商務省告示第四十號

左記ノ保安林解除ノ申請ハ採用セス

明治三十三年五月十八日

農商務大臣曾禰荒助

上野國勢多郡黒保根村大字宿廻村字酒坂千五百三十三番ノ一
保安林段別二段五畝二十八歩ノ内

申請人 中村 榮次郎

一段別五畝二十五歩
同國同郡同村同大字字曲久保千七百三十番ノ一
保安林段別一町六畝二十七歩ノ内

申請人 橋本 元三郎

同國同郡同村同大字中之萱千七百二十八番ノ三
保安林段別九段八畝二十三歩ノ内

申請人 橋本 元三郎

一段別九段三畝十八歩
同國山田郡福岡村大字鹽原村字中村四百六十二番

申請人 久保塚政次郎

保安林段別一町八畝二十四歩ノ内
一段別七段二十八歩
同國勢多郡北橋村大字下箱田村字瀧甲乙十九番甲乙二十番

申請人 今井善治郎外六名

保安林
一段別二段十二歩
同國同郡同村同大字同字乙一番

申請人 同上

保安林
一段別二段三畝六歩
同國同郡東村大字花輪村字三島百九十四番

申請人 花輪 菊見外五名

一段別三畝二十七歩
○農商務省告示第四十一號

左記ノ保安林ハ解除セス

農商務大臣曾禰荒助

明治三十三年五月十八日
上野國勢多郡南橋村大字上小出字中河原千五十二番千六十七番字下河原千四百四十四番

保安林段別八町七段五畝二十四歩ノ内

一段別二町一段三畝二十九歩
同國同郡横野村大字樽村字下河原乙四百五十九番乙四百六十番

保安林段別二段二畝十五歩ノ内

一段別七畝二十歩

同國同郡同村同大字字立屋乙九十七番
保安林段別二段七畝二十四歩ノ内

一段別六畝十歩

○農商務省告示第四十二號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ通保安林ニ編入ス

明治三十二年五月二十日

周防國都濃郡末武南村大字笠戸島字浦ノ内

國有林段別六十六町七段六畝二十一歩ノ内臺帳段別三十三町五段歩

一段別十町一段五畝十四歩

長門國豐浦郡神玉村大字神田上村字寺ヶ浴

第七百六十九番公有林

一段別三畝十五歩

○農商務省告示第四十三號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ通保安林ニ編入ス

明治三十二年五月二十五日

常陸國東茨城郡磯濱町字東光臺八千二百三十四番

御料林

一段別六町九段六畝四歩

同國同郡同町字緑町八千二百三十九番

御料林

一段別二段四畝十六歩

同國同郡同町同字八千二百四十番

御料林

一段別一段六畝二十四歩

右普通保安林ニ編入

同國鹿島郡新宮村大字畑田字氷川脇千四百二十三番ノ内

國有林

一段別六段九畝二十五歩

同國同郡上島村大字汲上字権ノ内千八百七十二番

國有林

一段別六段二畝十七歩

同國同郡同村同大字同字千八百七十四番

國有林

一段別八段歩

同國同郡同村同大字字澤畑百八十一番

國有林

一段別二段八畝歩

右禁伐保安林ニ編入

○農商務省告示第四十四號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治三十二年五月二十六日

筑前國粕屋郡和白村大字奈多千二百十八番地字コノシアロミ

明治三十二年五月 告示 農商務省第四十四號

農商務大臣曾禰荒助

申請人 末武南村長 田村 嘉作

申請人 神玉村長 大藤 一誠

農商務大臣曾禰荒助

申請人 新宮村長 石山 義隆

申請人 照山孫右衛門 外四十五名

申請人 同 上

申請人 同 上

農商務大臣曾禰荒助

私有保安林六町四段歩ノ内

一段別六段二畝二十二歩

同國遠賀郡岡縣村大字波津千六百四十九番地

字黒崎國有保安林五段九畝二十九歩ノ内

一段別一段五畝十一歩

同國筑紫郡千代村大字堅粕千三百七十六番地ノ内

字東松原國有保安林

一段別七町歩

○農商務省告示第四十五號

左記ノ保安林解除ノ申請ハ採用セズ

明治三十二年五月二十六日

筑前國早良郡西新町大字西新百八十四番地

字汐入私有保安林

一段別六段五畝六歩

同國同郡同町同大字百五十二番地

字同上私有保安林

一段別四段三畝二十二歩

豊前國企救郡松ヶ江村大字今津二百七十四番地ノ一

字津村島私有保安林

一段別一町八段八畝二十六歩

豊前國築上郡宇島町大字宇島六十三番地

粕屋郡和白村大字奈多

所有者 今林 與吉外二名

申請人 同

申請人 遠賀郡長 岡田 三吾

農商務大臣曾禰荒助

福岡市 申請人 梶原 景克

申請人 同 人

松ヶ江村大字今津總代 申請人 宮田六右衛門外二名

字遙拜所國有保安林

一段別六畝二十歩

○農商務省告示第四十六號

森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治三十二年五月三十一日

遠江國引佐郡井伊谷村大字井伊谷字西坂田山三千七十八番

御料保安林

一段別二町九段三畝歩

同國同郡奥山村大字谷澤字市藏窪七百七番

御料保安林

一段別一町四畝二歩

同國濱名郡中ノ町大字富田字堤外三百七十二番ノ一

御料保安林一段別三段三畝二十一歩ノ内

一段別一段一畝十四歩

駿河國安倍郡大里村大字高松三字敷地二千五百二十六番

御料保安林一段九畝二十歩ノ内

一段別一段三畝一歩

遠江國周智郡熊切村大字杉字上ノ山四百八十四番

御料林一段別三段二畝十八歩ノ内

一段別二段歩

宇島町助役

申請人

小畑 兵三郎

農商務大臣曾禰荒助

○農商務省告示第四十七號
森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治三十三年五月三十一日

近江國甲賀郡小原村大字杉山字中筋四百五十八番
保安林段別七段歩ノ内

一段別六畝二十八歩

同四百六十番保安林段別六段九畝九歩ノ内

一段別二十九歩

同四百六十五番保安林段別一町三段一畝歩ノ内

一段別一畝二十六歩

同四百六十六番保安林段別四段五畝歩ノ内

一段別四畝二十歩

同四百六十八番保安林段別一町九段一畝八歩ノ内

一段別一畝十九歩

同四百六十七番保安林段別四段三畝歩ノ内

一段別十八歩

同五百五番保安林段別一町歩ノ内

一段別二畝十四歩

同五百三十九番保安林段別三段一畝歩ノ内

一段別一畝二十三歩

同五百四十番保安林段別四段二畝歩ノ内

一段別三畝十五歩

同五百五十六番保安林段別九畝歩ノ内

一段別五畝九歩

同國同郡北杣村大字牛飼字大谷
二千四百一十一番ノ五保安林

一段別二段二畝二十一歩

同國同郡雲井村大字黄瀬字石ヤ
一番保安林段別一段五畝歩ノ内

一段別一畝十五歩

同國同郡同村大字同字半シ
九百七十五番保安林段別二段三畝二十七歩ノ内

一段別一畝七歩

同九百七十六番保安林段別二段歩ノ内

一段別十五歩

同九百七十七番保安林段別三段五畝歩ノ内

一段別三畝九歩

同九百七十八番保安林段別三段歩ノ内

一段別五畝十四歩

同九百七十九番保安林段別三段五畝歩ノ内

一段別四畝十四歩

同九百八十番保安林段別一段五畝歩ノ内

一段別一畝四歩

農商務大臣曾禰荒助

所有者 上田 茂吉

杉本 奈良吉

杉本 善兵衛

大谷甚右衛門

西谷喜左衛門

上岡 茂吉

大谷甚右衛門

上岡 茂吉

大谷甚右衛門

杉本 善兵衛

北杣村大字牛飼

木下 清八

大西 彌三郎

安田 熊吉

安田 熊吉

福山 新八

安田 熊吉

安田 利重郎

川口 彌太郎

同九百八十三番保安林段別三段五畝歩ノ内
一段別八畝二十四歩
同千三番保安林段別六段二十三歩ノ内
一段別十八歩
同國同郡雲井村大字牧字下山
一番保安林段別一町七段歩ノ内
一段別二畝十歩
同國同郡同村大字同字東カイト
九百九十三番保安林段別一段歩ノ内
一段別十九歩
同國同郡同村大字同字葎ヶ谷
九百九十七番保安林段別三段歩ノ内
一段別二十四歩
同九百九十九番保安林段別五畝歩ノ内
一段別六歩

○農商務省告示第四十八號
森林法第十六條ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス
明治三十二年五月三十一日
農商務大臣曾禰荒助

備前國兒島郡山田村大字山田字北ノ坊千七百二十八番
保安林段別一段六畝歩ノ内
一段別三畝十歩

所有者	井上	文十郎
同	杉本	安吉
同	田村	芳吉
同	田村	芳吉
同	墨見	實吉
同	大西	房治郎
同	福山	新八

同國同郡同村同大字同字千六百七十八番
保安林段別六畝二歩ノ内
一段別十四歩
同國同郡同村同大字同字千六百七十九番
保安林段別一段三畝九歩ノ内
一段別二十歩

以上申請人

備中國小田郡陶山村大字押撫字原
國有保安林段別四段一畝五歩ノ内
一段別二畝二十九歩
同國下道郡齒村大字市場字鹽見六百二番
保安林段別六段二畝十九歩ノ内
一段別六畝三歩
同國同郡同村同大字同字六百三番
保安林段別八段二十九歩ノ内
一段別一段六歩
同國同郡同村同大字同字六百二十一番
保安林段別七段一畝二歩ノ内
一段別九畝二十一歩
同國同郡同村同大字同字六百二十二番
保安林段別二町五段二畝十九歩ノ内

所有者	明田	繁松
所有者	井上	與平治
所有者	山田村長	笹木 直治郎
申請人	陶山村長	内山 直三郎
所有者	田村	又太郎
所有者	田村	梅平
所有者	白神	修平

一段別五畝三步
 同國同郡同村同大字同字六百二十三番
 保安林段別一町一段三畝七步ノ内
 一段別五畝二十一步
 同國同郡同村同字高津池北二千二百六十九番
 保安林段別五畝十七步ノ内
 一段別三畝六步
 同國同郡同村同字鳥打二千二百七十一番
 保安林段別八段三畝十三步ノ内
 一段別六畝二步
 同國同郡同村同字安明寺二千二百九十七番
 保安林段別一段九畝十一歩ノ内
 一段別二十七步
 同國同郡同村同字二千二百九十九番
 保安林段別一町一段七畝二十五歩ノ内
 一段別三畝二十五歩
 以上申請者
 同國阿賀郡美敷村大字唐松字皆瀧
 國有保安林段別一町八段四畝十八歩ノ内
 一段別二十五歩
 同國同郡同村同大字字國司

所有者 同 人
 所有者 白神 定吉
 所有者 妹尾 金十郎
 所有者 妹尾 金十郎 守屋 貞次郎
 所有者 小林初右衛門
 所有者 妹尾 金十郎 岡 山 縣

國有保安林段別一段五畝二十五歩ノ内
 一段別十一歩
 以上申請人
 阿賀郡多郡長 大野 好蔭

○遞信省告示第百三十九號
 明治三十年月 遞信省告示第百三十九號電話依託電報發受局名中福岡ノ次ニ左ノ通過加ス
 明治三十二年五月二日
 赤間關 赤間關郵便電信局
 ○遞信省告示第百四十號
 赤間關電話交換局内ニ電話所ヲ置キ西ノ端町電話所ト稱シ本月五日ヨリ電話通信ヲ開始ス
 明治三十二年五月二日
 ○遞信省告示第百四十一號
 帆船三寶丸外三百九十六艘へ左ノ信號符字ヲ附ス
 明治三十二年五月四日
 遞信大臣子爵芳川顯正

信號符字	船免狀番號	船名	種類	定額	港名	主
H S C Q	三二二四 3124	三寶丸 Sanbo Maru.	帆	大	阪磯田	常作
H S C R	三二二五 3125	住吉丸 Sumiyoshi Maru.	帆	長	南門	菊三郎
H S C T	三二二六 3126	福久丸 Fukuisa Maru.	帆	厚	村西	武助
H S C V	三二二七 3127	幸福丸 Kōfuku Maru.	帆	下	田佐	武助
H S C W	三二二八 3128	的矢丸 Matsuya Maru.	帆	周	防村	勇治郎
			帆	東	京市川	喜七

H S D B	三一九三	住	德	丸 Sumitoku Maru.	帆	太周	華防	村國	根本	仁吉
H S D C	三二〇〇	天	敏	丸 Fensha Maru.	帆	太周	華防	村國	橋本	力松
H S D F	三二〇一	神	力	丸 Shinriki Maru.	帆	太周	華防	村國	高松	宇三郎
H S D G	三二〇二	金	榮	丸 Kinrei Maru.	帆	太周	華防	村國	藤田	三五郎
H S D J	三二〇三	全	榮	丸 Zenrei Maru.	帆	太周	華防	村國	橋本	榮松
H S D K	三二〇四	住	福	丸 Sumifuku Maru.	帆	太周	華防	村國	磯金	直平
H S D L	三二〇五	精	榮	丸 Tomotoku Maru.	帆	太周	華防	村國	小林	萬兵衛
H S D M	三二〇六	明	神	丸 Meijin Maru. No. 3.	帆	太周	華防	村國	中宮	虎平
H S D N	三二〇七	賢	惠	丸 Hoye Maru.	帆	太周	華防	村國	濱田	筆助
H S D P	三二〇八	盛	賢	丸 Seiho Maru.	帆	太周	華防	村國	土井	八郎兵衛
H S D Q	三二〇九	貞	一	丸 Teichu Maru.	帆	太周	華防	村國	井尻	靜藏
H S D R	三二一〇	住	榮	丸 Sunyei Maru. No. 2.	帆	太周	華防	村國	關門	德藏
H S D T	三二一一	住	德	丸 Sumitoku Maru.	帆	太周	華防	村國	島後	勘太郎
H S D V	三二一二	幸	德	丸 Kokoku Maru.	帆	太周	華防	村國	赤瀨	文太郎
H S D W	三二一三	明	神	丸 Meijin Maru.	帆	太周	華防	村國	山田	惣左衛門
H S D X	三二一四	新	川	丸 Shinkawa Maru.	帆	太周	華防	村國	友永	元次
H S D Y	三二一五	八	幡	丸 Yawata Maru.	帆	太周	華防	村國	木下	市右衛門
H S D Z	三二一六	住	吉	丸 Suniyoshi Maru.	帆	太周	華防	村國	木下	市右衛門

H S E G	三二四七	船	丸 Matsuru Maru. No. 2.	帆	吉津	前防	港國	田	平治	
H S E J	三二四八	日	吉	丸 Hiyoishi Maru.	帆	吉津	前防	港國	城戸	安平
H S E K	三二四九	金	吉	丸 Kaneyoshi Maru.	帆	吉津	前防	港國	中川	清右衛門
H S E L	三二五〇	住	吉	丸 Suniyoshi Maru.	帆	吉津	前防	港國	本村	龍藏
H S E M	三二五一	金	比	丸 Konpira Maru.	帆	吉津	前防	港國	岩崎	喜助
H S E N	三二五二	太	神	丸 Tashin Maru.	帆	吉津	前防	港國	木下	忠次郎
H S E P	三二五三	神	德	丸 Shimoku Maru.	帆	吉津	前防	港國	澤中	平藏
H S E Q	三二五四	金	吉	丸 Kaneyoshi Maru.	帆	吉津	前防	港國	岡本	金治郎
H S E C	三二五五	船	丸 Sakaki Maru. No. 5.	帆	吉津	前防	港國	中村	佑市	
H S E D	三二五六	永	德	丸 Yetoku Maru.	帆	吉津	前防	港國	三宅	萬吉
H S E F	三二五七	住	吉	丸 Suniyoshi Maru.	帆	吉津	前防	港國	細川	彌作
H S E J	三二五八	榮	賢	丸 Yasei Maru.	帆	吉津	前防	港國	河原	駿太郎
H S E K	三二五九	幸	賢	丸 Kofuku Maru.	帆	吉津	前防	港國	生崎	備作
H S E L	三二六〇	住	賢	丸 Sunsho Maru.	帆	吉津	前防	港國	竹本	隆五郎
H S E M	三二六一	三	虎	丸 Torakame Maru. No. 2.	帆	吉津	前防	港國	利七郎	
H S E N	三二六二	熊	本	丸 Kumamoto Maru.	帆	吉津	前防	港國	三菱	合資會社
H S E P	三二六三	熊	毛	丸 Kumage Maru.	帆	吉津	前防	港國	三菱	合資會社
H S E Q	三二六四	八	代	丸 Yasushiro Maru.	帆	吉津	前防	港國	三菱	合資會社

HSJR	三二八六	3186	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSJT	三二八五	3185	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSJO	三二八四	3184	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSJP	三二八三	3183	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSJN	三二八二	3182	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSJM	三二八一	3181	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSJL	三二八〇	3180	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSJK	三二七九	3179	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSJG	三二七八	3178	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSJE	三二七七	3177	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSJD	三二七六	3176	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSJC	三二七五	3175	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSJB	三二七四	3174	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSJW	三二七三	3173	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSJV	三二七二	3172	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSGR	三二七〇	3170	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎

HSJW	三二八八	3188	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSKB	三二八九	3189	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSKD	三二九〇	3190	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSKF	三二九一	3191	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSKG	三二九二	3192	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSKJ	三二九三	3193	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSKL	三二九四	3194	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSKM	三二九五	3195	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSKN	三二九六	3196	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSKP	三二九七	3197	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSKQ	三二九八	3198	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSKR	三二九九	3199	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSKT	三三〇〇	3200	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSKV	三三〇一	3201	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSKW	三三〇二	3202	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSLB	三三〇三	3203	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSLC	三三〇四	3204	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎
HSLD	三三〇五	3205	住	幸	丸	Sanjū Maru.	帆	和周	防	村	未	庄	次郎

H S L T	三二〇七	神	丸	No. 3	帆	越中	越中	越中
H S L Q	三二〇八	廣	丸	Mantoyo Maru.	帆	津島	津島	津島
H S L J	三二〇九	幸	丸	No. 1	帆	和野	和野	和野
H S L K	三二一〇	日	丸	Hinode Maru.	帆	和野	和野	和野
H S L M	三二一一	住	丸	Sumiyoshi Maru.	帆	和野	和野	和野
H S L N	三二一二	金	丸	Kinfa Maru.	帆	和野	和野	和野
H S L O	三二一三	難	丸	No. 2	汽	大野	大野	大野
H S L R	三二一四	品	丸	Shoto Maru.	帆	和野	和野	和野
H S L T	三二一五	品	丸	No. 1	帆	和野	和野	和野
H S L V	三二一六	品	丸	Nishiki Maru.	帆	和野	和野	和野
H S F W	三二一七	品	丸	Nishiki Maru.	帆	和野	和野	和野
H S M B	三二一八	長	丸	Ohju Maru.	帆	和野	和野	和野
H S M C	三二一九	幸	丸	No. 1	帆	和野	和野	和野
H S M D	三二二〇	松	丸	Shoto Maru.	帆	和野	和野	和野
H S M E	三二二一	松	丸	No. 3	帆	和野	和野	和野
H S M F	三二二二	金	丸	Kaneyoshi Maru.	帆	和野	和野	和野
H S M G	三二二三	金	丸	Kiko Maru.	帆	和野	和野	和野
H S M H	三二二四	安	丸	Kwan-on Maru.	帆	和野	和野	和野
H S M J	三二二五	安	丸	Anshin Maru.	帆	和野	和野	和野
H S M K	三二二六	真	丸	Yusei Maru.	帆	和野	和野	和野

H S M L	三二二七	共	丸	No. 3	帆	神戶	神戶	神戶
H S M N	三二二八	共	丸	No. 5	帆	神戶	神戶	神戶
H S M P	三二二九	幸	丸	No. 1	帆	神戶	神戶	神戶
H S M Q	三二三〇	住	丸	Sumiyoshi Maru.	帆	神戶	神戶	神戶
H S M R	三二三一	瀨	丸	Seiho Maru.	帆	神戶	神戶	神戶
H S M T	三二三二	錦	丸	Kinpo Maru.	帆	神戶	神戶	神戶
H S M V	三二三三	明	丸	Meiho Maru.	帆	神戶	神戶	神戶
H S M W	三二三四	發	丸	Kotobuki Maru.	帆	神戶	神戶	神戶
H S N B	三二三五	宮	丸	Tomi Maru.	帆	神戶	神戶	神戶
H S N C	三二三六	住	丸	Sumiyei Maru.	帆	神戶	神戶	神戶
H S N D	三二三七	平	丸	Heian Maru.	帆	神戶	神戶	神戶
H S N F	三二三八	神	丸	No. 6	帆	神戶	神戶	神戶
H S N G	三二三九	三	丸	Niura Maru.	帆	神戶	神戶	神戶
H S N J	三二四〇	日	丸	Hinouya Maru.	帆	神戶	神戶	神戶
H S N K	三二四一	甲	丸	Koshin Maru.	帆	神戶	神戶	神戶
H S N M	三二四二	松	丸	No. 2	帆	神戶	神戶	神戶
H S N P	三二四三	相	丸	Aiyei Maru.	帆	神戶	神戶	神戶
H S N Q	三二四四	三	丸	Sankō Maru.	帆	神戶	神戶	神戶

H 3 N R	三二四五	3245	盛通丸	No. 2	帆	三土里佐	森岡	百次	
H 3 N T	三二四六	3246	松浦丸	Matsura Maru.	帆	肥前	久前	剛一	
H 3 N V	三二四七	3247	巴丸	Tomoye Maru.	帆	函館	浦	次郎	
H 3 N W	三二四八	3248	榮久丸	Yeharu Maru.	帆	新越中	町	米林甚右衛門	
H 3 P B	三二四九	3249	明治丸	Meiji Maru.	帆	安藝	商船合資會社		
H 3 P C	三二五〇	3250	明治丸	Meiji Maru.	帆	安藝	商船合資會社		
H 3 P D	三二五一	3251	萬榮丸	Manyei Maru.	帆	下河津	鈴木	伊兵衛	
H 3 P E	三二五二	3252	今吉丸	Imayoshi Maru.	帆	川尻	脇谷	徳太郎	
H 3 P G	三二五三	3253	八千代丸	Yachiyo Maru.	帆	淡路	水河	松本平左衛門	
H 3 P J	三二五四	3254	住勢丸	Sunisei Maru.	帆	淡路	島路	高嶺	清吉
H 3 P K	三二五五	3255	住徳丸	Sunichoku Maru.	帆	淡路	島路	高嶺	清吉
H 3 P L	三二五六	3256	妙壽丸	Mijū Maru.	帆	淡路	島路	高嶺	清吉
H 3 P M	三二五七	3257	幸徳丸	Kōoku Maru.	帆	淡路	島路	高嶺	清吉
H 3 P N	三二五八	3258	福榮丸	Fukuyei Maru.	帆	淡路	島路	高嶺	清吉
H 3 P O	三二五九	3259	金尾羅丸	Konpira Maru.	帆	淡路	島路	高嶺	清吉
H 3 P R	三二六〇	3260	小錦丸	Komishiki Maru.	帆	淡路	島路	高嶺	清吉
H 3 P T	三二六一	3261	明榮丸	Meiyei Maru.	帆	淡路	島路	高嶺	清吉
H 3 P V	三二六二	3262	天一丸	Tenichi Maru.	帆	淡路	島路	高嶺	清吉

H 3 P W	三二六三	3263	辨徳丸	Benroku Maru.	帆	富後	桶本	今朝本
H 3 Q B	三二六四	3264	玉盛丸	Gokusei Maru.	帆	日向	後藤	甚吉
H 3 Q C	三二六五	3265	久榮丸	Kuyei Maru.	帆	日向	後藤	甚吉
H 3 Q D	三二六六	3266	西ノ海丸	Nishinoumi Maru.	帆	日向	後藤	甚吉
H 3 Q E	三二六七	3267	幾榮丸	Ikyei Maru.	帆	日向	後藤	甚吉
H 3 Q G	三二六八	3268	壽寶丸	Jūho Maru.	帆	日向	後藤	甚吉
H 3 Q J	三二六九	3269	住徳丸	Sunichoku Maru.	帆	日向	後藤	甚吉
H 3 Q K	三二七〇	3270	濱順丸	Sejūn Maru.	帆	日向	後藤	甚吉
H 3 Q L	三二七一	3271	勢運丸	Seiun Maru.	帆	日向	後藤	甚吉
H 3 Q M	三二七二	3272	雄徳丸	Yūoku Maru.	帆	日向	後藤	甚吉
H 3 Q N	三二七三	3273	伊勢丸	Ise Maru.	帆	日向	後藤	甚吉
H 3 Q P	三二七四	3274	榮昇丸	Yeshō Maru.	帆	日向	後藤	甚吉
H 3 Q R	三二七五	3275	勢榮丸	Shinpei Maru.	帆	日向	後藤	甚吉
H 3 Q T	三二七六	3276	改榮丸	Kaiyei Maru.	帆	日向	後藤	甚吉
H 3 Q V	三二七七	3277	榮壽丸	Yeiū Maru.	帆	日向	後藤	甚吉
H 3 Q W	三二七八	3278	北長丸	Hokushin Maru.	帆	日向	後藤	甚吉
H 3 K B	三二七九	3279	福神丸	Fukujin Maru.	帆	日向	後藤	甚吉
H 3 K C	三二八〇	3280	貫通丸	Kwansei Maru.	帆	日向	後藤	甚吉

H S R D	三二八一	3281	永寶	丸 Yohō Maru.	帆	備前	原市三郎
H S R F	三二八二	3282	明神	丸 Meijin Maru.	帆	備前	西田藤左衛門
H S R G	三二八三	3283	立神	丸 Tatsami Maru.	汽	備前	三菱合資會社
H S R J	三二八四	3284	日向	丸 Hōga Maru.	汽	日向	日向汽船株式會社
H S R K	三二八五	3285	吉川	丸 Yoshikawa Maru.	帆	越中	竹内 隆治
H S R L	三二八六	3286	七高	丸 Shichitoku Maru.	帆	越中	富山商船合資會社
H S R M	三二八七	3287	紅葉	丸 Momiji Maru.	汽	東若	龍太郎
H S R N	三二八八	3288	寅榮	丸 Torayei Maru.	帆	西館	相原 寅之助
H S R P	三二八九	3289	神力	丸 Shinnrikō Maru.	帆	和周	雨降 松次郎
H S R Q	三二九〇	3290	利豐	丸 Rihō Maru.	帆	田前	尾崎 彌太郎
H S R T	三二九一	3291	旭	丸 Asahi Maru.	帆	多度	津島 景山甚右衛門
H S R V	三二九二	3292	住吉	丸 Sumiyoshi Maru.	帆	和周	伊府 久富 祝藏
H S R W	三二九三	3293	三幸	丸 No. 3 Kohi Maru.	帆	長紀	伊府 久富 祝藏
H S T B	三二九四	3294	四幸	丸 No. 4 Kohi Maru.	帆	長紀	伊府 久富 祝藏
H S T C	三二九五	3295	觀寶	丸 Kramiō Maru.	帆	井周	磯村 橋本 實作
H S T D	三二九六	3296	共進	丸 Kishin Maru.	帆	呼肥	子前 野添 久太郎
H S T E	三二九七	3297	昇榮	丸 Shōei Maru.	帆	和周	伊府 久富 祝藏
H S T G	三二九八	3298	住德	丸 Sumitoku Maru.	帆	和周	伊府 久富 祝藏

H S T J	三二九九	3299	宣田	丸 Tōda Maru.	帆	福周	川羽島 伊勢松
H S T K	三三〇〇	3300	山口	丸 Yamaguchi Maru.	帆	小松	志佐 會社
H S T L	三三〇一	3301	天壽	丸 Tenjū Maru.	帆	和周	東後 町 石丸 廣太
H S T M	三三〇二	3302	住福	丸 Sumifuku Maru.	帆	久周	伊府 久富 祝藏
H S T N	三三〇三	3303	三幸	丸 No. 3 Kohi Maru.	帆	和周	伊府 久富 祝藏
H S T P	三三〇四	3304	三社	丸 Sanshō Maru.	帆	安南	磯村 小西 謙之助
H S T Q	三三〇五	3305	周陽	丸 Shūyō Maru.	帆	安南	磯村 中野 周陽
H S T R	三三〇六	3306	周寶	丸 Kubō Maru.	帆	戶周	磯村 林 彌太郎
H S T V	三三〇七	3307	財寶	丸 Zaibō Maru.	帆	井周	磯村 若竹 友治郎
H S T W	三三〇八	3308	妙見	丸 Miken Maru.	帆	二環	磯村 三木 儀造
H S V B	三三〇九	3309	水安	丸 Suian Maru.	帆	加尾	田 水野 安兵衛
H S V C	三三一〇	3310	幸	丸 Saiwai Maru.	帆	美川	賀 邑井 喜長久
H S V D	三三一	3311	大黑	丸 Daikoku Maru.	帆	佐江	三井物產合名會社
H S V J	三三一四	3314	知運	丸 Chūin Maru.	帆	大平	三井物產合名會社
H S V K	三三一五	3315	三運	丸 Sanin Maru.	帆	大平	三井物產合名會社
H S V L	三三一七	3317	住德	丸 Sumitoku Maru.	帆	和周	伊府 久富 祝藏
H S V M	三三一八	3318	三好	丸 Miyoshi Maru.	帆	赤間	關 村山 藤太

HSVP	三三一九三三一九	住吉丸	Sumiyoshi Maru.	帆	久周	中區八郎右衛門
HSVQ	三三二〇三三二〇	寶生丸	Hosei Maru.	帆	下土	龜太郎
HSVR	三三二一三三二一	啓辰丸	Keishin Maru.	帆	伏越	菅野傳右衛門
HSVF	三三二二三三二二	凌洋丸	Riyo Maru.	帆	太周	高松
HSVG	三三二三三三二三	利徳丸	Ritoku Maru.	帆	川波	美馬
HSVT	三三二四三三二四	壽吉丸	Jukichi Maru.	帆	阿波	熊八
HSVW	三三二五三三二五	明神丸	Miojin Maru.	帆	川波	與七
HSVB	三三二六三三二六	福吉丸	Fukuyasu Maru.	帆	太周	初枝
HSWC	三三二七三三二七	福悦丸	Fukuyetsu Maru.	帆	油田	仲治
HSWD	三三二八三三二八	勇福丸	Isami Maru.	帆	柏備	福太郎
HSWF	三三二九三三二九	金福丸	Kinfuku Maru.	帆	西防	友吉
HSWG	三三三〇三三三〇	金福丸	Kinfuku Maru.	帆	西防	武吉
HSWJ	三三三一三三三一	天祐丸	Tenyu Maru.	帆	和周	磯兵衛
HSWK	三三三二三三三二	順吉丸	Junyoshi Maru.	帆	三土	龍太郎
HSWL	三三三三三三三三	明神丸	Miojin Maru.	帆	南佐	八百八
HSWM	三三三四三三三四	明神丸	Miojin Maru.	帆	伊前	源藏
HSWN	三三三五三三三五	住寶丸	Sunsho Maru.	帆	伊前	源藏
HSWP	三三三六三三三六	運生丸	Unsei Maru.	帆	伊前	源藏

HSWQ	三三三六三三三六	寶惠丸	Hoye Maru.	帆	珠周	城治郎
HSWR	三三三七三三三七	明福丸	Mifuku Maru.	帆	珠周	安元傳右衛門
HSWT	三三三八三三三八	有川丸	Arikawa Maru.	汽	函島	藤助
HSWV	三三三九三三三九	寶壽丸	Hoju Maru.	帆	東周	永治郎
HSWC	三三四〇三三四〇	新榮丸	Shinsei Maru.	帆	東周	勘之助
HSWD	三三四一三三四一	運破丸	Unko Maru.	帆	東周	勘之助
HSWF	三三四二三三四二	大祐丸	Daijin Maru.	帆	東周	勘之助
HSWG	三三四三三三四三	福寶丸	Fukuhō Maru.	帆	東周	勘之助
HSWJ	三三四四三三四四	天祐丸	Tenyu Maru.	帆	東周	勘之助
HSWK	三三四五三三四五	幸徳丸	Kokoku Maru.	帆	東周	勘之助
HSWL	三三四六三三四六	長陽丸	Chōyō Maru.	帆	東周	勘之助
HSVM	三三四七三三四七	宿福丸	Sokune Maru.	帆	東周	勘之助
HSVN	三三四八三三四八	金榮丸	Kinsei Maru.	帆	東周	勘之助
HSVP	三三四九三三四九	豐丸	Kutsuwa Maru.	帆	東周	勘之助
HSVQ	三三五〇三三五〇	大國丸	Okuni Maru.	帆	東周	勘之助
HSVR	三三五〇三三五〇	金羅丸	Konpira Maru.	帆	東周	勘之助
HSVT	三三五〇三三五〇	帝國丸	Teikoku Maru.	帆	東周	勘之助
HSVW	三三五〇三三五〇	帝國丸	Teikoku Maru.	帆	東周	勘之助
HSVX	三三五〇三三五〇	帝國丸	Teikoku Maru.	帆	東周	勘之助
HSVY	三三五〇三三五〇	帝國丸	Teikoku Maru.	帆	東周	勘之助

HTBW	三三三三	3333	安	丸	Manho Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTCB	三三三三	3333	萬	丸	Hoju Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTCD	三三三三	3333	天	丸	Tenjin Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTCF	三三三三	3333	日向	丸	Hinga Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTCG	三三三三	3333	春	丸	Kasuga Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTCJ	三三三三	3333	住	丸	Sunshoku Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTCK	三三三三	3333	明	丸	Mitoku Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTCL	三三三三	3333	日	丸	Hiyoshi Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTCM	三三三三	3333	幸	丸	Koun Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTCN	三三三三	3333	靜	丸	Matsuyei Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTCP	三三三三	3333	任	丸	Seitaku Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTCQ	三三三三	3333	若	丸	Sunhise Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTCR	三三三三	3333	金	丸	Kinko Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTCS	三三三三	3333	觀	丸	Hosei Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTCV	三三三三	3333	朝	丸	Kwan-on Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTCW	三三三三	3333	朝	丸	Choko Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTDB	三三三三	3333	朝	丸	Jinbo Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTDC	三三三三	3333	朝	丸	Jinbo Maru.	帆	阿波	新居	今藤

HTDF	三三三三	3333	安	丸	Alaka Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTDG	三三三三	3333	住	丸	Sunshoku Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTDJ	三三三三	3333	竹	丸	Chikujō Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTDK	三三三三	3333	共	丸	Kioyei Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTDL	三三三三	3333	羅	丸	Fukujū Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTDM	三三三三	3333	光	丸	Koun Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTDN	三三三三	3333	龜	丸	Kameishi Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTDP	三三三三	3333	三	丸	Sanke Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTDQ	三三三三	3333	昌	丸	Shoyei Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTDR	三三三三	3333	長	丸	Chokoku Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTDS	三三三三	3333	明	丸	Meiji Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTDV	三三三三	3333	寶	丸	Hosho Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTDW	三三三三	3333	森	丸	Juyei Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTFB	三三三三	3333	松	丸	Matsuyei Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTFC	三三三三	3333	妙	丸	Mioniki Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTFD	三三三三	3333	長	丸	Choyei Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTFG	三三三三	3333	曉	丸	Take Maru.	帆	阿波	新居	今藤
HTFV	三三三三	3333	正	丸	Shomei Maru.	帆	阿波	新居	今藤

HTFK	三三八九	觀音丸	Kwan-on Maru.	帆	由	防	山中	栗吉
HTFL	三三九〇	住	Sumitoku Maru.	帆	肥	前	青木	寅三郎
HTFM	三三九一	三角丸	Mitsumi Maru.	帆	肥	前	橋本	清
HTFN	三三九二	若吉丸	Wakayoshi Maru.	帆	松	茂	久米	萬平
HTFP	三三九三	住	Sampei Maru.	帆	佐	安	住	真五郎
HTFQ	三三九四	住	Samsei Maru.	帆	佐	安	村	伊勢松
HTFR	三三九五	若吉丸	Wakayoshi Maru.	帆	田	野	村	筑後
HTFS	三三九六	金比羅丸	Konpira Maru.	帆	日	野	村	喜四郎
HTFV	三三九七	妙見丸	Mitsken Maru.	帆	安	江	村	安太郎
HTFW	三三九八	藤山丸	Fujiyama Maru.	帆	安	江	村	小田
HTGB	三三九九	久成丸	Kusei Maru.	帆	仁	安	村	細川
HTGC	三四〇〇	長金丸	Chokin Maru.	帆	東	後	村	伊勢太郎
HTGD	三四〇一	運破丸	Unko Maru.	帆	大	平	村	三井物産合名
HTGF	三四〇二	萬力丸	Manriki Maru.	帆	石	見	村	三治郎
HTGJ	三四〇三	明徳丸	Mitoku Maru.	帆	瀧	泉	村	前田
HTGK	三四〇四	吉榮丸	Yoshiye Maru.	帆	致	遠	村	多四郎
HTGL	三四〇五	吉廣丸	Yoshihiro Maru.	帆	加	賀	村	源太郎
HTGM	三四〇六	勢運丸	Seiun Maru.	帆	加	賀	村	源太郎

HTGN	三四〇七	高松丸	Kosho Maru.	帆	國	島	高橋	松太郎
HTGP	三四〇八	大黒丸	Daikoku Maru.	帆	福	島	中居	仙三郎
HTGQ	三四〇九	昇福丸	Shofuku Maru.	帆	豐	井	藤田	市助
HTGR	三四一〇	金龍丸	Kimryu Maru.	帆	小	周	村	山
HTGS	三四一一	蛭子丸	Yebisu Maru.	帆	東	安	村	長尾
HTGV	三四一二	大神丸	Dajin Maru.	帆	佐	安	村	元藏
HTGW	三四一三	共同丸	Kido Maru.	帆	長	備	村	渡邊
HTJB	三四一四	虎一丸	Tomochi Maru.	帆	浦	相	村	白井
HTJC	三四一五	海徳丸	Seitoku Maru.	帆	三	越	村	岡谷
HTJD	三四一六	安醇丸	Ansei Maru.	帆	東	安	村	藤原
HTJF	三四一七	金榮丸	Kindai Maru.	帆	平	周	村	三浦
HTJG	三四一八	新若菜丸	Shinwakayei Maru.	帆	高	伊	村	松田
HTJK	三四一九	大黒丸	Daikoku Maru.	帆	興	居	村	石丸
HTJL	三四二〇	住徳丸	Sumitoku Maru.	帆	伊	保	村	吉岡
HTJM	三四二一	三池丸	Mitake Maru.	帆	大	平	村	三池
HTJN	三四二二	七寶丸	Shichihō Maru.	帆	直	越	村	三池
HTJP	三四二三	幸榮丸	Kōyō Maru.	帆	大	江	村	石炭合資
HTJQ	三四二四	住吉丸	Sumiyoshi Maru.	帆	大	江	村	石炭合資

HTJR	三四五三4235	天神丸	天	津	吉村	後	源
HTJS	三四五六3426	住幸丸	住	幸	中山	防	松
HTJV	三四五七3427	岩吉丸	岩	吉	岩本	防	之助
HTJW	三四五八3428	明徳丸	明	徳	岸本	防	國松
HTKB	三四五九3429	清盛丸	清	盛	今田	防	榮三郎
HTKO	三四六〇3430	金山丸	金	山	井上	防	喜代造
HTKD	三四六一3431	波一丸	波	一	中村	防	市五郎
HTKF	三四六二3432	村元丸	村	元	村元	防	利作
HTKG	三四六三3433	明徳丸	明	徳	山野	防	井喜代造
HTKJ	三四六四3434	妙見丸	妙	見	河野	防	菊次郎
HTKL	三四六五3435	榮福丸	榮	福	河村	防	藤吉
HTKM	三四六六3436	幸吉丸	幸	吉	中山	防	純三
HTKN	三四六七3437	中國丸	中	國	中國	防	石炭株式
HTKP	三四六八3438	鳴門丸	鳴	門	鳴門	防	汽船合資
HTKQ	三四六九3439	龜島丸	龜	島	高治	防	峰太郎
HTKR	三四七〇3440	天社丸	天	社	立花	防	清一
HTKS	三四七一3441	加州丸	加	州	廣海	防	三郎
HTKV	三四七二3442	安徳丸	安	徳	今朝丸	防	愛次郎

HTKW	三四七三3443	曉二末徳丸	曉	二	末	徳	吉村	後	源		
HTLB	三四七四3444	萬良丸	萬	良	安	防	中野	村	望月	儀助	
HTLC	三四七五3445	虎一丸	虎	一	安	防	中野	村	望月	儀助	
HTLD	三四七六3446	天元丸	天	元	大	防	中野	村	望月	儀助	
HTLF	三四七七3447	琴平丸	琴	平	大	防	中野	村	望月	儀助	
HTLG	三四七八3448	金榮丸	金	榮	伊	防	中野	村	望月	儀助	
HTLJ	三四七九3449	福力丸	福	力	伊	防	中野	村	望月	儀助	
HTLK	三四八〇3450	秀吉丸	秀	吉	伊	防	中野	村	望月	儀助	
HTLM	三四八一3451	永吉丸	永	吉	伊	防	中野	村	望月	儀助	
HTLN	三四八二3452	永吉丸	永	吉	伊	防	中野	村	望月	儀助	
HTLP	三四八三3453	萬歳丸	萬	歳	伊	防	中野	村	望月	儀助	
HTLQ	三四八四3454	勇丸	勇	丸	伊	防	中野	村	望月	儀助	
HTLR	三四八五3455	勝友丸	勝	友	伊	防	中野	村	望月	儀助	
HTLS	三四八六3456	八半代丸	八	半	代	伊	防	中野	村	望月	儀助
HTLV	三四八七3457	多盛丸	多	盛	伊	防	中野	村	望月	儀助	
HTLW	三四八八3458	勝二丸	勝	二	伊	防	中野	村	望月	儀助	
HTMB	三四八九3459	貞二丸	貞	二	伊	防	中野	村	望月	儀助	
HTMC	三四九〇3460	丸	丸	伊	防	中野	村	望月	儀助		

H T M D	三四六一三461	貞	丸 Sata Maru.	帆	相模	白井	ミチ	
H T M F	三四六一三462	仲	丸 Chūyēi Maru.	帆	越前	賀茂	石太郎	
H T M G	三四六三三463	吉	丸 Yoshioka Maru.	帆	越前	間瀬	重太郎	
H T M J	三四六四三464	加	丸 Kamo Maru.	帆	川中	網谷	太三郎	
H T M K	三四六五三465	金	丸 Konpira Maru. No. 2.	帆	津	塚本	兼松	
H T M L	三四六六三466	萬	丸 Manyei Maru. No. 2.	帆	肥前	山下	三太郎	
H T M N	三四六七三467	平	丸 Hirayoshi Maru.	帆	神戶	吉田	德太郎	
H T M P	三四六八三468	幸	丸 Kōki Maru. No. 1.	帆	長門	伊東	茂七	
H T M Q	三四六九三469	神	丸 Saizaki Maru. No. 8.	帆	田前	中村	佐市	
H T M R	三四七〇三470	落	丸 Seishō Maru. No. 4.	帆	豐前	吉田	真造	
H T M S	三四七一三471	神	丸 Sakaki Maru.	帆	香取	中村	佐市	
H T M V	三四七二三472	開	丸 Kaisei Maru.	帆	長門	坂本	政七	
H T M W	三四七三三473	金	丸 Kanefuku Maru.	帆	伊豫	山内	雪次郎	
H T M B	三四七四三474	金	丸 Konpira Maru. No. 3.	帆	周防	小島	左衛門	
H T M C	三四七五三475	平	丸 Heian Maru. No. 3.	帆	大	阪	藤本	ヅウ
H T M D	三四七六三476	金	丸 Konpira Maru.	帆	油	田	大元	真吉
H T M E	三四七七三477	春	丸 Kasuga Maru.	帆	大	阪	山口	賀十郎
H T M G	三四七八三478	半	丸 Saitani Maru.	帆	山	前	草刈	武八郎

H T N J	三四七九三479	金	丸 Kinsei Maru.	帆	周	田	官	長五郎
H T N K	三四八〇三480	和	丸 Wagyōei Maru.	帆	魚	津	山下	久之助
H T N L	三四八一三481	大	丸 Daikoku Maru.	帆	川	之	長	文治
H T N M	三四八二3482	平	丸 Hira-o Maru.	帆	周	生	永	勇之進
H T N P	三四八三3483	明	丸 Misoku Maru.	帆	豐	井	秋	彦吉
H T N Q	三四八四3484	嘉	丸 Kafuku Maru.	帆	田	野	播	竹次郎
H T N R	三四八五3485	金	丸 Konpira Maru.	帆	安	野	石	京次郎
H T N S	三四八六3486	政	丸 Seiko Maru.	帆	周	防	弘	為藏
H T N V	三四八七3487	大	丸 Daiyoshi Maru.	帆	佐	安	村	久松
H T N W	三四八八3488	開	丸 Kaikoku Maru.	帆	平	野	房	篤次郎
H T N X	三四八九3489	住	丸 Sumiyei Maru.	帆	安	野	播	榮吉
H T P C	三四九〇3490	金	丸 Kinbō Maru. No. 1.	帆	小	松	川	常藏
H T P D	三四九一3491	明	丸 Miyei Maru.	帆	長	門	田	七五郎
H T P F	三四九二3492	名	丸 Nagoya Maru.	帆	越	後	高	萬治郎
H T P G	三四九三3493	長	丸 Chōkai Maru.	帆	越	中	西	收三
H T P J	三四九四3494	幸	丸 Kōfuku Maru.	帆	伏	木	細	貞次郎
H T P K	三四九五3495	宮	丸 Miyakoku Maru.	帆	安	子	港	半助
H T P L	三四九六3496	大	丸 Daiyēi Maru.	帆	周	保	神	十藏

HTPM	三四九七三	改榮丸	改榮丸 Kaiyō Maru.	帆	越中	魚津町	山下久之助
HTPN	三四九八三	福神丸	福神丸 Fukujin Maru.	帆	安藝	生口村	吉太郎
HTPQ	三四九九三	藤丸	藤丸 Fushime Maru.	帆	相模	賀茂	白井龍三郎
HTPR	三五〇〇三	藤市丸	藤市丸 Nadeshiki Maru.	帆	安藝	中野村	平谷又太郎
HTPS	三五〇一三	飛龍丸	飛龍丸 Hirō Maru.	帆	安藝	中野村	東之助
HTPV	三五〇二三	安全丸	安安全丸 Anzen Maru.	帆	安藝	野村	望月松五郎
HTPW	三五〇三三	福壽丸	福壽丸 Fukujū Maru.	帆	安藝	山口村	小原佐太郎
HTQB	三五〇四三	住榮丸	住榮丸 Sumiyō Maru.	帆	安藝	中野村	菅原佐太郎
HTQC	三五〇五三	秀吉丸	秀吉丸 Hideyoshi Maru.	帆	安藝	中野村	木原菊太郎
HTQD	三五〇六三	喜吉丸	喜吉丸 Kiyoshi Maru.	帆	安藝	中野村	江木主一郎
HTQE	三五〇七三	金福丸	金福丸 Kanefuku Maru.	帆	安藝	中野村	丸尾喜代藏
HTQG	三五〇八三	大徳丸	大徳丸 Daioku Maru.	帆	安藝	中野村	山田宇平
HTQJ	三五〇九三	神鷹丸	神鷹丸 Shinyō Maru.	帆	安藝	中野村	坂本凌吉
HTQK	三五一〇三	神鷹丸	神鷹丸 Shinyō Maru.	帆	安藝	中野村	坂本金彌
HTQL	三五一一三	明神丸	明神丸 Meishin Maru.	帆	安藝	中野村	坂本金彌
HTQM	三五一二三	天社丸	天社丸 Tensha Maru.	帆	安藝	中野村	木村精一
HTQN	三五一三三	海徳丸	海徳丸 Seitoku Maru.	帆	安藝	中野村	樋口都四郎
HTQP	三五一四三	海徳丸	海徳丸 Seitoku Maru.	帆	安藝	中野村	樋口都四郎

○逓信省告示第四百四十二號
 明治三十年月七 逓信省告示第九十九號萬國電信條約附屬細目規則中各國適宜ニ規定スルヲ得ル事
 項ニ關スル外國電信主管局ノ決定中左ノ通改正ス
 明治三十三年五月四日
 逓信大臣子爵芳川顯正

HTQR	三五一五三	八輪丸	八輪丸 Yawata Maru.	帆	阿波	波中川	成三郎
HTQS	三五一六三	急波丸	急波丸 Kishi Maru.	帆	阿波	波中川	由藏
HTQV	三五一七三	新加徳丸	新加徳丸 Shinshōtoku Maru.	帆	阿波	波中川	菅兵衛
HTQW	三五一八三	榮進丸	榮進丸 Eshin Maru.	帆	阿波	波中川	庄屋
HTRB	三五一九三	萬福丸	萬福丸 Manfuku Maru.	帆	阿波	波中川	信太郎
HTRC	三五二〇三	萬福丸	萬福丸 Manfuku Maru.	帆	阿波	波中川	直吉
HTRD	三五二一三	大黒丸	大黒丸 Daikoku Maru.	帆	阿波	波中川	佐太郎
HTRF	三五二二三	長榮丸	長榮丸 Chōei Maru.	帆	阿波	波中川	織末郎
HTRG	三五二三三	萬壽丸	萬壽丸 Manjū Maru.	帆	阿波	波中川	圓太郎
HTRJ	三五二四三	徳富丸	徳富丸 Tokutomi Maru.	帆	阿波	波中川	兵次郎
HTRV	三五二五三	神鷹丸	神鷹丸 Shinyō Maru.	帆	阿波	波中川	五兵衛
HTVQ	三五二六三	鷹翔丸	鷹翔丸 Yōshō Maru.	帆	阿波	波中川	永太郎
HTVR	三五二七三	二見丸	二見丸 Futami Maru.	帆	阿波	波中川	永太郎
HTWM	三五二八三	おきさき丸	おきさき丸 Okinaka Maru.	帆	阿波	波中川	横濱税関

歐洲内外兩方法ニ關スル件「第五郵便ヨリ迅速ナル送達方法（目第五十九條第一節及目第六十條第一節）ノ節此送達方法ヲ設ル
電信主管局ハ左ノ如シ」ノ項「丁抹」ノ部中「其資金ハ」ノ次ニ「一哩ノ四分ノ一毎ニ三十五「オール」五十「サンチム」トス」トア
ルヲ「六十五「オール」九十「サンチム」トス」ト改正ス

○逓信省告示第四百四十二號

明治三十年六月逓信省告示第六百六十六號萬國電信條約附屬細目規則目第八十一條第五節「第一等」ノ
項中「亞爾然」及「共和國」ノ次ニ「埃地利」ヲ「大貌列顛」ノ次ニ「匈牙利」ヲ挿入シ「第二等」ノ項中「埃地利」及
「匈牙利」ヲ削除ス

明治三十二年五月四日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第四百四十四號

明治三十一年九月逓信省告示第二百三十六號本邦ト萬國聯合郵便爲替ヲ交換スル編逸保護國名表中
南亞非利加獨逸領ノ郵便爲替取扱郵便局所在地名「ギベオン」及「オウトヨ」ヲ追加ス
右兩郵便局ハ本月一日以降郵便爲替交換事務ヲ取扱フ

明治三十二年五月四日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第四百四十五號

山口縣下周防國玖珂郡神代村ト同縣同國大島郡蒲野村トノ間ニ設置ノ水底電線浮標修繕中假浮標
ヲ設置ス

明治三十二年五月四日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第四百四十六號

明治三十一年十二月逓信省告示第三百四十二號書留郵便物ノ亡失ニ對シ賠償ノ責ニ任セサル諸國中
南亞非利加共和國及「ヴィクトリア」ヲ削除ス

明治三十二年五月五日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第四百四十七號

明治三十二年二月逓信省告示第四十一號民間製造郵便端書ノ使用ヲ許可スル國名表中第一項ヘ墨西
哥及暹羅ヲ加フ

明治三十二年五月五日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第四百四十八號

豐前國豐津鐵道停車場電信取扱所ノ別使電報配達區域ハ從來一里以內ニ限リタルモ本月十六日ヨ
リ右ノ制限ヲ廢止シ一般ノ例ニ據リ之ヲ取扱フ

明治三十二年五月九日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第四百四十九號

山口縣周防國玖珂郡神代村ト同縣同國大島郡蒲野村トノ間ニ設置ノ水底電線浮標修繕竣工ニ依リ
曩ニ設置シタル假浮標ヲ撤去シ本位置ニ復ス

明治三十二年五月十二日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第四百五十號

本月十五日ヨリ與羽南線福島米澤間運輸營業ヲ開始ス旅客賃金及哩程ハ左記ノ通
但シ小荷物ノ配達ヲ取扱フ

明治三十二年五月十二日

逓信大臣子爵芳川顯正

哩程

福島ヨリ鹿坂マア	四哩二十五級	峠ヨリ關根マア	六哩四十九級
鹿坂ヨリ板谷マア	八哩七十八級	關根ヨリ米澤マア	三哩二十三級
板谷ヨリ時マア	二哩八級		

明治三十三年五月... 逓信省告示第五十一號

旅客賃金

區	庭	坂	板	谷	關	根	米
	二十一錢	二	三十五錢	二	五十八錢	二	六十七錢
庭	三六	三	二十錢	三	三十三錢	三	三十八錢
	二	二十五錢	二	四十七錢	二	五十四錢	
坂	三	二十四錢	三	二十七錢	三	三十一錢	
	二	二十三錢	二	三十二錢			
板	三	十三錢	三	十八錢			
	二	九錢					
谷	三	五錢					
	二						
關	三						
	二						
根	三						
	二						
米	三						
	二						

陸ニ於テハ旅客及貨物ノ取扱ヲ爲サス

○逓信省告示第五十一號

明治三十三年四月逓信省告示第六十八號中「電信柱トアルヲ電柱ト改メ同書式左ノ通改正ス」
 明治三十三年五月十三日 逓信大臣子爵芳川顯正

請求書 (債主自ラ請求スルトキノ例)
 明治何年度分電柱敷地手當

金、何、程 電信柱本支柱何本分
 右交付相成度候也

住所 姓 名 印

北海道廳長官
 府縣知事宛

請求書 (債主二人以上ノ分ヲ代理請求スルトキノ例)
 明治何年度分電柱敷地手當

金、何、程 電信柱本支柱何本分
 右交付相成度候也

債主	住	所	本支柱本數	金	額

金、何、程 電信柱本支柱何本分

債主	住	所	本支柱本數	金	額

右交付相成度候也

明治三十三年五月... 逓信省告示第五十一號

北海道廳長官宛
府縣知事宛

何某何人代人
住所
姓 名印

〔參照〕

逓信省告示第六十八號(明治二十三年四月四日)抄録
民有地ニ建設セル電信柱敷地手當金請求方ハ自今前年四月ヨリ次年三月マテノ分ハ其年七月三十一日マテニ交付候條該敷地手當金ヲ受領ス(キ者ハ左ノ書式ニ據リ其年四月五日迄ニ管轄地方廳ヘ交付方申出ツヘシ但受領者ハ最寄協議ノ上便宜代理人ヲ定メ交付方申出ツルモ妨ケナシ

○逓信省告示第五十二號

本月十五日ヨリ羽前國南置賜郡大澤郵便局ヲ同國同郡山上村大字關根ニ移轉シ關根郵便局ト改稱ス

○逓信省告示第五十三號

明治三十三年五月十三日 逓信大臣子爵芳川顯正

來六月一日ヨリ下野國上都賀郡日光町大字日光ノ内字中宮祠ニ電信取扱所ヲ置キ中宮祠電信取扱所ト稱シ左項ニ據リ電信取扱ヲ開始ス

明治三十三年五月十五日

逓信大臣子爵芳川顯正

一 電報受付時限ハ二十二年十月 逓信省告示第二百十四號ニ據ル
但至急電報ニ限り晝夜ノ別ナク受付發送ス

○逓信省告示第五十四號

一 著信電報ハ日光町大字日光ノ内字中宮祠及入湯本ニ宛タルモノノ外之ヲ取扱ハス
廣島縣下備後國御調郡布刈瀬戸瀬暗礁除却工事中同瀬ノ北方へ本年六月一日ヨリ浮標一箇ヲ

碇置ス

明治三十三年五月十五日

逓信大臣子爵芳川顯正

一 該浮標ハ鐵造圓錐形ニシテ紅黑橫線ニ塗リ頭部ニ紅色ノ籠球ヲ冠ス

一 該浮標ノ位置ハ長太夫挂燈立標ヨリ北五十度東(真方位)ニ方リ其距離約三鏈半ナリ

○逓信省告示第五十五號

明治二十九年十月 逓信省告示第九十九號英國經由諸外國行小包郵便物料金表中左ノ通改正ス

明治三十三年五月十六日

逓信大臣子爵芳川顯正

地 名	小包	各 箇	料 金	小包各箇
ヤマト(Baranada)	100分	20分	30分	30分

○逓信省告示第五十六號

明治三十年六月 逓信省告示第六十六號萬國電信條約附屬網目規則及稅表中左ノ通改正ス

明治三十三年五月十八日

逓信大臣子爵芳川顯正

目第二十八條第四節中西班牙ノ部「ニベセタ」四三「サンチモ」トアルヲ「ニベセタ」九「サンチモ」ト改ム
B號稅表日耳曼ノ部「第二他ノ諸通信」ノ稅額ニ附シタル「米」印ノ印中「此料金ハ東亞弗利加ノ日耳曼領土」ノ次ニ「西南亞弗利加ノ日耳曼領土」ヲ挿入ス

○逓信省告示第五十七號

來六月一日ヨリ大隅國大島郡古仁屋郵便局ヲ三等郵便電信局トシ古仁屋郵便電信局ト改稱ス

明治三十三年五月二十二日

逓信大臣子爵芳川顯正

○逓信省告示第五十八號

大隅國大島郡古仁屋郵便電信局ニ於テハ歐文電報及歐字又ハ亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報

ノ取扱ヲ爲サス

明治三十三年五月二十五日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第百五十九號

來六月一日ヨリ安房國安房郡布良海岸望樓電信取扱所ニ於テ左項ニ據リ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス
但萬國電信條約ニ據リ取扱フヘキ電報及歐字又ハ亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ之ヲ取
扱ハス

明治三十三年五月二十九日

遞信大臣子爵芳川顯正

一電報受付時限ハ三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後八時マテ十一月一日ヨリ翌年
二月末日マテ午前七時ヨリ午後八時マテ
但至急電報ニ限リ晝夜ノ別ナク受付發送ス

一電報直配達區域ハ取扱所ヨリ一里以內

一木取扱所ニ於テハ別使配達及舁船配達ヲ取扱フ

○遞信省告示第百六十號

一日本形船勢幸丸 八百九十六石

右ハ愛知縣名古屋市木挽町九十五番戸川本喜兵衛所有ニシテ土田春藏外九名乘組ニ明治三十三年
二月十五日品川出帆愛知縣名古屋市へ向ケ航海中踪跡ヲ失ヒタル旨届出タルニ依リ其所在發見候
モノハ速ニ駕船廳ニ申出ツヘシ

明治三十三年五月三十一日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第百六十一號

福岡縣下豐前國金救郡白洲燈臺改築工事中本燈臺ヨリ西南方距離四間半ノ所ニ假燈竿ヲ建設シ不
動紅色ノ燈明ヲ設ケ本年六月十五日以後毎夜點火ス
但同日ヨリ本燈明ヲ停止ス

明治三十三年五月三十一日

遞信大臣子爵芳川顯正

一該燈竿ハ米造白色ニ塗リ基礎ヨリ燈火マテ高さ二丈八尺ナリ

一該燈火ハ真方位西ヨリ南マテ三百七十度間ヲ照輝ス

但右方位ハ海上ヨリ燈竿ニ向テ測定ス

一該燈火ハ水面ヨリ高さ三丈ニシテ其光達距離ハ晴天ノ夜六海里ナリ

○臺灣總督府告示第四十號 (官報五月二日)

明治三十三年四月二十一日ヨリ左ノ郵便電信局出張所ニ於テ郵便爲替及郵便貯金ノ事務ヲ取扱ハ
シム

明治三十三年四月十五日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第四十一號 (官報五月二日)

一同

鳳山郵便電信局 萬丹出張所

潮州庄出張所

汽船東雲號 左ノ信號符ヲ附ス

明治三十三年四月十五日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

信號符	船籍番號	船名	種類	船籍港	主
KBCV	14	東雲號	汽船	安平	秋關
		Shinonomego	汽船	安平	秋關

○臺灣總督府告示第四十二號 (官報五月二日)

臺灣總督府醫學校位置左ノ通相定ム

明治三十三年四月十六日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

臺北縣

○臺灣總督府告示第四十三號 (官報五月二日)

明治三十三年二月告示第二十一號中左ノ通追加ス

明治三十三年四月十八日

出版圖書拂下定價

一日臺小字典

完

定價金一圓五十錢

一 臺灣總督府公用文例

全

同金十錢

臺灣總督男爵兒玉源太郎

【參照】

明治三十三年四月十八日 臺灣總督府告示第二十二號 臺灣總督府民政部學務課出版圖書拂下定價ナリ

○臺灣總督府告示第四十四號

郵便爲替ヲ取扱ハサル郵便及電信局ノ出張所ハ代金引換小包郵便物ノ取扱ヲ爲サス

明治三十三年四月十八日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第四十五號 (官報五月二日)

明治三十一年六月告示第三十五號別冊臺灣福州經過海外電報料金表第一表亞非利加地方ノ部中「マソエ」及「マチ」ノ二項ヲ削除シ「英吉利南亞非利加會社所屬ノ電信局」ノ項ヲ左ノ通改正ス

明治三十三年四月十九日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

英吉利南亞非利加會社所屬ノ電信局 (British South African Company's Stations)

南アフリカ (Southern Rhodesia)

英領中央亞非利加 (British Central Africa)

ニヤッサランド (Nyasaland)

1110-PRIO

1110-PRIO

1110-PRIO

1110-PRIO

1110-PRIO

1110-PRIO

1110-PRIO

1110-PRIO

1110-PRIO

1110-PRIO

1110-PRIO

1110-PRIO

1110-PRIO

1110-PRIO

1110-PRIO

1110-PRIO

1110-PRIO

1110-PRIO

○臺灣總督府告示第四十七號 (官報五月二十日)

明治三十三年四月十七日 覆審法院廳告示ヲ臺北縣臺北城內文武廟西鄰ニ移ス

明治三十三年四月二十日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第四十八號 (官報五月二日)

明治三十三年五月十一日 ヨリ臺中縣他里霧郵便局ヲ二等郵便電信局トシ他里霧郵便電信局ト改稱ス

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第四十九號 (官報五月八日)

明治三十三年律令第七號臺灣食鹽專賣規則第四條ニ依リ本島產食鹽賠償金額左ノ通相定ム

臺灣總督男爵兒玉源太郎

明治三十三年四月二十七日

新竹鹽務局管轄内 百斤ニ付 上等金二十八錢 下等金二十五錢

布袋嘴鹽務局管轄内 百斤ニ付 上等金十二錢八厘 下等金十一錢四厘

北門嶼鹽務局管轄内 百斤ニ付 上等金十二錢八厘 下等金十一錢四厘

臺南鹽務局管轄内 百斤ニ付 上等金十二錢八厘 下等金十一錢四厘

打狗鹽務局管轄内 百斤ニ付 上等金十二錢八厘 下等金十一錢四厘

○臺灣總督府告示第五十號 (官報五月八日)

明治三十三年律令第七號臺灣食鹽專賣規則第二條ニ依リ食鹽買捌定價左ノ通相定ム

臺灣總督男爵兒玉源太郎

明治三十三年四月二十七日

等級	地	城	百斤ニ付定價
一等	埔里社辦務管内		金二圓六十六錢六厘
二等	斗六辦務店仔口、打貓臺中、南投、恆春、羅東、宜蘭辦務及鹿港、水碇港管内		金二圓二十六錢七厘
三等	大甲、鹿港、梧棲、彰化、北斗、三角、倒風尾、旗仔園、水返脚、蔴豆、員林、北新、新埔、頂寮、溪尾、苗栗辦務署及澎湖辦務管内		金二圓九十六錢六厘
四等	臺南、大港、同安、潮州、東港、旗仔園、北港、麻豆、水港、鳳山、蕃薯寮及阿猴辦務管内		金二圓七十六錢七厘

○臺灣總督府告示第五十一號 (官報 五月八日)
明治三十三年五月一日ヨリ左記地方ノ土地調査ニ著手ス

臺灣總督府爵兒玉源太郎

臺北縣 海山堡直隸堡桃澗堡芝蘭三堡
八里坌堡基隆堡金包里堡三貂堡
大加蚋堡芝蘭二堡芝蘭二堡

○臺灣總督府告示第五十三號 (官報 五月十二日)

明治三十三年律令第七號臺灣食鹽專賣規則第四條ニ依リ輸入外國產食鹽賠償金額左ノ通相定ム

明治三十三年五月二日 臺灣總督府爵兒玉源太郎

輸入外國產食鹽 百斤ニ付金四十錢

臺灣總督府告示第五十三號 (官報 五月十六日)
臺灣獸疫豫防規則ニ依リ撲殺シタル獸類ニ對シ手當金ヲ下付スヘキモノト認ムルトキハ左ノ標準額ニ依ル

明治三十三年五月六日

臺灣總督府爵兒玉源太郎

一牛 一頭ニ付金十圓以內

一羊 一頭ニ付金一圓以內

一馬 一頭ニ付金十二圓以內

一豕 一頭ニ付金三圓以內

○臺灣總督府告示第五十四號 (官報 五月二十三日)

汽船福生ハ左ノ信號符字ヲ點附ス

明治三十三年五月七日 臺灣總督府爵兒玉源太郎

信號符字	船籍證書番號	船名	種類	船籍港	船主
KBCW	二五	福生 Fushsei	汽	臺北	大稻埕
			大	稻	埕
			汽	北	文

○臺灣總督府告示第五十五號 (官報 五月二十三日)

明治三十三年五月十六日ヨリ臺北縣臺北府前街一丁目ニ郵便受取所ヲ設置シ臺北府前街郵便受取所ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム

明治三十三年五月十三日

臺灣總督府爵兒玉源太郎

○臨時博覽會事務局告示第十六號

今般臨時博覽會事務局出張所ヲ佛國巴里市ボンノ街第百二十九號 (129, Rue de la Pompe, Paris)ニ開設セリ

明治三十三年五月五日

臨時博覽會總裁會禰荒助

○外務省告示第八號
明治三十一年外務省告示第十五號帝國及埃地利洪牙利國通商航海條約及追加條約實施期日協定ノ
件ニ關シ兩國政府間ニ左ノ通公文ノ往復アリタリ

明治三十二年六月十五日

外務大臣子爵青木周藏

在埃高平公使ヨリノ往來

下ニ記名スル日本國皇帝陛下ノ特命全權公使ハ本國政府ノ訓令ニ基キ既ニ去ル七月十七日附ヲ以
テ埃地利洪牙利國外務省ニ通告シタルカ如ク埃地利洪牙利國政府ニ於テ日、埃新條約ヲ來ル千八
百九十九年七月十七日ヨリ實施スルコトニ關シ異議ナカラシメテ希望ス

日本國國定稅則及埃地利洪牙利國ト締結シタル追加條約ニ付テハ日本帝國政府ハ日、埃新條約附
屬議定書ノ第四項ニ規定シタル如ク他ノ諸外國ト締結シタル協定稅則ヲ實施シ且之ヲ埃地利洪牙
利國ノ產物ニ適用スル日即チ千八百九十九年一月一日ヨリ之ヲ實施センコトヲ提議ス

日本帝國政府ハ埃地利洪牙利國ニ於テ本通告ヲ了承セラレ新條約、追加條約及國定稅則ヲ前記ノ
時日ヨリ實施スルコトヲ承諾アランコトヲ希望ス下名ハ此機ニ附シ伯爵ゴルホウスキ閣下ニ向
テ重テ敬意ヲ表シ候敬具

千八百九十八年八月十七日維也納ニ於テ

高平小五郎

埃地利洪牙利國宮内大臣兼外務大臣伯爵アゲノル、ゴルホウスキ閣下

右ニ關スル埃國外務大臣ヨリノ來柬

下ニ記名スル埃地利洪牙利國宮内大臣兼外務大臣ハ本月十七日附日本國特命全權公使ノ公文ヲ領
收シ埃地利洪牙利國政府ハ埃地利洪牙利國ト日本國トノ間ニ締結シタル通商航海新條約ヲ千八百
九十九年七月十七日ヨリ實施スルコトニ關シテモ亦日本國ノ新國定稅則及埃地利洪牙利國ト日本

國トノ間ニ締結シタル追加條約ヲ千八百九十九年一月一日ヨリ實施スルコトニ關シテモ異議ナキコトヲ茲ニ回答ス

千八百九十九年一月一日ヨリ實施スルヘキ日本國ト他ノ諸締盟國トノ間ニ約定シタル協定稅則ハ前記條約附屬ノ議定書第四項ノ規定ニ基キ埃地利洪牙利國ノ產物ニモ亦之ヲ適用シ又千八百九十九年七月十七日後ニ至ルモ他ノ諸締盟國中ノ一國ノ爲メニ日本國ニ於ケル領事裁判權ヲ保護スル場合ニハ右裁判權ノ繼續スル間ハ千八百六十九年十月十八日埃地利洪牙利國ト日本國トノ間ニ締結シタル修好通商航海條約モ亦有效ナルヘキモノトス

下名ハ此條ニ附シ高平小五郎閣下ニ向テ重テ敬意ヲ表シ候敬具

千八百九十八年八月十七日維也納ニ於テ

日本國特命全權公使高平小五郎閣下

右ニ關スル在埃高平公使ヨリノ往來

ゴルホウスキ

下ニ記名スル日本國皇帝陛下ノ特命全權公使ハ日本國ト埃地利洪牙利國トノ間ニ締結シタル新條約及追加條約並ニ日本國國定稅則實施ノ件ニ關スル埃地利洪牙利國宮内大臣兼外務大臣閣下ソ本月十七日附第 41908 號公文ヲ領收シ日本帝國政府ノ名ヲ以テ右公文中ノ主旨タル通告ノ件ヲ了承シタルコトヲ茲ニ回報ス下名ハ此條ニ附シ伯爵ゴルホウスキ閣下ニ向テ重テ敬意ヲ表シ候敬具

千八百九十八年八月十七日維也納ニ於テ

埃地利洪牙利國宮内大臣兼外務大臣伯爵ゴルホウスキ閣下

高平小五郎

○内務省告示第六十二號

新聞紙ニ關スル屆書式左ノ通り之ヲ定ム

明治三十三年六月二日

内務大臣侯爵西郷從道

第一書式 新聞紙發行屆

- 一 新聞紙又ハ雜誌ノ題號
- 一 記載ノ種類
- 一 發行ノ時期
- 一 發行所ノ所在及其名稱
- 一 印刷所ノ所在及其名稱
- 一 編輯人ノ氏名、年齢及其原籍並ニ居住ノ地
- 一 印刷人ノ氏名、年齢及其原籍並ニ居住ノ地
- 一 右ハ新聞紙條例ヲ遵守シ年月日ヨリ發行致候ニ付保證金何圓(發行ノハ公債證券及ハ國立ノ管轄處ニ納置候間此段御届申上候也)
- 一 右ハ新聞紙條例ヲ遵守シ年月日ヨリ發行致候間此段御届申上候也

發行人 氏 名 印

編輯人 氏 名 印

印刷人 氏 名 印

第二書式 新聞紙改題屆

- 一 現在ノ題號
- 一 變更ノ題號
- 一 右年月日ヨリ改題候間此段御届申上候也

發行人 氏 名 印

第三書式 何新聞紙記載ノ種類變更屆

一 現在ノ記載ノ種類

一 變更ノ記載ノ種類

一 右年月日ヨリ改題候間此段御届申上候也

一變更ノ記載ノ種類
右年月日ヨリ變更致候間此段御届申上候也
(金ヲ取テモスルノ發行ノサトモ)ヲ變更シテ保
右年月日ヨリ變更致候ニ付保證金何圓(若クハ左ノ如シ)
年月日
管轄廳(納置候間此段御届申上候也)

第四書式(甲) 內務大臣宛
何新聞紙發行人變更届

現在發行人
原籍及居住ノ地
氏 名
新發行人
氏 名
現在發行人
氏 名
新發行人
氏 名
年 齡

同 (乙) 內務大臣宛
何新聞紙發行人變更届

右舊發行人何年月日死去(法律上資格ヲ失ヒ候ニ付(何種假發行人ノ名義ヲ以テ引續發行致居リ候處)年月日ヨリ右之通り變更致候間此段御届申上候也
舊發行人
原籍及居住ノ地
氏 名
新發行人
氏 名
年 齡

第五書式 內務大臣宛
何新聞紙編輯人(印刷人)變更届

右之通り年月日ヨリ變更致候間此段御届申上候也
年月日
舊編輯人(舊印刷人)
原籍及居住ノ地
氏 名
新編輯人(新印刷人)
氏 名
年 齡

第六書式 內務大臣宛
何新聞紙發行時期變更届

一舊發行ノ時期
一新發行ノ時期
右之通り年月日ヨリ變更致候間此段御届申上候也
年月日
發行人
氏 名
年 齡

第七書式 內務大臣宛
何新聞紙發行所(印刷所)變更届

一舊發行所(舊印刷所)
一舊發行所(舊印刷所)
處在及名稱

明治三十二年六月 告示 内務省第六十三號 第六十四號 第六十五號 第六十六號

一新發行所(新印刷所) 處在及名稱
右之通り年月日ヨリ變更致候間此段御届申上候也
年月日

内務大臣宛

發行人 氏 名印

○内務省告示第六十三號

一 雜柳の友 宮城縣栗原郡若柳町佐藤榮之助發行
右出版物ハ第五號記載ノ事項出版法第二條ノ範圍外ニ涉ルモノト認ムルヲ以テ自今出版法ニ依リ
出版スルコトヲ差止ム

明治三十二年六月二日

内務大臣侯爵西郷從道

○内務省告示第六十四號

一 ぶん句 全二枚 岐阜縣多摩郡西岩道四十八番月沼井清五郎發行
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁シ且ツ其ノ刻板及印木ヲ差押フ
ヘキ旨ヲ達セリ

明治三十二年六月三日

内務大臣侯爵西郷從道

○内務省告示第六十五號

一 青年日本 牛込區北山伏町三十四番地別府政治發行
右出版物ハ第五號記載ノ事項出版法第二條ノ範圍外ニ涉ルモノト認ムルヲ以テ自今出版法ニ據リ
出版スルコトヲ差止ム

明治三十二年六月五日

内務大臣侯爵西郷從道

○内務省告示第六十六號

一 志んどんの歌 一冊 富山縣上新川郡熊ノ村大字下熊ノ村五百四十八番子宮越安平發行
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁シ且ツ其ノ刻板及印木ヲ差押フ

キ旨達セリ

明治三十二年六月十日

内務大臣侯爵西郷從道

○内務省告示第六十七號

明治三十一年内務省告示第九十二號明治三十年十二月三十一日市町村現住人口調中左ノ通更正ス

明治三十二年六月十六日

内務大臣侯爵西郷從道

鹿兒島縣

上伊集院 郡山

○内務省告示第六十八號

郡市ノ區域ニ依ラサル警察署管轄區域表中高知縣ノ部高知警察署ノ次ニ左ノ通追加シ明治三十一年七月一日ヨリ施行ス

明治三十二年六月十六日

内務大臣侯爵西郷從道

署 名	管轄區域
高知水上警察署	縣下水上全部

○内務省告示第六十九號

本年法律第六十四號府縣制第四百四十五條本年法律第六十五號郡制第二百二十七條直接稅ノ種類左ノ如シ

明治三十二年六月十九日

内務大臣侯爵西郷從道

國 稅 所得稅 營業稅

府縣稅 戶數割 家屋稅 營業稅

地租 所得稅 營業稅

地租割 戶數割 家屋稅 營業稅

明治三十二年六月 告示 内務省第六十七號 第六十八號 第六十九號

三五三

○内務省告示第七十號

地方官官制第三條但書ニ依リ參事官二人ヲ置ク縣ヲ指定スル左ノ如シ

神奈川縣

兵庫縣

長崎縣

明治三十二年六月二十二日

○内務省告示第七十一號

明治三十年法律第二十九號砂防法第二條ニ依リ砂防設備ヲ要スル土地左ノ通指定ス

明治三十二年六月二十六日

内務大臣侯爵西郷從道

大阪府

郡名	町村名	大字	名	字	
島	島本村	尺	代笹山	川向井	
		大	澤二釜	京谷	
	磐手村	櫻	井龍王石	甲蔵	一ヶ谷
		成	西岩尾	大谷	皿谷
		成	奥岩谷	北谷	甲蔵
	五領村	上	萩之庄	丸尾	尾越
		上	萩之庄	丸尾	尾越
		上	萩之庄	丸尾	尾越
		上	萩之庄	丸尾	尾越
	清溪村	泉	ヲガ山	五百住	中山
保		廣田	見田	千本	

郡名	町村名	大字	名	字	
豊	豊川村	粟	小流	黒谷	
		倉	垣	東谷	
	歌垣村	杉	原	奥山	垣谷
		上	杉	コケナシ	小畑豆
	枳根莊村	山	邊	奥山	水木谷
		宿	野	北山	水品谷
	西郷村	地	渡所	大谷	黒路
		地	妙見臺	槻ヶ原	北山
		野	中	シイ谷	犬子ヶ谷
		野	間	大原	中ヶ谷
東郷村	野	間	大原	中ヶ谷	
	野	間	大原	中ヶ谷	
東能勢村	野	間	城山	島阪山	
	野	間	城山	島阪山	
細河村	吉	田	東山	寺ノ谷	
	吉	田	東山	寺ノ谷	
小曾根村	寺	内	堂ノ原	坐頭原	
	寺	内	堂ノ原	坐頭原	
荳野村	芝	丸	猪ノ阪	外院	
	芝	丸	猪ノ阪	外院	
北泉	上	神谷	豊	鉢ヶ原	
	上	神谷	豊	鉢ヶ原	
東島取村	山	自然	田	小川	
	山	自然	田	小川	

南				南				泉					
駒ヶ谷村	飛鳥	大谷	大井	東葛城村	熊取村	大土村	西葛城村	北信達村	東信達村	金熊寺	桑如	井岡山場谷西原	野邊
新池 新谷 新田 新山 新川 新池 新谷 新田 新山 新川	新池 新谷 新田 新山 新川	新池 新谷 新田 新山 新川	新池 新谷 新田 新山 新川	新池 新谷 新田 新山 新川	新池 新谷 新田 新山 新川	新池 新谷 新田 新山 新川	新池 新谷 新田 新山 新川	新池 新谷 新田 新山 新川	新池 新谷 新田 新山 新川	新池 新谷 新田 新山 新川	新池 新谷 新田 新山 新川	新池 新谷 新田 新山 新川	新池 新谷 新田 新山 新川

河				高向村				古市村				玉手村			
白木村	石川村	高向村	高向村	高向村	高向村	高向村	高向村	古市村	古市村	古市村	古市村	玉手村	玉手村	玉手村	玉手村
平加寺山	加納山	日野	高向	高向	高向	高向	高向	古市	古市	古市	古市	玉手	玉手	玉手	玉手
尾尻	八王	尾尻	八王	尾尻	八王	尾尻	八王	尾尻	八王	尾尻	八王	尾尻	八王	尾尻	八王

○内務省告示第七十二號
郡市ノ區域ニ依ラサル警察署管轄區域表中神奈川縣ノ部山手本町警察署ノ次左ノ通追加シ明治三十二年八月一日ヨリ施行ス

内	田原村	下田原	天神山 長尾谷 時ヶ谷 辰巳山	角向 高尾 カリマタ 御所山	角山 鎌ヶ谷 大町 辰巳谷	奥峯 カマガタニ 寺地ヶ谷 四郎助	巽谷 鎌谷 死人川 池ノ谷	穴虫 タンコイシ 二重阪	アナムシ カタハラ 岩尾
鎌田 スガマ 西峯 御所山 御光岩 丑ノ岩 石ヶ谷 五ヶ谷 長谷 長谷影 雨池 牛ヶ谷 市後畑 宇ノ山 マカイ谷 間ノ木 成石 由シ谷 大阪峯 美ノ里	日ノ名 若宮 嵐川原 市ノ谷 ウシノ岩 瓦原谷 長谷 柿木畑 土ヶ池 峠口 丸石 持ヶ原 白石 廣堂 傍所川 狸山 山野神 四反田 美濃武 地獄谷	大谷 平ノ 南山 段合田 石ヶ谷 四ッ川 河原谷 實平 堂野 杉屋谷 クツカケ 山神 紙掛 美ノ谷 傍所川 鎌谷 六兵衛谷 石尾谷 美ノ尾 小松阪	北平ノ 龍寺 石磯 或ス 金掛 牛ノ木谷 長尾 堂尾 吉谷 町口 イバラ谷 山ノ神 鎌谷 古茶屋 笹谷 美ノ谷口 深谷 丑岩 障子谷 狐谷 岩谷	石取 奥ノ谷 長巳谷 箕石 大原 荒田 實ニ畑 野山口 トシテンハ 谷吉谷 大津八 北市ノ谷 天神溝 天ノ神 茨谷 美ノ谷口 深谷 丑岩 障子谷 狐谷 岩谷	高崎 岡山 成竹 小溜 不動岩 白馬谷 不動谷 馬ヶ谷 行分 馬ヶ谷 瓦ヶ谷 長谷川カケ 新池 北由谷 雀川原 寒谷 六平谷 一ノ谷 見ノ木 天池 柿ノ木畑 瀬ノ上 横峯 島ヶ谷				

十二年八月一日ヨリ施行ス
明治三十二年六月二十八日

内務大臣侯爵西郷從道

府縣	署名	管轄區域
横濱水上警察署	横濱港灣横濱市及其隣接河川一圓	

○内務省告示第七十三號
著作権ニ關スル登録簿ハ左ノ日時ニ於テ閲覧セシムルモノトス
一 毎水曜日 午前十時ヨリ午後三時迄
明治三十二年六月二十八日

内務大臣侯爵西郷從道

○大藏省告示第三十二號
明治三十二年七月一日ヨリ同年九月三十日マテ税關ニ於テ外國貨幣ノ換算ニ適用スル内外貨幣比較表左ノ通之ヲ定ム
但本表所掲ノ外國貨幣ト日本金貨トノ比較ハ従前ノ通
明治三十二年六月一日

大藏大臣伯爵松方正義

内外貨幣比較表

英領印度	露西亞	清國	墨西哥	外國貨幣	日本金貨
一ルピー	一ルーブル	上海一兩 天津一兩	一ドル		六五二 一〇六七 三三九二 三三九二 九九七

○大藏省告示第三十三號

函館稅務管理局ヲ本月五日ヨリ渡島國函館區大町

三十三番地へ移ス

明治三十二年六月二日

大藏大臣伯耆松方正義

○大藏省告示第三十四號

第二回發行

一記名軍事公債證書額面五拾圓券

一枚

流號

七九九〇番

右廣島縣佐伯郡河内村大字上小深川四十八番屋敷栗田伊右衛門所有ノ處明治三十二年一月一日自

宅出火ノ際消滅セシ趣ヲ以テ代リ證書請求ニ付整理公債條例第二十條ニ據リ代リ證書ヲ交付セリ

但消滅シタル證書ハ無効トス

明治三十二年六月十日

大藏大臣伯耆松方正義

○大藏省告示第三十五號

第二回發行

一記名軍事公債證書額面百圓券

一枚

流號

四七四〇番

但明治三十年十二月渡以隆利札附屬

右福岡縣山門郡川北村大字木元二百四十六番地木下福松所有ノ處明治三十年十二月二十二日燒

失

同上

一記名軍事公債證書額面百圓券 一枚

流號

六壹四七壹番

但明治三十二年六月渡以隆利札附屬

右福岡縣糟屋郡立花村大字野四百四十八番地笠井與三郎所有ノ處明治三十二年五月一日燒失

以上消滅ノ趣ヲ以テ代リ證書請求ニ付整理公債條例第二十條ニ據リ代リ證書ヲ交付セリ但消滅シ

タル證書ハ無効トス

明治三十二年六月十二日

大藏大臣伯耆松方正義

○大藏省告示第三十六號

本月十八日佐賀本金庫所屬武雄支金庫ヲ杵島郡武雄村大字武雄又へ移ス

明治三十二年六月十六日

大藏大臣伯耆松方正義

○大藏省告示第三十七號

廣島稅務管理局ヲ本月十五日廣島市大手町七丁目七十四番邸へ移ス

明治三十二年六月十七日

大藏大臣伯耆松方正義

○大藏省告示第三十八號

二十九年第三回發行

一無記名軍事公債證書

二枚

內

百圓券 流號

貳四六七〇番

五拾圓券 同號

七參八五七番

但明治三十年十二月渡以隆利札附屬

右秋田縣羽後國山本郡東雲村落合三十七番地佐藤キヲ所有ノ處明治三十年八月二十四日火災ニ罹

リ消滅セシ趣ヲ以テ代リ證書請求ニ付整理公債條例第二十條ニ據リ代リ證書ヲ交付セリ但消滅シタル證書ハ無効トス

明治三十二年六月十七日

大藏大臣 伯耆松方正義

○大藏省告示第三十九號

三十年第三回發行

二枚

一無記名軍事公債證書

百圓券

同號

同號

同號

同號

同號

同號

同號

同號

同號

同號

同號

同號

同號

同號

以上消滅ノ趣ヲ以テ代リ證書請求ニ付整理公債條例第二十條ニ據リ代リ證書ヲ交付セリ但消滅シタル證書ハ無効トス

明治三十二年六月十七日

大藏大臣 伯耆松方正義

○大藏省告示第四十號

備荒儲蓄法第十條ニ據リ明治三十年度備荒儲蓄金出納決算ノ要領左ノ通之ヲ告示ス

明治三十二年六月十九日

大藏大臣 伯耆松方正義

第十八回備荒儲蓄金出納決算

明治三十年度中央備荒儲蓄金

一中央備荒儲蓄金ノ本年度ニ於テ收入セシ金額ハ參萬四千七百拾貳圓九拾八錢七厘支出セシ金額ハ四拾壹萬百五圓八拾參錢參厘本年度末ノ現在額ハ八千九百貳拾八圓六錢八厘ニシテ其計數ハ第一號表ニ掲グルルカ如シ

明治三十年度府縣備荒儲蓄金

一府縣備荒儲蓄金ノ本年度ニ於テ收入セシ金額ハ百參拾九萬四千九百拾參圓八拾八錢支出セシ金額ハ八拾壹萬千六百貳圓六拾壹錢九厘本年度末ノ現在額ハ貳千四百拾四萬千參百拾壹圓四拾貳錢參厘ニシテ之ヲ前年度現在額貳千八拾五萬八千圓拾六錢貳厘ニ比スレハ四百五萬五千參百拾貳圓參拾四錢參厘ヲ増加セリ其收支及殘額ノ細別ハ第二號第三號第四號第五號表ニ掲グルルカ如シ

第一號表

明治三十年度中央備荒儲蓄金出納表

所 在	前年度越高	收 入	支 出	殘 額
大 藏 省	三,四三〇,九一四	三,四七一,二九七	四,〇一〇,五八三	八,九八〇,〇六八

備考 本表殘額ハ悉皆現金ナリ

第一號表

明治三十二年六月 告示 大藏省第四十號 明治三十年度備荒儲蓄金出納決算

縣	市部	郡部	合計
鳥取縣	0	0	0
島根縣	0	0	0
岡山縣	0	0	0
廣島縣	0	0	0
山口縣	0	0	0
和歌山縣	0	0	0
德島縣	0	0	0
香川縣	0	0	0
愛媛縣	0	0	0
高知縣	0	0	0
福岡縣	0	0	0
大分縣	0	0	0
佐賀縣	0	0	0
熊本縣	0	0	0
宮崎縣	0	0	0
鹿兒島縣	0	0	0
總計	0	0	0

第三號表

明治三十年度備荒儲蓄救助費內譯表

府縣	食料	小屋掛料	農具料	種穀料	地租補助	避難所諸費	雜費	合計
東京府	0	0	0	0	0	0	0	0
京都府	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪府	0	0	0	0	0	0	0	0
神奈川縣	0	0	0	0	0	0	0	0
兵庫縣	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎縣	0	0	0	0	0	0	0	0
新潟縣	0	0	0	0	0	0	0	0
埼玉縣	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬縣	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉縣	0	0	0	0	0	0	0	0
總計	0	0	0	0	0	0	0	0

茨城縣	九八二六四八三	二四八七一七〇	二〇五五三三〇	八四九九七七三	三七九三三	三四六〇〇	六二七三三	二三四二四〇〇
栃木縣	三七一三四六九	一〇五四〇〇〇	五六七三〇四	二四六四一八四	〇	三七〇三	〇	七八三六三七〇
奈良縣	八七六九四	一三三〇〇〇〇	三五〇〇〇	〇	〇	〇	〇	二五三六九四
三重縣	四〇一八五七	五九二五〇〇	三二八四九〇	一三三〇〇	〇	〇	〇	一三二四一八七
愛知縣	三三、五五五 六八一	二、六九七 四四〇	一、二七九 七八〇	三、六七三 三〇〇	〇	一、五三〇 六六七	〇	六、七四三 三五八
靜岡縣	六、三三三 六九五	八、七四九 〇〇〇	一、七八八 八八二	一、一五七 九	〇	〇	〇	一、五四八 五三六
山梨縣	八、七七九 三六〇	一、八〇七 三〇〇	一、二二〇 〇〇〇	三、四七二 七	〇	〇	〇	九、一六八 一七
滋賀縣	一、八六二 四六	五、四七 〇〇〇	一、六四 五三六	一、〇六五 〇〇五	〇	〇	〇	二、八五〇 八三七
岐阜縣	八、〇七五 五二八	三、一九〇 三〇〇	一、〇一六 六〇〇	八、三三〇 〇〇〇	〇	〇	〇	二、三、七五二 六五二
長野縣	七、三三二 二七九	一、二二三 〇〇〇	六、七三 六五五	一、一七〇 八三三	〇	〇	〇	一、一〇、四一〇 四三
宮城縣	三、五三三 四三二	一、八〇六 五〇〇	三、二七五 〇〇〇	二、二、九二七 四	〇	〇	〇	五、〇五四〇 九五四
福島縣	三、〇五一 九〇〇	一、七七八 〇〇〇	三、三〇八 七三〇	三、五〇六 五九七	〇	〇	〇	二、二〇、三三三 七五
巖手縣	二、六四九 二九六	一、四三三 四〇〇	四、六九 八五〇	七、三一 六七	〇	〇	〇	四、六七八 六五八
青森縣	一、七三三	五、八八 〇〇〇	四、四 五〇〇	三、六五 〇〇〇	〇	〇	〇	一、五、六九 四二
山形縣	九、六三〇 三三二	二、二七五 〇〇〇	七、六五 〇〇〇	三、六四四 五三七	〇	〇	〇	一、七、〇九六 二五二
秋田縣	二、八二七 五七四	四、五三三 〇五〇	三、五九八 六〇〇	四、八〇三 三二一	〇	〇	〇	一、五、八六四 九五四
福井縣	三、八九二 四七七	四、七 六五〇	四、五二 四〇〇	三、〇六一	〇	〇	〇	六、七、四八 四九
石川縣	一、一三三 三三四	八、三三三 〇〇〇	七、九二 〇〇〇	一、九四四 二	〇	〇	〇	二、九、三三 五五

富山縣	二、三三九 三九	八、二二〇 〇〇〇	一、六二二 八五	一〇、五七 三	〇	〇	〇	三、三、五五 六五六
鳥取縣	五、〇五八 九六	一、七三三 〇〇〇	六、三三 四四五	一、九四 一五一	〇	〇	〇	三、〇、六四 〇七
島根縣	二、八八六 〇五五	一、二二六 〇〇〇	四、五三 〇〇〇	五、〇 五九八	〇	〇	〇	五、五、〇一 四〇〇
岡山縣	一、二七三 七二	八、八二五 一〇	六、三三 九八〇	一、四七 二七四	〇	〇	〇	二、八、〇六 六九二
廣島縣	一〇、九六六 〇	四、三三〇 〇〇〇	二、四六 〇〇〇	〇	〇	〇	〇	一、七、七三 三三〇
山口縣	六、二四〇 〇	三、三三 〇〇〇	一、三〇 九五〇	六、三三 三七	〇	〇	〇	六、八、一五 〇七
和歌山縣	五、六八四 〇九	四、九三 〇〇〇	一、五五 八六〇	七、〇 〇六九	〇	〇	〇	一、三、五三 五二四
德島縣	二、八九八 四八八	一、三三三 三三五	九、七三 三三〇	一、五二 一〇〇	〇	〇	〇	四、七、三六 七五九
香川縣	一、九九七	三、三三 〇〇〇	九、三三	〇	〇	〇	〇	六、五 五五五
愛媛縣	五、四四 九九一	三、五八 〇〇〇	一、〇四 四〇六	一、五三 六〇	〇	〇	〇	一、〇、四八 三三三
高知縣	二、五〇七 九八	二、八五 六八八	二、四〇 八五	一、三三 五二	〇	〇	〇	五、七、四〇 八六
福岡縣	三、五七〇 一一	一、〇九七 〇〇〇	五、二 三〇〇	二、六二 三三	〇	〇	〇	二、一、二二 三三八
大分縣	一、四二〇 九二	七、六七 〇〇〇	三、〇六 六五	一、四八 九〇九	〇	〇	〇	一、四、二八 六二六
佐賀縣	二、九七 七四	五、九二 〇〇〇	三、六二 三五〇	一、六 五四七	〇	〇	〇	一、〇、九八 六七一
熊本縣	五、九七 五五〇	一、九七 二二〇	一、二、四 四六七	四 一八〇	〇	〇	〇	四、八、一八 三〇七
宮崎縣	三、一七九 六	五、〇三 三五〇	三、七六 七八〇	一、〇六 三〇九	〇	〇	〇	一、二、九七 一三五
鹿兒島縣	一、四一六 三五	六、二四 〇〇〇	一、五五 八四〇	一〇、七九 二	〇	〇	〇	九、四、三 四八二

明治三十二年六月 告示 大蔵省第四十號 明治三十年度備荒儲蓄金出納決算

三七四

總計

三五六、七七	四八八	九一、六四〇	九二	三五、四九〇	六八〇	一七八、八〇九	三五五	一四七、三三三	八〇三、一九七	一、六五九、六六六	六八七、〇九二	五三三
--------	-----	--------	----	--------	-----	---------	-----	---------	---------	-----------	---------	-----

府 縣 水災 火災 風災 旱災 雪災 雹災 霜災 震災 崩災 蝗災 疫災 歉災 小計 合計

府	市		部		市		部		市		部		市		部		合計
	部	市	部	市	部	市	部	市	部	市	部	市	部	市	部		
東京府	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
京都府	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
大阪府	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
神奈川縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

縣	市		部		市		部		市		部		市		部		合計
	部	市	部	市	部	市	部	市	部	市	部	市	部	市	部		
兵庫縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
長崎縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
新潟縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
埼玉縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
千葉縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
茨城縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
群馬縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

明治三十二年六月 告示 大蔵省第四十號 明治三十年度備荒儲蓄金出納決算

三七五

